

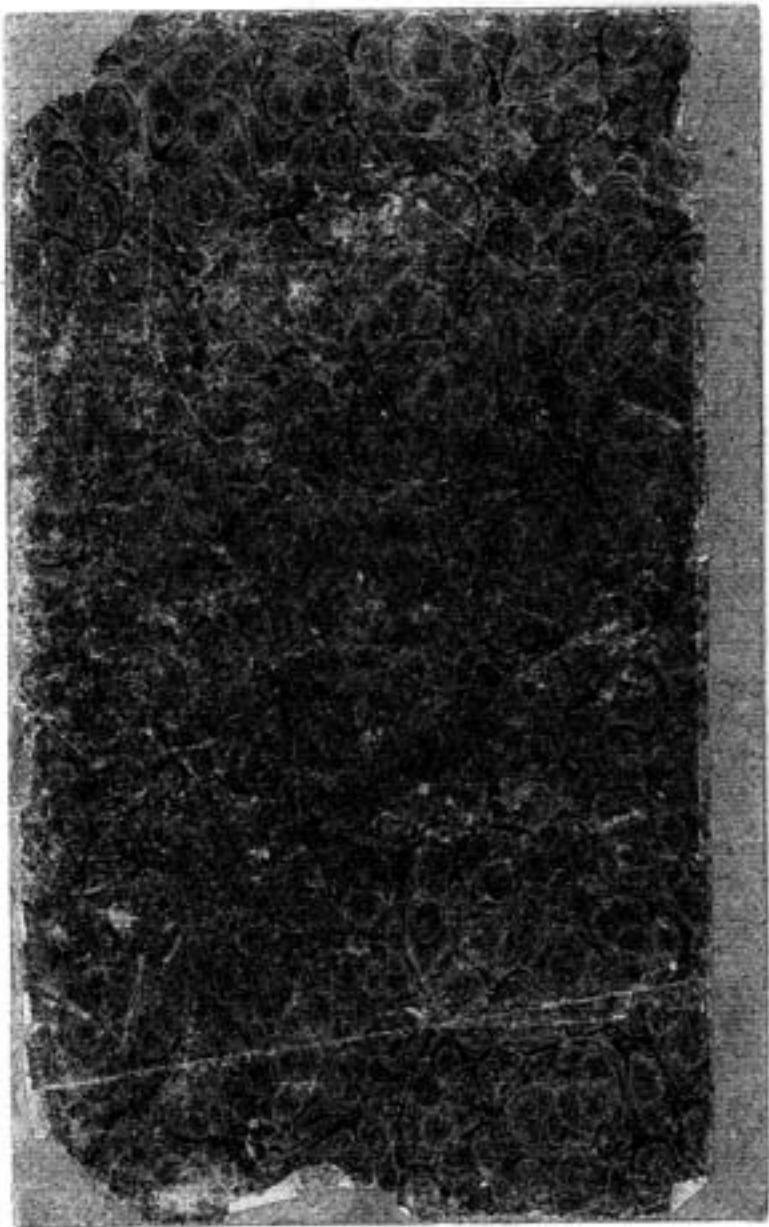
11.

11

M.24.7.01
~ 8.05

(檀田・彩色絵アリ)

うきよのせむ



(一) 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.



1361320 糸巻巻 4520 竹式部 定
地至天竺淨長板 上人開基 縁地七巻町
長巻部 大徳町
地 12 段

54+25 28+3 甲子 甲子 標+7

由 板のルマア 出理

左 左 143 右 151 橋

12000 柱 1500 3000 1500 1500

尾 10 1500 3000 徳川 白川 天徳

尾 10 1500 3000 徳川 白川 天徳

尾 10 1500 3000 徳川 白川 天徳

尾 10 1500 3000 徳川 白川 天徳

尾 10 1500 3000 徳川 白川 天徳

尾 10 1500 3000 徳川 白川 天徳

法華寺の 支那寺 1500 町

新大寺 徳田寺

新大寺 徳田寺

新大寺 徳田寺

新大寺 徳田寺

新大寺 徳田寺

新大寺 徳田寺

新大寺 徳田寺

浮世のたひ

卷之十一

七月一日(水)

例、如、登、校、之、時、半、日、電、之、仕、採、計、毎、日、リ、カ、
リ、概、然、ト、以、以、爲、ラ、ク、意、般、ノ、細、事、大、爲、ス、
ト、歎、ス、ル、モ、ハ、從、子、ス、ベ、キ、可、也、非、ス、仕、採、計、等、ノ、
者、ア、リ、何、等、ノ、事、理、的、基、礎、ア、リ、存、ス、ル、モ、
漢、ノ、異、域、的、勞、力、ノ、費、ス、ル、故、ト、余、等、高、才、學、術、
ヲ、修、ム、ル、モ、ハ、爲、ス、ベ、キ、所、ア、リ、ス、ト、即、ハ、テ、卷、ヲ、閉、ケ、テ、雜、画、
ヲ、画、キ、以、テ、閑、ヲ、遣、ル、日、暮、ニ、至、リ、山、岡、迄、是、東、西、ノ、
刻、ヲ、定、メ、後、リ、以、今、ハ、九、時、ヨ、リ、勉、力、ニ、テ、コ、ノ、
熱、心、ヲ、バ、シ、テ、家、業、ト、出、シ、切、リ、通、シ、テ、歩、シ、テ、
等、ヲ、受、テ、所、ア、リ、如、座、ト、心、尾、ハ、入、リ、即、チ、着、
飲、シ、後、歸、リ、家、ノ、内、ニ、時、已、ニ、二、時、ヲ、ラ、シ、
即、チ、寝、テ、此、ノ、嗚、呼、措、ク、モ、今、日、ハ、時、ヲ、浪、費、
シ、テ、併、シ、テ、畢、竟、ヘ、キ、採、計、屋、ス、所、ヲ、採、計、
ノ、益、ヲ、採、計、ス、ル、バ、不、手、起、リ、不、手、ナ、レ、バ、酒、ニ、
飲、ム、飲、ム、ハ、醉、ル、
通、例、ノ、順、序、ヲ、天、下、ノ、英、雄、
ノ、順、序、ヲ、知、ル、ト、云、フ、

七月二日 (木)

早朝登校中村氏 昨日中ニ茶室ヲ出サシテ求ム
余大ニ否サシ狼狽 否引ケテ取リテ午時ニ至ル
女ヲ飛テ駿河公ニ赴キテ會ニ逢フテ之ヲ報シ
直ニ又車ヲ乘テ歸ルニ室内ニ整頓シテ急
須ニトリカニ日暮ニ後昇陽來ニ彼ノ父ノ和
寫ヲ以テ先ニ歸者ニシテ父ノ終ニ病死ニ七日
ノ間ノ過ルヲ以テ再ヒ上テ来リテ彼ノ悲哀ノ
容憶憶然ク余之ヲ慰ムニ已ニテ彼ノ父ノ余再
ヒ勉勵ニ從フニ直ニ夜ヲ徹シテ翌日午時ニ至ル
ニ時ニ至ル頃ニ睡度來リ覺テテ終ニ余ノ寢
床ノ中ニ追ヒ入リテソノ夢危クク尅々カリ變ル
妙クヒツル屍ノ如クシヨク

七月三日(金)

ヒツカレ辰ノ声響キテ眠リ朝ケバ時日ニ六時
ノ過リ直チニ勉出テ九時ニ至リ老杖ス直ル
次ヲ来リ共ニ一心不亂ニ計算ニ能ク然レニ
余等歩成ノ讀狭ク之ヲ加フルニ徑敵全ナキテ
以テス余等ノ困難辛苦押シテ矢ルニ得ベシ山下
ハ他ノ事ハキ材料ヲツケテマ化レリ度山
之ヲ應用シテ巧クマ化ス余時方、為、束縛セ
ル終、又之ニ由リマ化スコノ試験ハコレマ
化シ競技ト云フモ大差ナレ四時ニ度ル余
行フ五時共ニ家ヲ出テ余度ル所ヲ歩ル余
ツノ覺テ此ノ建築圖画ヲ采ス彼ノ心算ケノ
ヨキヲ實ニ考テ余ヲ六時兩ノ中持先トシテ
フ彼ノ喜ハ喜テ彼ノ下女トシテ、下女トシテ
彼ノ喜、若シハ妻ノオシテ下女トシテトゾ馬
ノ伊達先生行ホテ學子、明ルキ余之ヲ云ハル
シ而シテ其ノ行アル若ハ行ツテ、量見發、
事九ノ百ノ一ニ當バテ置ル哉、ハ容自ニカ
シ見見ナキヤ。中持テ去リ余ハ度ルニ就テ
此ニカシ余ハ中持ヲ行フ中持余ヲ見テ曰
キ子顔色憔悴カ勉學矢ルニベシ余曰ク度
然ルト即ハ辰野、但直リ行リ中持果然ナリ。

七時ヨリニ有河、西洋料理店ニ寄リ湯ヲ電
ル候ト箸食ス大内若天子ノ名ニ値シタルツ
ルモノ大内、田中、中山、江原、本吉、全兄弟ハ人
ノナリ江原ト余ト幹ヲカシテ江原主トシテ幹施
場ヲ取リコト日江原詩十一首ヲ讀シ分ルル
終ニ品批ニ別ニ序ニ有路一巻ヲ行シテ音接
峻峯ニテ池岸ノ上ノ深谷ヲ見ル思フ彼レ余
ノ昆評シテ曰

多藝素誤身。何堪呼画人。
冷腸与熱血。敢問屈又伸。

嗚呼コト待テ莫クナレバ余コレ一重ノ小人ナ
一重ノ小才子ナリ余豈然ラヤ然ラヤ。江原余ヲ
洞察スル能ハザレト批ス而シテコノ作アルモ蓋シ
江原、江原タル所以ナル身、拙論路刻ニシ
テ勸解シ余ハ本宅ト途中流瓜海ノ間ニ中々
面白カラシ家ニ切レハ時日ニ十時ニ達シ即ハ夜ニ
就クコト試験全ク終リ勇氣吹テ去リ張力
急弛シ身心共ニ甚シク疲勞シ殆ト病ル者、
如ナリ

七月四日(土)

九時余ヲ木履床ノ上ニ臥シテ其ノ身ヲ
スルハ直ニ空向ニ赴キ村井ノ方ニ行ハントス
ノ余モ其ノ方ニ行キ思ヒテ其ノ方ニ行キ
見テ直ニ賛成シテ人ノ凱然トシテ其ノ方ニ
一声ノ浪笛ト共ニ空向ニ行キ去リテ其ノ方ニ
之時ニ空向ニ行キ村井ノ方ニ行キ出ル
テ、一、アット一声一旦消キ且ツ其ノ方ニ行キ
七足ノ踊リヲ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ
別後ノ事況ヲ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ
困難ヲ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ
延ヲ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ
身ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ
ト昔日ノ影ヲ留メ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ
然レテ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ
宴ヲ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ
非ニ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ
ス其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ
婢女亦甚ク其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ
云ヒ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ
センバト其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ
ト云ヒ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ

村井戯シテ詠シテ曰ク

鉄ビシ煮ヘ立ツ、おせんハ燗ヤル、ソコデ金銀カ
内業ヲ引ク

トノ句ニ其ノ人ノ悦びヲ寫シテ其ノ方ニ行キ
オシメテ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ
其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ
其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ
其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ
其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ
其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ
其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ

是ガ、戸野大凡八百人口、四ヶ一賽色ニ因テス
是ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ
其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ
其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ
其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ
其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ
其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ
其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ其ノ方ニ行キ

七月五日

昨夜快酔沈眠日高^ナ知^ラズ眼^ヲ開^ケバ身ハ錦^ノ備^ノ褥^上に卧^シ美人^僂侍^スナコト云^ハ本式^ナ此^ノ癖^地播^況豈^{コト}常^壤ニ^ナラ^シト八^時起^テ出^ツル^ル頭^重眼^暈ソ^レ然^ル者^醉ノ^後候^ニ顯^ハス余^ハ才^ハ後^才蕉^シ測^是銀^圓看^タス已^ニシ^テ日^午近^シ刻^ハ酒^ヲ今^ニ飲^ム喫^シ酒^ヲ又^更飲^ム三^盃交^ルく^來リ^テ宴^ニ侍^シ詭^言濃^辯嬉^々然^又嬌^々馬^車輿^コノ^大ナリ[。]お井^ト井上^ハ外^出ス余^ト思^ハ本日^五落^登車^乗リ^テ日^就テ^飲セ^シお井^等止^マテ^止マ^ス終^ニ本日^一泊^シ談^セ日^付井^等外^出中^只管^大飲^ヲ事^トシ^テ今日^旧曆^月末^ニ當^リ獨^為祭^ツ系^務若^陸孫^當播^ニ籠^ス無^慮百^余名^一播^沸騰^ス侍^女等^煩忙^梅余^等座^側向^テ空^シ日^暮兩^人歸^リ乘^リ便^ニ大^飲余^ハ且^ツ飲^ム且^ツ鬪^圓終^ルニ^精神^益々^加ル^ル兒^ハ愉^快益^々加^リ酒^瀟百^出言^辯向^テ觀^畢流^ル一^座面^ヲ掩^フ已^ニシ^テ井上^氏倒^ル余^等三人^連盃^連飲^加之^セ女^ノ侍^スル^{アリ}テ^テ酌^ヲ取^ルアリ^キ周^施スル^{アリ}一^座為^テ陽^々外^ニシ^テ井上^氏獲^テ酒^ヲ飲^ム更^ニ

酒^ヲ温^ク建^飲ス^時已^ニ十二^時近^ク一^時近^ク婢^等殆^ト坐^ニ堪^ハズ^筋加^テ酒^也入^リテ^睡ス^管ラ^トス^余等^即ハ^テ宴^ヲ撤^シニ^時寢^ニ就^ク日^ノ飲^辯量^益々^昨夜^ニ越^ユリ^一便^半ナ^リ。

言^法一^種柔^弱ハ^流矢^ヲ有^シ常^ニ去^テ尾^ヲ高^クシ^波瀾^ヲ加^フ大^山形^言語^似似^トテ^致免^見日^亭王^ヲ呼^ビ休^中ノ^播上^ニ居^テ以^テ的^ス余^等之^ヲ危^ク見^警テ^日余^必一^滴酒^ニ飲^ム況^ニ中^余豈^些少^ノ野^心ア^ラン^ヤト^余等^思ハ^ズ一^笑ス

亭^王年^三十^至五^父母^共半^バ老^クリ^一女^妹ヲ^才十^八歳^貞遠^セシ^テ勝^テ美^テ娘^獨家^中村^井想^テ喜^々婢^ヲ以^テ屢^ク村^井ニ^受カ^ルお井^性剛^毅貞^潔加^シ家^室已^ニ婚^スル^{アリ}テ^娘ハ^切思^フめ^ス娘^常之^患止^ム能^ハズ^娘胎^日以^テ云^フ信^乎信^乎シ^テお井^自惚^ラズ^コル^ニ

五月六日(月)

今朝六時起床出外更に霧解、氣味大々、
目出ぬし見や、霧解、風アツ村井先直、摩
ヲ鳴ラシセシ義ヲ呼ビ、酒肴、命便之余
製園、抱ス、兄ハ解、井上氏ニ、管、流、と、懸、ツ、井
上氏即チ、殷勤、并、聴、ク、嗚、呼、井、上、氏、モ、再、々、ハ
人物、ハ、裁、年、お、十、一、時、半、余、ト、見、ト、互、同、ヲ、奏
ス、例、三、義、セ、シ、テ、カ、ノ、名、神、措、げ、余、ヲ
送、ル、日、公、事、希、ハ、再、ヒ、遊、バ、シ、ラ、余、等、日、ヲ
何、ソ、知、女、等、深、情、囀、ス、ル、ナ、カ、ラ、ン、ト
控、法、ハ、井、上、村、井、車、飛、ハ、余、等、ヲ、停、車
場、ヲ、送、リ、井、上、ハ、ヒ、ト、ハ、シ、テ、去、ル

是レヲ、先、キ、井、上、氏、ハ、頻、ク、見、上、テ、泣、止、ム
飲、キ、井、上、氏、非、常、ニ、卑、直、ト、シ、深、ク、見、ノ、餘、餘、と、
誇、言、ヒ、テ、云、フ、所、ヲ、失、ス、ル、故、回、リ、シ、テ、
余、等、五、人、ヲ、送、リ、テ、時、村、井、義、宗、ヲ、二、日、
孤、ク、リ、ト、名、氏、ト、シ、十、余、日、京、都、ヲ、留、ル、事、ハ、
如、然、リ、余、ハ、先、ツ、オ、一、工、料、大、釋、ニ、シ、テ、
用、テ、テ、終、ル、次、ニ、中、黒、ニ、送、リ、テ、寫、真、ヲ、書、取、
テ、送、リ、テ、井、上、氏、ト、シ、テ、送、リ、テ、一、時、
ノ、後、内、供、ノ、手、場、大、塚、ノ、所、ヲ、控、法、三、十、多、
テ、送、リ、テ、中、村、氏、一、江、原、朝、ノ、所、ヲ、送、リ、
テ、

在、リ、即、チ、去、テ、那、珂、ヲ、訪、問、的、不、在、ニ、シ、テ、細
君、ヲ、去、テ、田、中、ノ、所、ニ、行、ク、テ、三、十、余、日、家、ニ
留、リ、テ、我、等、ヲ、喚、ス、時、已、九、時、区、ニ、鳴
呼、何、ゾ、夫、レ、多、ク、ナ、ル、ト、云、フ、。夫、レ、一
心、不、散、ニ、室、内、ヲ、整、頓、シ、器、具、雜、貨、三、点
推、ニ、荷、物、ヲ、送、リ、衣、服、ヲ、級、分、ス、ソ、多、ク、
云、フ、可、ク、ス、十、二、時、ヲ、區、キ、テ、送、リ、テ、井、上、
君、等、ヲ、携、テ、リ、備、給、身、ヲ、務、メ、テ、我、等、ヲ、
送、リ、テ、多、ク、多、ク、又、多、ク、眼、隔、リ、骨、高、ト、シ、
何、リ、深、ク、控、法、ニ、シ、テ、今、夜、シ、テ、支、暗
ニ、シ、テ、明、快、控、又、出、没、ス、真、手、屋、手
有、ル、曖、昧、ハ、。。

五月七日(水)

先日出立、早朝卯時、知商ノ事務之次、
子氏用ツケ、客接、
余、木子氏ト、
局、
シ、
ノ、
家、
娘、
ヲ、
土、
子、
炭、
米、
緋、
ア、
時、
張、

路割に、
エ、
余、
而、
群、
ツ、
テ、
奥、
タ、
ル、

五月八日(水)

出立、
坊、
次、
兄、
色、
侃、
周、
傍、

本町へ赴キテ承取地等、地圖ニ持テ見物ト
 家ヨリテ日落ニ至ルマテ休息ス正八時家ヲ出テ
 車ヲ飛ビテ復ルテ訪フニ不在ナリ則チ多ク元序
 又ツ娘及妹共ノ間キル

文王 50 喜見か来馬
 駒之時 80 三ノ切リ
 小縁 95 志友寺

小縁路ノ隈ヨリ將ニ娘ノトス木戸當声ヲ呼テ日
 木柳並川町ノ鏡木止宿ス人ト連呼ニ回余
 自ラ愧メテ敢テ應セバニテ余序ヲ出テ
 余ヲ呼テ人ト追ヘバ掌ニ遣ハス直水氏ヲ余共ニ
 同テ日ヲ出立期日十日午暮六時ナリ余之ヲ見
 去ケル欲スルニト余彼ヲ非係町ノツハ名ニ
 誘ヒ共ニ飲食ヲ譲リ詫カス余日々今回訪リ
 之ヲ暇年比スルニ其益蓋シ大ナリ其娯樂ニ至
 ハ余未ダ之ヲ知ル然レバト固テ是ニ之ヲ復ル
 迄取入ルニ十一時半ニテ飛ビ家ニ切リ宿ニ就
 ク。此ノ事声ヲ棟トシ建シ仰キ見ハ細雨驟
 ナノ間、明月皓ク、如クハ、おキバニハアツル
 ナ？一！

五月九日(水)

再ビ大朝堂ヲ試シ内村君先生又ト采訪
 此ガ帰ルニ中丸正死又々素訪ニト外出
 ス余ハ正午マテヲ務メ整頓ニまシリ岡村ヲ
 訪フニ又不在ナリ聞ケルニ彼ノ昨日高サ中寺寺
 業証書ヲ得テ當町ノ自宅ニ歸リト余ハ直チ
 ニ再ビ(医園)井野ヲ訪ヒテ甚シク流疹ヲ乞ヒ去
 リ車ヲ飛ビテ當町ニ赴キ岡村氏ヲ訪フニ又不
 在ナリ余大ニ失望ニ去テ江原ヲ訪フ彼ハハ
 ヲルニ其妻ニ陸軍ニ別ニ婚シ置ケリ彼ハ近
 來病ヲ持テ氣鬱疾ニ患ヒ云フ余ハ即日出發
 ノ事ヲ告ケ快活痛飲余彼ニ花月新法ニ丹ヲ
 傳ル江原余ハ一丹子及ヒ飾銀一ツ包ヲ贈ス
 余別ニ彼ニ乞フテ浪華ノシルベ一丹ヲ漏セシ
 江原侯如クテ筆ヲ取テ宴ニ同ニ一好丹子ヲ
 作りテ巴ニテ石坂剛ニ即氏素訪ス氏ハ陸軍
 大医監石坂樵寛氏ノ令息ニシテ往年西へへ返リ
 深色等ヲ修メ上ニシテ其製造所ニ産ル今ナラ
 テ堅食セルガ如クハ、譯リ以來志先昂々(學究)
 淵流日々今日額大、日本国内ニアツク瓜ノ事業
 ヲナスモ、余甚ク取ラズ余ハ九月期ニテ再ビ渡米シ
 大ニ謀ルアラトス資金如クハ五六十円ニシテ是レ

僕不敏、最遠、金ヲ作ル甚難カスト、復ニ
 江戸、好敵ナル哉、余、九時、申、歸リ
 見、ハ、賞、賞、氏、一書、ヲ、残、ス、ツ、文、意、悞、ノ、念、ハ、日、ツ
 余、君、ノ、病、ヲ、始、回、モ、禮、ヲ、ス、而、シ、テ、君、未、タ、一、ル、ニ、天、之、ス
 應、セ、ル、ハ、何、リ、ヤ、ト、余、方、シ、ト、悔、ム、ル、色、ア、ク、余
 ハ、荷、物、ヲ、整、頓、シ、百、患、ヲ、備、ム、即、ハ、テ、扱、為、ニ
 時、計、ヲ、備、ム、朝、ノ、早、起、ヲ、期、シ、十、一、時、申、迄
 ニ、就、テ、沈、ム、呻、々、息、睡、ム、ル、不、徒、半、睡、半、醒
 間、志、鐘、声、ヲ、聞、キ、得、ル、十、二、時、一、時、
 二、時、三、時、……

廿月十日(金)

四時……余、四時、起、キ、出、テ、支、度、シ、リ、カ、ル、五、時
 ニ、至、ル、比、車、支、来、ル、余、即、ハ、テ、一、酒、一、菓、最、ト、一、ヤ、
 拿、ト、手、ニ、シ、新、潤、ノ、權、ヲ、飲、キ、新、潤、ノ、水、ヲ、飲、キ、
 降、ル、ト、テ、家、ヲ、登、ル、只、楯、ノ、年、朝、又、出、立、シ、テ、
 四、時、ノ、為、ニ、一、言、ノ、別、辭、ヲ、足、シ、テ、
 六、時、ノ、時、ノ、前、ス、テ、シ、カ、ニ、道、ヲ、待、ツ、
 水、東、ノ、山、下、ノ、不、雨、成、来、余、ニ、而、シ、テ、
 四、人、惶、怖、シ、テ、河、坐、シ、テ、直、ニ、西、南、ニ、
 今、日、晴、暁、云、氣、澄、々、佳、ク、ヤ、ウ、カ、
 見、入、時、方、テ、……

諸、心、頭、ヲ、暗、ク、シ、テ、又、雲、ル、山、北、松、田、
 園、ノ、茶、ノ、色、ハ、白、雲、皎、々、ル、
 暖、暈、ノ、目、ヲ、暗、見、ス、ル、
 暈、ノ、細、雨、從、テ、至、ル、
 烈、シ、ク、
 本、年、春、陽、ノ、強、カ、
 山、頂、ヲ、包、シ、
 陽、岳、ノ、余、ニ、
 津、津、ノ、
 大、井、
 即、ハ、テ、

朝、貞、ノ、
 今、二、
 三、
 十、
 一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、
 廿一、
 廿二、
 廿三、
 廿四、
 廿五、
 廿六、
 廿七、
 廿八、
 廿九、
 三十、

塵芥の散りたる空を小川所自來、夜景は此に
下るハサル影候、ヒラス家に入りて、
此に一時暮=就。

整田言葉ハ、先左龍、似如女ハ香鬘
布片ヲ付ス、唐丸、西条、風アツト云フ

二日河合の葎物ヲ新様停在場ニ忘レ給
以テ、同僚、士巳、用施處置スル所アツト而シ
テ、其整田ニ着スルハ、存ヒ如キハ、不泡意ヲ撰、
驚愕、蕨、藤、狼ト撰、所ヲ知ラス、余等交ニ之ヲ
學、以、蓋シ、今日、銀、打、申、申、一、巻、朱、筆、ヲ、而、シ、其
之ヲ、致ス、者、即、ハ、彼、悠、然、ト、シ、時、方、ヲ
精、ツ、セ、ザ、ル、ニ、アリ、嗚、呼

君不問乎天、四方アツ、其、暁、光、繁、然、ル、モ、ハ、東
ナリ、幽、光、遙、然、ル、モ、ハ、西、ナリ、赫、々、ル、モ、ハ、南、方、
溟、暗、ナリ、走、北、方、又、不、問、乎、天、之、四、大、ナリ、火、
走、赫、々、水、ハ、コ、レ、溜、々、風、ハ、ハ、ハ、風、ハ、
ハ、ハ、ハ、即、ハ、土、ナリ、四、大、ア、ツ、地、全、ク、四、方、ア、ツ、
天、完、ル、嗚、呼、水、火、相、不、納、風、土、相、交、ス、ル、モ、亦
ハ、共、ニ、并、存、シ、ニ、ハ、宇、宙、ノ、完、成、ス、以、テ、吾、人、ハ、
世、界、ノ、此、ヲ、甲、怒、リ、乙、笑、ヒ、丙、憂、ヒ、丁、悲、
モ、ト、浮、リ、怪、シ、イ、ト、云、之、ヲ、怪、シ、云、ハ、
天、下、何、レ、カ、小、怪、ノ、コ、ソ、ラ、乎、

余昨年三傳、其、コ、レ、地、方、邊、遊、ス、者、以、為、ラ、
名山大川ヲ探リ、其、勝、ク、見、ル、亦、快、ハ、哉、ト、而、シ、
他、思、所、ア、ラ、サ、キ、ナリ、余、今、年、一、箇、齡、ヲ、加、ヘ、志
想、ハ、カ、ク、清、街、亦、ト、進、マ、ル、得、ス、即、チ、今、年、
期、ス、所、ハ、單、ニ、名山大川、ニ、非、ズ、日、ノ、建、築、ナリ、
日、ノ、地理、風、土、ナリ、日、ノ、人情、風、俗、ナリ、日、ノ、年、
潛、カ、試、験、ナリ、ヲ、大、望、ア、ツ、然、レ、後、聖、侍、ヲ、
巡、ル、學、術、ニ、偏、シ、テ、人、情、風、俗、ニ、偏、シ、
婦、々、小、山、川、ニ、偏、ス、ル、モ、ハ、女、人、ノ、未、ク、共、ニ、
之、ヲ、行、ク、
ニ、是、ラ、サ、ル、ナリ、矣。

十一日(土)

午、時、半、林、子、芝、邊、ニ、起、キ、河、合、山、下、相、以、テ
起、キ、通、水、余、之、次、ノ、余、以、為、ラ、ン、余、等、昨、夜、ノ
疲、レ、キ、ハ、非、ズ、然、ル、レ、今、日、勢、ヲ、早、起、ス、ル、ハ、宜、
ナ、キ、ナリ、余、ハ、朝、儀、ト、早、起、ノ、必、要、ア、ル、ヲ、見、サ、ル、ナリ、
余、ハ、余、朝、儀、ヲ、好、ム、自、然、ス、然、レ、モ、亦、余、ハ
余、朝、儀、ス、ル、ハ、必、要、ア、ル、ニ、ア、ラ、サ、レ、ハ、朝、儀、ト、サ、ル
ヲ、自、然、ス、余、今、朝、諸、子、卷、ノ、起、キ、カ、ク、而、シ、テ、余、又
夕、時、ノ、床、中、ニ、ア、ル、ヲ、不、快、ト、シ、テ、起、キ、出、テ、
リ、六、時、半、飯、ヲ、撰、リ、直、ク、先、左、龍、ニ、向、テ、餐、ス、
而、シ、河、合、氏、ノ、葎、物、一、件、ア、リ、テ、コ、レ、第、九、ニ、余

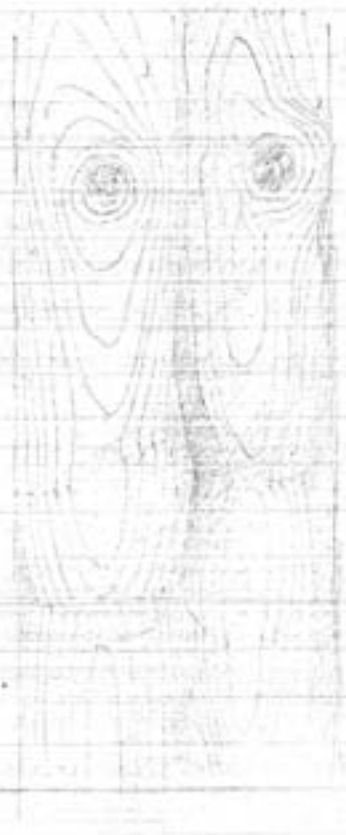
昔ハ今視ハ、旧リ竊スルヲ期スレモ久シク、荒れ在る
城ヲ距テ一里二十余町木子先生佐敷寺在耶
及ツ父庄七兩人ヲ従ヘ健歩ス庄セシ名大元ノ
名匠也其ハ即ハ木子君ノ門才ナリ余等歩ニテ
ズ加之是天身ヲ如シ玉汗淋漓衣ヲ徹ヌ
木子君屈セズシヨフ半里余筋ハ敷テ為リテ
昨日木子君ステアコシニ着ニ車夫、勤ノヲ輝シテ
健歩セリ車夫五錢、賃錢ヲ河以減シニ錢。
至ルモ君宿セズ終ニ十六町余歩リシヲ為ニ打角
靴キカハ肌衣ヲシ再ヒ汗ニ濡リシヲ君答フハ
今日又之ヲ為スヨ、謂ハ一里半程車賃十錢ヲ出
ワルニ着シ余野強セバ一息ニテ名大元城ニ築
リフヤン嗚呼余野強テ終ニ又々中レト汗石
ノ階路先生疲レテ是暑ハ為ニ大ニ愚痴ヲ云ヒ
コソ凡人ナリル次才ナリ塾田賦ノ區キ云フトスルモ
全等終ニ車行シ名大元城ニ至ル市街ノ家元ハ
字系トハ全等生ワリ胸取リ工合殆ト西家ニ近
シ即ハ4間口ノ殆ト中央ノ入口ノ後ノ口ノ土居
マ、直ニ家通シ裏庭ニ至ル即ハ家ハ二ツ
新分コ成ル一部ハ住宅在ニテ一部ハ土居元
厨、台所、井、等アリ又ニ階ハ比シテ松子作
ニテ見テ答ル宜シカラズ甚キハ城ヲ象ルモノナリ

一ハ即ハ門ハ楠木ノ材ノ空壇中庭ノ高ク昨毎
ニ見ル屋セリ。門ヲ入ルニニシテ旧殿ニ至ルハ
地ヲ窪同ハ即ハ昨毎、日死ニ指シテ以テ累ス嘗
正面裏間石丸ノ即ハヨシ尺其甲ノ形ヲテハ其
石ノ某築目ナリル宋ノ門付ハ其形ノヲ指シテハ
柱セテ其角ノ上華柱ナリテハ一面取リ半面取
リナリル。寛永年中ニ限リテ行ハ向テ床ニ
蹴ヒシテ床中ニ管張ナリ長押内仕スル
縁外ハ一尺至高シク走多ク取ルモノナリ
建具尚存ス施シテハ長長時代ニ始メテ寛永
ニ始メテハ其ノ形ヲ在基土印ノ形ナリシ
テ西ノ狩野探也、筆ニテ其ノ形ヲ取リ
天守ハ其高キ地盤ノ百九十六尺之ヲ即ハハ
敷ノ然レ先ノ一種尊堂ノ散臺ニ入ルニ趣ス
路ノ傍ニ高キ土塀ヲ築クニ上ニ又ニ立テテ
忍ビ区ニハカクテ云フ兩相ハ土居ノ改メテ地遣
ニシテ深中ニ達ス即ハ不取テ避當針ヲ代用ニ
モナリ才土居ハツキ果紅土アリ松天井ニテ
羨麗也ハベシ。
土居ノ次ニ無名ノ持物場ニ赴キ一覺ニ時ニ断
キ最モ如ク全等又ハ凡俗的持物館ノ見ル全
ニ即ハ場内、茶庭ニ響キ水ノ盃以テ熱氣ヲ散

北に王突フベリス蓋し鼻先名城、アラツクワ以テ
 不知不預之ヲ揉スルニ至ルナラント云フ又電
 氣燈ノ常用燈ノ大ニシテ至ル所之ヲ辱ケリ
 嗚呼盛ル哉名大龍、地味ト地理ト氣候
 ト要ハ好適ナラザルニ蓋し名古龍ト熱田ト
 関係ハ東京ト横浜ト如ク、仙台ト塩竈ト
 如ク、北京ト天津ト如ク、水戸ト波ノ如ク、
 ワシントンニユエント如ク而シテ之ニ比シテワ
 シントン大ニ勝ルモノアルヲ信ス。而在ル故藝ニ多
 リテ内氣備ハル序ニ云フ名大龍ハ氣候ヨキルニ
 ス四時ノ風景モ亦多ク如ク即チ春ハ本
 願寺ノ花アリ夏ハ行ガカ分ラトニ秋ハ名大龍ノ
 東一里程ノ舞津ノ景色ヨク、又馬士山見ト云フ
 而シテ葦葎ハ尤モ妙ナリ冬ハ即チ舞津ノ雪
 リ四季ノ風景絶々美々直ニ京都ト共ニ我國ノ
 案土クハ余等先ツ天子ノ傍ナル一小舎ニ憩
 ヒ役員某子木村氏ヲ遇ル其塔ニ蓋シル内西窓
 土木課長トシテ往ル警ハ即チ委任官ト云ヒ其
 人物器量ニ至リ即チ未タ也役人一ノ名譽ヲ
 北に同ノ一城ノ東門内ノ黄金社名ハ井ノ穿ル
 今コ井ヲサガリ得ルモノナク一ハ即チ隨ヒテ
 伏見堀ト創ル蓋シ伏見ノ役吏之ヲ使用ルニシ



境内後田草屋及上院月亭瓦ノ木子屋、周施了以
 其一覽便見得の輪田草屋、殿田長、佐木
 此の岸徑、在同心ノ兩箇、皆の形、環眼、似の
 以、名、付、日、候、長、尾、秀、去、松、ノ、殿、日、の、控
 室、改、殿、融、筋、サ、ヤ、ト、ノ、構、造、華、匠、の、匠、ハ、唯
 跡、凡、預、備、サ、ハ、ト、ハ、異、一、箇、見、殿、此、ニ、ハ、ハ
 此、月、草、屋、ハ、猶、昔、候、佐、木、所、候、際、御、曲、好、の、以
 テ、御、意、ハ、御、曲、中、附、引、多、ハ、即、ノ、殿、付、之、コ
 景、匠、傳、ハ、實、當、ハ、シ、加、之、政、構、高、雅、ハ、シ、淨、麗
 外、遊、一、箇、異、術、ハ、ハ、取、ト、ス、ト、兼、寄、者、余、等、ト
 佐、木、父、子、基、礎、中、飲、ス、者、刺、身、ノ、體、肉、リ、軟
 栗、ハ、蒸、酒、蒸、人、之、件、ヲ、寫、年、大、匠、ヲ、ク、多、ク、飲、
 揚、ト、云、大、州、歡、音、ヲ、見、次、西、ノ、テ、手、ノ、欠、ハ、木
 子、先生、實、在、御、運、來、時、ハ、一、々、其、構、造、ヲ、批、評、ス、余
 等、之、極、ヲ、盡、ス、可、其、要、キ、ハ、ハ、ス、次、東、中、院、者、次
 寺、西、院、本、山、ノ、ト、ハ、ハ、二、箇、其、構、造、ハ、實、仕、傳、大、匠
 精、確、ト、多、ク、其、比、ヲ、欠、ハ、レ、テ、リ、今、存、ス、ル、ハ、後、成、
 日、六、十、八、年、同、江、子、十、八、年、建、セ、レ、テ、ト、云、
 後、泉、殿、又、天、皇、院、下、行、在、所、ヲ、ハ、建、造、
 以、殿、作、ヲ、殿、造、ハ、ハ、シ、別、ノ、華、堂、ヲ、皮、衣、音、巧、
 ヲ、後、庭、園、ハ、其、庭、園、ハ、シ、長、十、七、十、五、ノ、傍、
 茶、園、ト、コ、ト、九、似、外、園、上、又、一、十、華、堂、ヲ、亦、再、巧、



猿面之圖

二分之一個圖

覆寺、Hare 七万子 aile 各五万子ツ山門ハ
用別非和精巧緻密ヲ抱ツツ凡ツ山門ハツツ
美冬シハハハ午軒誰寺ヲ推ス云フキヲ出テ
他處氏、宛、付具ス幸氏委、西華ヲ進、木子君是
之ヲ喫スフ、法是、懐中、片政、盛、心、榮、子、以、行
羊之、喫、付、所、包、之、懐中、収、次、式、ハ、系
扱、取、リ、同、時、シ、三、口、有、幸、シ、之、場、ハ、出、ル、
器、具、見、之、評、ス、之、規、則、ハ、幸、氏、次、ヲ、余、等、道、加、余
等、其、式、ヲ、不、知、ハ、ア、ラ、ス、然、レ、モ、余、等、粗、野、ハ、或、主、人、
不、快、ヲ、來、リ、ツ、恐、レ、則、チ、歸、リ、日、生、等、ハ、遠、般、
事、煩、シ、恐、カ、愛、意、ヲ、荷、ク、ス、然、レ、モ、ガ、シ、ツ、ト、決、意、
子、獨、ハ、丈、シ、兼、道、ハ、モ、ト、彈、道、ヨ、リ、出、ツ、事、ハ、決、シ、
非、難、ス、ベ、キ、ア、ラ、ス、然、レ、モ、其、態、ハ、同、一、虚、式、
奉、レ、意、狂、キ、儀、式、飾、ニ、至、テ、ハ、余、等、御、影、御、尾
之、不、賛、成、ノ、表、ハ、レ、得、キ、今、日、余、レ、概、取、リ、一、飲、之、場
評、主、客、一、驚、買、フ、モ、ツ、甚、ク、容易、ト、然、レ、モ、余、等、遠、般、
般、狂、行、只、吾、等、ヲ、裝、フ、似、ハ、嫌、ハ、ラ、世、事、万、得、キ
慈、堂、尾、レ、巴、レ、意、通、レ、ハ、シ、ツ、シ、是、格、ノ、余、一、子、一、
必、ス、是、フ、巴、レ、同、レ、次、人、同、レ、而、シ、後、實、行、ス、蓋、以
庶、共、哉
他處氏、酒、宴、ヲ、設、ケ、テ、余、等、ヲ、餐、落、ス、余、等、皆、
飲、ハ、孟、ハ、相、量、リ、終、ニ、黃、昏、ニ、入、ル、余、等、即、チ、別、
レ、

能、川、一、流、シ、テ、終、日、遊、玩、ヲ、遂、ス、日、天、又、快、晴
泉、盤、堪、一、駐、シ、加、之、余、等、滿、名、建、築、ヲ、巡、視、シ、
ト、存、命、恐、ル、点、大、量、後、余、日、記、ニ、記、ス、レ、ト、又、之、在
左、金、物、商、携、月、某、來、訪、ス、氏、木、子、氏、數、リ、愛、ハ、レ、
飾、ヲ、貯、ル、氏、余、等、飲、テ、勸、ム、飲、シ、外、出、ル、包、
ヲ、之、譯、ス、氏、失望、セ、テ、酒、勸、テ、命、ノ、余、等、
餐、ヲ、雖、飲、白、出、待、已、解、ヲ、散、テ、余、等、來、リ、
直、シ、後、來、リ、好、ク、シ、重、ク、飲、ム、時、時、
ニ、蝶、橋、橋、ト、テ、座、來、ル、木、子、君、時、日、
余、置、テ、好、ク、モ、ナ、ク、又、取、上、世、評、
ヲ、如、何、セ、ト、色、色、レ、作、レ、境、井、大、
加、能、余、等、知、ル、人、畢、改、席、
ハ、レ、ル、乞、フ、恐、レ、況、シ、又、青、年、
ハ、レ、ア、リ、エ、ハ、ト、ツ、笑、ヒ、ケ、ル、
木、子、君、後、ク、言、フ、能、
ハ、レ、而、シ、余、等、ハ、一、
片、應、扇、思、フ、同、時、
巴、レ、飲、ム、時、到、一、
木、子、君、大、學、日、
以、其、到、望、逃、
及、十、鼓、ヲ、奏、
ル、飲、ム、バ、キ、
レ、輕、キ、
胡、蝶、ハ、
レ、

（遺書並し野ノ山ノ凡ノ遺書ノ存テキルモノアリ）

余等貞正ノ墓ニモ坑ノ横井ノソコニリヨク去リソノ工
合甚ク手練アリ余等甚ク羨慕シ極スニ巧ナク
粗野投伐ノ極ムニ一軒ニ嬌去リ余等
四漢庭ノ院ノ蓋ニ横井ノ今日トモ逢フ花ニ
知レバ木子氏ノ迷惑思フベシ余等ノ學推スベ
シ校書ノ氣ゾマシ察スベシ余等木子氏ノ學ノ所
リ戲ハモノナク唄フモノナク諧謔スルモノナク同
森々族ノノリ笑ノ漏スレテ其ノ中ノ午馬ニ
カク報ス

七月十二日(日)

早朝迄トキ出テ熱田神社ヲ見物ス神社ハ官署大社
ニシテ伊勢ノ以テテモ資材ノ備シモノナクモ(電電)
春日ノ御取等之ニ決リ漢地ハ春夜路景カレ全伊
勢大伊勢ト同様ニシテアリ又其層根ヒツク昔ニシ
昔ナラザレハ従一等ノ様ノ意ヲ示スモノナリ但シ
昔ナリハ作ル一且官ノ行可ク得タルコトハ上下ノ
此立ツマシトス斯ハチシヤルナリ花菜ノ御社ハ大ニ
仙寺ノヤ子ノ舎ニ甚ク見甚クヤルガ年々路景ナレハ
甚ク羨慕スベキナリ木子君ノ用苑ニシテ余等ノ奥殿
マデ見セシ最後ニ正殿ト土用殿トテ大ニ蒼然
トシテ人ノ思ハス様ヲ正シシテ祀拜セルカ土用
殿中ニ印イヤ等ナリ御鏡ヲ藏スル所ニ一絶殊
別ニシテ別島ニ示カレノ嚴重聖固ヲ極ム様ニ
同ノ見ヨ 日地別ニハ劍ノ社アリ其文ニシテ引合
ニ出ルモノスハ時申熱田ノ出テ河ヲ越テ
海航投ニ伊勢神社ニ向テ河合ノ草物一件
ニ種ナリナリ従ハ自草自得ニテ形ノ後シテ西
方ニ行一ツ見物スルヲ得サルニ亦ナリハベキモ
ナリト然レハ餘ノ余等カ考ル程弱クセズ又
其モセザルナリト思考ス極寒ニ甚ク地南ニシ
其共シテ堪ニベカラズ特ニ日光新大聖トシ

在署前夜、他ス全等ハ甲船止ニ出テ、民場ヲ大
 有シルヨリ、多少快業ヲ得ルニ、ナリ、指下
 切船ハ、尾割大野、四日市、津ノ諸港ニ立テ寄リ
 五時半宇治ノ港ニ到リ、乃チ快産ヲ獲テ百出聖大
 張シ、只午飯ヲ喫スルヲ得ケリ、一ノ瓊瑤トシ
 船中兩児アリ、菓子ヲ食シ、余等、テメテノ飲ミ菓子ヲ
 食ヒ、俗等ニ戯シ、トシテ南殿ヲ遊リ、乃チ津松坂
 海岸ニ到リ、南風極烈ニ、航行甚ク難シトシ、
 頃船ヲ下リ、折船ヲ宇治所止テ、吾等ノ戸船
 凡テ五六百巷街狹隘ニシ、且ツ汚ク又見ルヤマ
 ナニ、余等ハ正北ニテ休息シ、明日ノ行程ヲ定
 ヲ、既ニ、今夜ノ内宿ニ、集宿シテ、古市ニ一泊セシテ、
 決テ即チ車ヲ宮川ノ邊ノ山田ヲ經テ、古市ヲ過テ
 テ、七時内宿ニ達ス

山田ノ戸船凡テ四五千大ニ、高底ナリ、乃チ其
 在レ人ノ注意ヲ引ケ、教示、車入リテ、決シテ平入リ
 ナリ、内外兩宿、平入リナルヲ以テ、決シテ平入リ
 マシ、云フ、種種心ヲ出シ、乃チ又、乃チ又、乃チ又、
 ナリ、乃チ又、乃チ又、乃チ又、乃チ又、乃チ又、
 此ノ、乃チ又、乃チ又、乃チ又、乃チ又、乃チ又、
 ナリ、乃チ又、乃チ又、乃チ又、乃チ又、乃チ又、
 上葛柳、乃チ又、乃チ又、乃チ又、乃チ又、乃チ又、



平入
 凡テ五六百巷街狹隘ニシ、且ツ汚ク又見ルヤマ
 ナニ、余等ハ正北ニテ休息シ、明日ノ行程ヲ定
 ヲ、既ニ、今夜ノ内宿ニ、集宿シテ、古市ニ一泊セシテ、
 決テ即チ車ヲ宮川ノ邊ノ山田ヲ經テ、古市ヲ過テ
 テ、七時内宿ニ達ス

ルト一般ナリトス其他各根ノ底下ニ下盤ト唱ヘテ
 校ノ睡床ヲ下ニ置、旧時ノ床ニナリ意ナシ
 再ク一物ヲ特別ニテソナヘ下盤ト心ナシ



市人ハ常ニハテフ如ク如女子ノ如クハ常ト是レ紅
 粉ヲ以テ粧フニ至ル又娼家甚ク多ク、其地々
 塵ニ起ル所甚ク多シコレ余指人ノアテニカ
 カアツ余然ル以テ為ラク此風ハ凡下ニ市人ハ凡
 俗傳トシテ太甚ノ風トナレト而シテ今日ノ之
 見ハ即ハト之ニ正及對ニ嗚呼世ノ輕薄男子
 ニ三文、ヤガシカニ賤ク播テ畏レテ其罪ヲ編
 ヲ利ヲ其食ヲカガルニヨテ娼家ニ入リテ狂
 フハ其罪ニテ其罪ナリトゾ

書ハ山田ノ呼ビテヤウダト云ヒ市人ハ却テ
 才ガト云フ甚ク不審ナリ、猶ホ見テハツカマ
 カレ市人ハ常ニカマレテツテ、次ナリカ女
 業ニテ銀ヲ存ス

若シテハ又書ハ山田ニテ、山田ノ呼ビテヤウダト云ヒ

右市ハ山田ト相接シ直ニ内室ニ通ス内室ハ
 五寸餘川ノ東岸、アツ川ニ宇治橋ヲ架ス長サ七
 ハ十間宏雄秀美之ヲ流ハキ巴葉ニ一物ノ異
 教、意ヲ起ス余等橋ヲ過キ川ニ泥ヲ行テ、折
 木由、舊山水秀麗、即チ一箇ノ仙境ヲ全キ、河
 水ノ响ビ争フ波ヒテ身ヲ清シ、此ハ後宮ニ至ル
 内室ハ昨年ノ改築ニカ、皮ノ装柱ヲ掛テ梅柱
 ニテヤレ、着色裝飾ヲ用テ一物ノ古雅ニシ、優
 美ハ外良ク千木、勝寫水等、十餘ニ正式ニ合
 午押蓮華、蓮相ノ函ヲ出セリ、金門ニテ四重金
 華ハ、一ノ一ノ過キ得ルニ天皇陛下是レ其御
 三門以內ニ入リ玉ヲツテハヤルノ制裁ナリト云
 フ余等内室ノ去リ午時七時半再ヒ山田ノ呼
 テ油籠ニ投棄ス

油籠、備前籠、秋田籠ノ当地ノ三大妓藝ト云
 ル有名ハ、伊勢音頭ヲ油籠ハ、年詠篇ト化ケ
 地ニ一店ハ、優世ノ舊事ヲ流シト云フ、伊勢
 音頭ハ、コノ市ニ強限ノルニ一物、踊ルニシテ
 セリ出シ、椽上ニ娼妓並列シ管絃ノ曲ニ
 舞フ舞臺、登擧ニシテ、之ヲ又テ巴ノ舞
 マル所ノ擧ゲト目的ニ供スト云フ今日特
 之ヲ又テ若クセバ、二月ヲ拂フヲ是ルト云フ

流は三益の化々十一時落の流
 伊勢の地名の旧跡甚多し二見浦所傳傳
 領廣の年載セテ別ニツ今之ヲ説セヌ
 当地鶏の較スルヲヤトスコレ鶏ハ大伴宮ノ
 飼鳥ナルヲスナリ
 伊勢ノ地言ハ名大倉ノナリ付セザルニ
 河他大ハ蓋ナシ折揚波潤柔カシテ旋轉マ
 義大夫ナド用テハ口調ニ較スルモ多ク敬慕ス
 ベシ蓋ニ名大倉ト奈所ト中ノ位ニスルモナリ

七月十三日(月)

午爲牙土時起キ例式ヲ行テ出立セテスノ聖宮
 迄テ伊勢踊リノセリ出立舞ハ一見スソノ構送別
 珍クシカラスト是ヲ断大仕掛ノナリテ遊樂
 ヲ誇ルヲ思ハ余ハ數一數ニセザラシクスレバ決
 シテハハルナリ大時合處ノ出立直ニ外宮ニ赴キ
 テ施入外宮ハ山田ノ町ニテ其建築ハ内宮ト一
 殊ナルナルヲ見ズ但シ其ノ木ノ鋸直ニ切リセタル
 ニ蓋シ外宮ハ豊後大津ニテ男津ノ男ハ強壯
 ニ鋸直ヲ内宮ハ天恩大津ニテ女津ノ女ハ陽ヲ示
 スルカ水手ナルヲテ邊考セタル歌

片やぎの内外のやちありわかれ
 光じい 同ニ伊勢の流風

トアルコトノ外宮ノ出立再々神代港歸リ流車ニ
 操テ四日市ニ赴ク海上波流ヲ靜ルモ在暑堪
 ニバカクノ所哀歎ノテ流カ人ヲシテ倦倒セ
 シ又一塊ナリ午時一時出立四日市ノ流ニ直リ流
 車ニ繞リテ近江大津ニ赴ク復珍致ハ即ハケ國
 西鉄直會社ノ手ニ成ルモノニシテ四日市ヨリ東海
 道ニ出テ近江大津ニ出テ近江郡ノ伊賀
 ノ松植ニ出テ近江ノ入リニ雲ノ石部ヨリ草津
 出ツリ古五十ニマイル地甚ク氣山峻ナラス

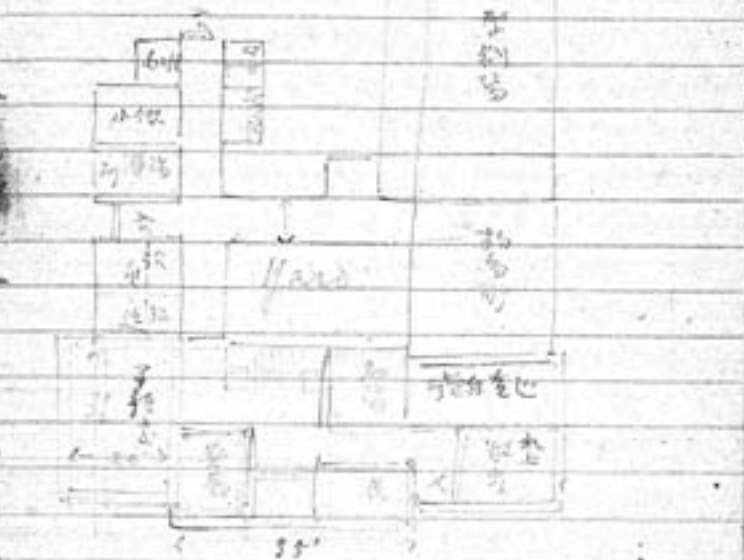
が、仔細仔細同境一線、山脈の如く、
トシ長ク凡ソ六七町、及ベリ江州に入ル山
勢又一変シ比良山地、嶽山、雲地、屹立ス
草津に至リ、路傍ニ三上山、屹立ス形甚ク
士ノ以テ直立ニ千尺、え、オト名ニホクコ、旅
人ノ注意ヲ引クニ足リ、草津ノ邊キテ遙クハ、
琵琶湖、水漫クシテ十里、天ニ接シ、泥岸ノ浦
々、渾々、画ノ如ク、流田川ヲ流リテ、凡ソ一
里ニテ大津ニ達ス、大津ハ今馬場、腰町等ノ者
色ヲ合テ、戸七千人、人口三萬ニ近シ、市街ナ
シ、繁華ニシテ、見ルニモ、アツ、家屋ハ、皆ル、京都凡ソ
草津ニ強ク、大ニ之ニ似テ、其服装ノ如ク、
大ニ珍ク、シモ、ナシト、電ニ、カ女ノ、髷ハ、京都、比
シテ、大ニ、異ニ、シ、境ニ、シ、モ、ナシ、ト、ナリ、
當町、津田ニ、シテ、子、件、後、大ニ、坂、考、タリ、カ、今、又
路ノ、賑カ、ナリ、余、等、ノ、學、業、業、向、ヒ、ナリ、小、林、亭、
設、業、ス、巡、査、来、リ、ノ、嚴、シ、ク、素、情、ヲ、正、シ、タリ、云

ノ
午、時、七、時、ニ、シ、テ、余、ハ、旅、ヲ、出、テ、丹、波、坂、ニ、至、リ、ア、山
下、部、カ、氏、ノ、家、所、ノ、向、ニ、車、ヲ、籠、リ、日、氏、ノ、坊、ヲ、氏、
ノ、桐、房、ノ、氏、ノ、夫、ノ、シ、テ、ニ、子、ヲ、今、年、三、十、有、ニ、歳、性、
整、心、率、直、ナリ、日、々、余、ハ、目、上、ノ、人、ニ、逢、ハ、其、女、子、

屋、引、キ、テ、具、人、位、ヲ、定、ム、ト、以、テ、氏、ノ、性、ヲ、知、ル、ニ、足
ル、氏、酒、肴、ヲ、供、シ、テ、在、ル、ス、米、一、石、有、り、子、件、
米、次、中、考、子、件、酒、田、山、守、建、築、子、件、先
津、建、築、子、件、坂、有、子、件、寺、校、教、師、運、命
等、ナリ、テ、盤、ニ、綴、テ、懸、テ、山下、氏、等、一、泊、シ、勤
ム、ル、切、ナリ、余、亦、テ、意、ナキ、ニ、シ、テ、是、ト、名、ニ、自、ラ、名、
テ、其、甚、ク、異、ナリ、ガ、ル、モ、ナリ、快、リ、殊、ニ、解、シ、テ、家、
内、ノ、御、主、客、共、ニ、大、醉、踈、踈、ト、シ、テ、船、ヲ、乘、
ガ、如、ク、蓋、シ、近、頃、ノ、一、大、快、事、ナリ

七月十四日(火)

朝起九八氣辟ハ未ヨ醜ノ酒氣家ニヒテ暮ヲ
 撰テ余ハ工合意キニカワラズ務メ進状レテ示レ
 日死トテ示スハ時未明夜未ノ相向暗ハリテ
 五人聯席ニテ酒肴見物ノ儀外書ヲ乞フ感ハ程
 莫ク好郡在減ル余等彼吃テテ復建案ヲ一覽
 ス陸上ノ正廳及ヒ書房遊豫室其外モ裏門外
 土木保、技師、工學士野沢學教民ノハク氏ハ
 九知リ大汽流ノ合意ニテ諸ノ案考回書等ヲ
 示ス正午ニテ比比氏余等ノ要請ト云テ料理店ニ
 杖持テ調看ノ既立ス彼席ニ汽流レテ止マ中
 才子ト見エ彼云ク野澤ハ一坪百円ニテ成ル抱
 下廉ト云ハハハ子一日三十土車ト云ス石村、如ハ
 花則石ニテ一坪ニ十車止ル云々云々
 又日ノ間西鐵道ニテ朝早鉄道ノ為倒倒セララズ
 蓋ハ始メ大伸テ撰ニテ草津ノ撰レニ云ハモ才
 ト由テ其理由ノ理ヲ推テ指レ一時日底ニ出
 ツ同座ハ等々下等在リレハテク遠慮セシテ
 余等ノ車ヲ既レ石山等ニ至テ區區所ニ送キ
 腹所城ヲ送レ見レ今ハ因テ、監獄ノ以テ粟
 津ニテ我仲ノ墓在レ今年車利差ヲ逆ニ望シテ後
 日ノ便ヲハキテ汽田ノ長橋ハサレ長ク又且テ風等



モ銀塔ノ為、全ク撰度セシムルノ措ムニ免ル
 人際ハ進レト時ニ莫ハ失セ去レテ知ルノ免レ不
 〃純クテモ等術ノ撰術トハ伸ヒ進セリトノ主虎ニ
 〃セナリ(大伸トハブル矢走ノ舞帆カ)伊田川
 〃既ワテ開ル半里許ニテ石山寺ニ遊メ山門ニ
 仁王ノ靈座、澤慶兩人ノ作カレ今ニ至レテ凡
 十年餘カク打レテ古色ニテ(蓋然カ)門ヲ入ル
 石階ノ上ニ崎岨木堂ニ至リ住持ニテテ寺
 内ノ見レ石山寺ノ摩訶天曼ノ字ニ書并上人ノ開
 基ニカレ今ニ至レテ實ニ千百三十五年ナリ云々

天平勝名本間

○今、女管、代の宮庭の増出にて

是より其材木心ハ汚斑表面の色は漆黒
 色は星の如く、能く其の古色愛へし、漆匠ノ
 アリ即ハ茶式部カ、築屋シテ漆匠ノ職ル能ク
 此等ニ宅アツ一三層アツ一五層ヲ打カレ
 蓋ニソノ以テハ、集氣ノ石トハ、都々多
 多クシモ、ナリ云フ日所又、室物アツ左ニ其ニ
 一、畫ヲ示ス、因ニ云フ志、皆ハ今、大津、カレ
 分、知、クハ、建築、ナリ、コ、評、ナ、ス、只、其、瓦、片、
 片、存、ス、ル、ニ、ツ

信起七卷アツ外題ハ中納言冷泉為久ノ事
 ニシテ見ルハ、一巻ハ水舟推中納言ノ事、後仰、
 第二ニテ画ハ、狩野永徳、手カレニ三四巻、
 飛鳥井指大納言ノ事、第三ニテ土佐支起画、
 ナリ、歌ハ、日人筆文晁八画、アツ文晁一世一代ノ傑筆
 ナリ、云フ左マアツ左モアツ

怪イヤガ、倉アツ、秀、彦、天皇之、連、テ、シ、ム
 多室塔ハ、頼朝、建、立、シ、鐘、橋ハ、秀、去、運、立、ク
 月見堂ハ、山上ノ、平地ニ、立、ツ、湖、上ノ、眺、甚、ク、美、ツ
 寺ヲ、出、テ、舟、車、ヲ、直、ク、大、津、ノ、井、寺、ニ、至、ル
 庭上、直、水、ト、戯、レ、テ、日、々、大、津、ノ、婦、女、ノ、殆、ト、凡、ク、肥、滿
 セ、ル、ハ、何、故、ゾ、ヤ、ト、直、水、日、ノ、心、モ、テ、食、テ、甚、ク、シ、ム
 ナ、リ、ト、余、笑、テ、曰、ク

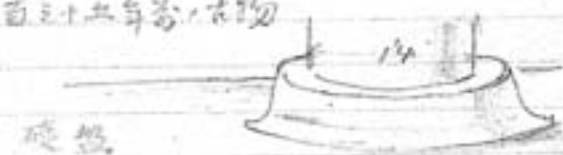


ハモ、味甘、汁、最、之、ヲ、食、ヘ、バ、フ、リ、ナ、リ
 瀧水、絶、倒、シ、テ、笑、蓋、大、津、ノ、婦、女、ハ、實、ニ、肥、大、ル、ル
 ナ、リ、家、長、亦、大、ニ、羨、ム、ス、家、長、ハ、實、ニ、希、妙、ニ、テ、入、ル、ニ
 密、ニ、接、子、ヲ、立、テ、其、密、ニ、テ、殆、ト、明、ク、同、ナ、リ、至、ル
 而、シ、テ、其、先、テ、歸、ル、モ、ト、唇、ハ、小、巧、ニ、コ、リ、甚、ク、シ、
 ハ、見、ズ、ル、室、内、ハ、殆、ト、暗、ク、テ、障、ト、ス、ル、一、般、人
 士、ノ、顔、色、ノ、白、キ、一、際、同、ナ、リ、ト、近、江、ノ、人、ハ、一、件、
 倉、行、若、ク、上、手、ハ、由、リ、テ、有、味、ナ、リ、御、等、ハ、云、ク、室、内
 暗、ク、テ、バ、金、ヲ、儲、ケ、ル、テ、ハ、ス、ト。

後三井寺と云ハ別ニ三井寺と云フ事アルハアガ
 三井寺ガスル他ニアル事ハユズテ三井寺ト云フ者
 其其実名ハ即ハヤ園城寺トシテ在リトシテハ有ル
 寺トシテ其修造ノ重カシク又至頭ニ林巻スルノ奇
 癖アリト有名ナリ余ハ是ノ寺西ノ觀音ノ一見ニ次
 園城寺ニ赴リ木ノ君例ニコリ任仲ヲ行ヒテ何カ
 聖蹟ニ依リシヤトモ實ニ守ハレ任仲ノ守ニ當
 景ヲ似シテテ境内ニテ境内ヲ見セシ實ニ古寺ナ
 リ其古色ノコトヲテ限リテ境内ニテテテテテテ
 沙庭ト松トアリ居根角ノ床蔭ヲカテテテテテ
 草生ト成リテ路ヲ埋メタルアリテテテテテテ
 ノ妙ニ感覺シテシテ任仲ハ多クテテテテテテ
 且維持費ヲ支テテテテテテテテテテテテ
 ベシモ別ニテテテテテテテテテテテテ
 元就自持心カコリ監修セテテテテテテ
 鐘及ヒテテテテテテテテテテテテテテテ
 寛永四年ノ成ニ其他ノテテテテテテテテテ
 口之ヲ見バ全一ノテテテテテテテテテテ
 ハ十ノテテテテテテテテテテテテテテテ
 行テテテテテテテテテテテテテテテテ
 大工事ニテテテテテテテテテテテテテテ
 テテテテテテテテテテテテテテテテテテ



澤慶子作
 石山寺山門ノ仁王
 千百三十六年ノ古物



礎石



石山寺山門の燈籠

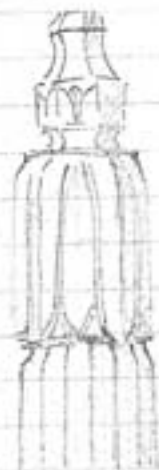


滋賀・常・同・ノ・瓦

←三寸五分→



直径凡五寸
圓城寺・瓦



石山寺宝珠柱



石山寺
月夜堂
152
釘付

通
子
評

日暮家帰リ諸事友と共に琵琶湖ノ水中ニ遊ヒ
 ヌリ水浴ヲ式ニ快スバカズリヨクテ食子ス食
 ニ養育美物ナクテハ閉口セテ食ハ材ノ入テ
 候ノ通シ野寺ニ出カケ喫物ヲ湖ヘクル中遊ヒ
 園ノ地回リ購ヒタルニ昨幸ノ高樓ヲ犬ニ引テ
 飯ヲカキ支レリ理髪店ニ入リテヒゲヲ剃リテ
 明日西京ヘ赴クガ為ナリト時客ニリテ水瓜ヲ
 貧食ニ目死テ思フナリ時客ニ就キテ

材木ノ産地

建築材料ニハ松ノ最モトクシテハ杉トモトモト
 杉山ノ杉林ノ産地ニハ、第八日見、高野、依土杉林
 等モ、在リ又高野村杉林ニモ其ノ名ハハ
 品等ノ入リニ是等ニ然レバ一般ニ松ノ上等トス

次ニ松ノ材ニモ、セツト云フモノニ、良樹トモトモト出
 ルニ殊ニ

次ニ松材ノ中ニ、能ク若クテ、堅固ナルモノトモトモト
 杉ノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト、又トモトモト、下等品トモトモト
 松ノ材ニモ、ヤチノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト
 杉ノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト
 杉ノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト
 杉ノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト

次ニ松ノ材ニモ、杉ノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト
 杉ノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト
 杉ノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト
 杉ノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト

床下ノ松材トモトモト、杉ノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト
 杉ノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト
 杉ノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト
 杉ノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト、杉ノ材トモトモト

持の木、ソリ程七ナリ、雨露の多シ、土は色
 濃ク、強ナ、点ク、置シ
 松ノ持ヨリ、三ノ松、ヤ、松、ナ、少ナ、松、木、
 ナ、アル、木、後、豊キ、コ、サ、日、細キ、モ、ハ、松、持、
 日、等、効、アリ、サ、アル、モ、コ、中、ニ、用、ユ、ハ、大、保、存、上、
 シ、サ、シ、モ、望、見、ハ、小、尾、根、ニ、用、ル、ハ、効、力、大、キ、
 相、ハ、化、旋、ニ、用、ユ、松、ヨ、一、条、筋、キ、モ、ナ、リ
 ツ、コ、多、ク、竹、持、ハ、用、キ、然、レ、モ、持、持、コ、ハ、少、ク、
 筠、方、ナ、持、日、根、用、キ、シ、ソ、ル、イ、多、ク、伸、縮、性、
 大、キ、モ、ナ、リ

松、三、等、今、ノ、一、日、細、ク、色、美、赤、キ、モ、ナ、リ
 各、葉、根、ト、シ、化、旋、ニ、用、ユ、建、築、設、ニ、用、ル、モ、ナ、リ
 中、ニ、色、赤、キ、モ、日、持、ニ、用、キ、ル、レ、モ、多、ク、用、キ、ス、
 傳、持、上、ニ、カ、ワ、ラ、シ、ド、モ、色、ノ、ワ、ル、ハ、ス、ル、ハ、リ
 中、ニ、ハ、龍、用、ニ、床、下、ト、化、旋、ニ、用、キ、ル、是、ノ、交、ノ、
 効、極、ナ、リ、ナ、リ、セ、モ、ナ、リ

楢(楸) 色、白、ク、日、合、極、ホ、ナ、リ、日、持、ノ、モ、ツ、
 又、ツ、持、ノ、色、白、キ、モ、極、ホ、品、等、端、ニ、多、ク、持、
 地、ノ、用、ニ、ハ、一、時、に、ハ、レ、ノ、永、久、ノ、モ、レ、ニ、ハ、同、キ、ス、
 化、旋、ニ、用、キ、ル、モ、天、井、ノ、下、ニ、用、ユ、色、白、ク、
 一、時、持、ノ、下、等、ニ、用、ル、ハ、甚、ア、ホ、ナ、リ、色、量、ノ、交、ノ、
 何、ハ、目、實、望、相、合、至、キ、至、キ、ナ、リ、ナ、リ

以上五地、手、雲、ハ、建、築、材、ノ、
 惟、木、ノ、中、ハ、栗、持、ノ、枝、木、ノ、多、ク、土、石、或、ハ、中、
 ノ、枝、木、ニ、用、キ、ル、栗、持、ノ、餘、上、等、ノ、化、旋、持、ノ、用、
 ム、セ、ハ、注、ス、持、ノ、等、級、甚、々、多、シ、上、等、ノ、ハ、持、
 望、固、ニ、ハ、日、細、ノ、日、持、目、ハ、輪、目、ト、ナ、リ

七月十五日(水)

午、時、六、時、迄、起、キ、今、日、短、ク、日、持、此、ノ、見、蔵、山、ノ、
 登、リ、河、出、テ、テ、ド、モ、雨、降、リ、カ、ル、ハ、見、合、ハ、提、
 出、テ、互、決、セ、余、山、下、ノ、河、水、リ、至、長、シ、直、水、ノ、河、
 谷、ハ、之、ノ、對、地、盡、シ、河、谷、ノ、深、キ、ハ、心、矢、也、ナ、リ、以、
 テ、リ、直、水、ノ、時、日、金、銭、ト、シ、莫、ク、テ、厭、メ、ハ、ル、而、
 シ、木、根、ノ、深、ク、日、持、切、リ、ハ、心、ノ、ル、ハ、テ、タ、ク、外、岳、對、多、ク、
 テ、小、河、ノ、壓、ス、ベ、キ、非、ハ、即、ク、京、新、ナ、リ、一、決、レ、テ、余、
 直、水、ノ、山、下、勢、力、ハ、此、ノ、勢、テ、限、リ、若、ク、又、京、河、通、リ、
 下、康、崎、河、ノ、河、上、ニ、赴、キ、津、田、三、丸、一、件、ノ、實、見、ノ、持、
 河、窟、ニ、ヨ、リ、木、子、氏、ノ、所、應、ハ、赴、キ、ヒ、龍、ノ、河、ノ、来、
 共、持、物、ノ、河、ノ、京、河、ノ、準備、京、河、ノ、又、三、河、ノ、
 一、ノ、流、字、ナ、リ、二、ノ、人、力、ナ、リ、三、ノ、正、流、水、ノ、河、ノ、
 在、テ、持、物、ノ、京、河、一、決、シ、陸、一、艘、小、舟、ノ、頂、ヒ、切、
 持、物、ノ、進、ハ、滿、ノ、厚、リ、三、四、尺、コ、リ、水、尺、ニ、交、ル、中、
 十七、尺、ナ、リ、行、ク、好、河、ニ、テ、ト、リ、テ、ハ、リ、即、ク、三、井、

寺ノ下ニ連坂山ハカヤ 穿クニモノコト長クセ
一十ニ百間ナクニ十ニ町ナリ一ニヨリ地ヲノゾク
バ直ニ一点ニ星ヲ見ル得ルハ中央ニ類ナリ
懸テ室祚万歳ト云フトナラシキナリトナリ
山城國ニテ直ニ山科通ス山科ノ邊ナリニツノ
トナリアリ之ヲ直ニバ即チ西京ノ東端院上ヤ
至ルコト石里路ニ里半安ニニ時百歩ノ費セリ 院上
ヤリ人カ車ヲ籠テ直ニ京都三條大橋ヲ過リ
越ル所ノ格尾ニ投ス

格尾ハ京都屈指ノ通商ノ殊ニ工料大厚ク
家内スル所ナリ家内ノ清浄、得遇ルハ温
ニ加之婢女ニ至ルマデ多少醜ナラス一燈ノ温
柔優美、凡ソ備フルハ實ニ時長日滞ルニ極
密、一慰トナルモノナリ

家内ハ大津ニ於テモト一般些ケノ麗モノナリ
寢殿ノ白木上等漆器ナリ之ニ類スルナリ
庭ノ家ノ庭々色ノ暗暗色ヲ以テ之ヲ庭リ又
一奇麗ナリ且ツ一般ノ外觀丑カカ如ク而シテ
内部ノ優美ハ裝飾ノ尽セルヲ知ルハ園庭ノ
如クモ亦云々如何ノ人工的ナラズ正ニ天造ノ如ク
ナリナリ之ヲ務メタルモノハ如何ノ樹木モヒ装石ノ所
置一池ノ心ルモノ一ノ得ルハ小ナル庭ニ充テ

飾テカバ如何ニ見ユルハ蓋シコト 飾ハ京都ナリ
リ余亦ノ感ナリ

不送傳瓦石造家ハ殆ト古無クナリ可ナリ
用圓ノ風景ニ世人ノ名ニ如ク蓋ナリ北ニ京ノ行ハ
優美ノ風アリ西ニ安樂山嵐山ナリ東ニ敷山華
頂山、大文字山、等ナリ北ニ鞍馬、賣船山ナリ而シテ
南方ニ一帯沃野ニ面シ鴨川郷ナリ市ノ東ニ
流レタリ 三大橋ヲ籠ス曰ク三條、四條、五條、
大橋ナリ市街ハ碁盤ノ目ニ如ク東西ニ九條、大橋
ナリ南北ニ路ナリ 經路アリ余以テヨク京都ノ市
形如ク正ニ路ニ投得ナリ何レノ通モ行ハ
村ナリ(京都)ニ在テハ即チ此ノヨク地理ノ
矢ニ北ナルバ即チ路ニ出レ或ハ迂回スル
東京ノ性致端健ニテ京都人ノ悠々固々
ル一浮由ナルナリ

人民ノ男女其色極テ白クヤコトヤカシテヤカ
然レ肉又豊ニテ皮又細人散、容テ、京都ノ美
人其ニ欲ニバ世人須ク其ノ離人形ヲ見テ之ヲ
恋像スベシ言語ハ婢女ノ殊ニ優美ニテヤ、
鼻音ヲ交ニテ尾ニヤツテ其ノ奇妙ナリ其他
體カ、言語ナリ一ニ見スルモノハ其優美ニ
過テテ少ク産鳴、キカガルハ昔ノ如ク要スルコト

野に猫がサアの時風引かぬ標に花をナリト知ん
べし

留 = 妙にアツ十三四コナセハ色ノガ女ハ悦ビ下
回ノ如ク留ヲ残ガ建ズニ往キ
ノガ女カ用ナカレハ開レハスガ北
首、歌丸等画ヲ考考スベシ又
三十以上ノ婦人カ支那ノ婦人ニ
似ルマダラ残ブモ、アノ右回
ルニ残ナラ面白カラス、而シテ
彼ノ髻上リ、古ノ留ハ余甚クツ
ノ風味、妙ナル後スナリ



正午饗飯ノ後余等ハ旧
皇居ニ赴キ一々回ニ就テ其建築ノ見物シタリ余ハ
先ツ清ノ門コリ入り先ツ清涼殿ノ見物シテ主上
ノ常ノ殿ニテ玉座ハアツク是處、以テ此處、以テ
換宿等皆此處ニ附屬ス殿ノ東南ノ紫雲殿ニ
ツ大サ東西六丈五尺南北十丈五尺中央ニ右座カ
リ御座ノ後、殿上ニ支那ノ時代ノ瑞雲ノ像アリ
リ此處ニ由儀アルモルヲ於テ此處ニ於テ、幕ノハナリ
殿ノ南ニ向ヒア階、右ニ左座、瑞雲ノ像ノ
楯アリ此處ノ有糸ナリ床ノ最上等熱クニ柱ニハ楯
ヲスルヲ張ル長サ一丈三寸中一尺一寸アリ一丈七
寸ハ長一丈四寸ハ中

ヲサシテ其ノ中ニテアリトスフ方々日々全国中
此處ニ已ニ物ノ良材ナシ云フ屬ハオチノ中ニシ
ツウザブヨリ産スルモノニテ皆中最高等、モナリトス
今即チ之ヲ得難クシ云フ

其他ノ名向及ヒ位置ハ別に地圖ヲ記テ之ヲ
見ルニ今一々之ヲ説ク

柳ノ宮城ハ桓武朝ニ成リ、此ノ層ハ此處ニシテ
高ル帯ニ古式ノ聖堂ヲサシテ其處ニテ方々ニ
テ修ミ来リト云ヒ應仁ノ時ニ修ミテ其處ニテ
全ノ層横ニ長クテ修ミテ之ヲ修ミテ之ヲ修ミテ其
古式ヲ失ハシメテ至リテ後川氏天下ニ此處ニ
テ古式ヲ考ヘ其殿ノ西リ其大サノ端ノ處ニ今日ニ
スルノ形ニテ造リ出シタリ蓋シテ往古ノ宮城ニ今日
比シテ大ナル更ニ此處ニテ修ミテ之ヲ修ミテ之ヲ修ミテ
四年ノ火ヲ宮城災燬ス即チ之ヲ改築スルニカ
ク今存スル所ノモノナリト云フ

宮城正門建元門ニ馬車者ノ備ハントスフ後起
ヲルニ其部ヲ往古ノ体裁ヲ保存スルノ目的ニ及ス
ルヲ以テ内匠寮ニテ造リ出シタリ左モハバキ
殿ナリ

宮城ノ東南ニ大宮ノ所アリ即チ之ヲ大皇孫ノ
也所ニテ應仁三年木子君ノ所造ニカレタリ

今即ハ大車能ク尖セ其好ムモハ只帝ノ屋生、
一ヤリハ多ク至耶戦乱ノ先ハ彈丸ノ城内、
降ノ木子君此際ノ建築ノ管ハ以テ大ニ其意匠
ノ活動ヲ好マレタカ云フ所ノ後ニ余等アリ
甚ク高ク支筋モモナリト云フヲ後ニ庭ヲ
テ百ニ十ヲニモスト居ル池水、茶石、樹木、
配置其法ハ遠ク然ル所ナリ、深山ノ如ク
園藝ノ好マレ至テ極ムトハ木子君ノ遺蹟ノ
思ハシ

客：ヨリ休息ノ後、浦ニテ、而シテ、後食ス。少傾、コト至
第四階橋上、昇リ、京都全市ノ見、傳ハ、此テ、一々、流、向
シ、下、壘、川、巴、江、木、子、氏、家、ア、余、等、四、人、ト、才、政
主、流、上、合、セ、テ、六、人、家、ヲ、出、テ、而、シ、テ、勢、有、ク、至、リ、
於、十、七、日、ハ、有、名、ハ、祇、園、ノ、大、堂、日、ハ、其、際、カ、レ、ト、
強、シ、月、中、一、ト、物、ス、日、ハ、即、ハ、ツ、北、野、天、津、北、
等、孔、ヲ、然、レ、ト、今、夜、巴、準備、整、頓、シ、終、テ、
花、車、街、巷、上、ニ、横、ハ、ク、變、輝、花、辰、男、女、節、都、海
沿、リ、群、家、セ、リ、其、家、屋、ハ、毎、戸、大、ハ、灯、燈、ヲ、下
テ、景、氣、ハ、余、ノ、ウ、盛、況、決、テ、余、等、ト、大、堂、ノ、境
ヲ、余、等、余、余、人、士、ヲ、シ、後、ハ、喧、駁、タ、リ、シ、カ、ハ、
凶、快、ノ、快、テ、花、車、ツ、形、訓、ト、會、物、ト、ハ、也、
又、砲、轟、ツ、終、レ、テ、残、ス、所、ナ、ク、毛、燭、布、リ、シ、テ、全、テ
花、車、下、部、ヲ、包、メ、リ、其、政、構、大、間、カ、ト、シ、テ、子、ガ
仰、見、ル、テ、得、カ、ル、思、ア、ウ、タ、リ、ソ、ノ、唯、シ、カ、ハ、爽
快、内、境、暢、分、好、余、ニ、テ、東、鑑、鐘、ト、シ、テ、璣、々、玉、也、
シ、之、導、来、レ、テ、ハ、テ、ハ、ト、ハ、ビ、ヒ、ヒ、ト、ハ、ハ、ハ、ス、ハ、其、品、位
皇、泥、ト、モ、ラ、ス、ト、云、フ、ベ、キ、ト、モ、四、條、通、リ、ヨ、リ、ナ、リ、
リ、大、橋、一、畔、出、テ、三、條、四、條、兩、橋、ヲ、以、鴨、川、ノ
西、岸、ニ、以、テ、一、條、狹、針、巷、ア、リ、名、ヲ、奉、地、町、ト、云
ヒ、巷、中、ハ、婦、家、ノ、屋、意、テ、疾、僕、群、衆、雲、集、整、頓、
整、頓、兩、橋、間、ノ、河、水、ハ、有、名、ハ、四、條、ク、ス、レ、ト、

只見、滿、川、ハ、内、宮、ハ、及、テ、橋、ヲ、築、シ、梓、通、シ、四、通
ハ、達、既、然、街、ヲ、ナ、シ、人、自、ソ、ノ、水、上、ハ、ハ、知、リ、テ、ル、モ、
リ、商、婦、怪、声、ヲ、發、シ、響、テ、嘯、テ、聲、喧、々、ノ、河、水、ノ、流、
ハ、聲、潺、湲、ト、相、和、シ、テ、一、種、奇、音、ハ、レ、又、一、種
ヲ、表、シ、余、等、コ、ノ、群、集、ヲ、ハ、必、テ、殺、氣、天、地、ニ、
控、テ、字、却、レ、僅、長、ハ、靜、肅、池、靜、ニ、テ、雷、テ、殺、伐、氣
ハ、テ、群、集、毎、夜、無、慮、或、テ、燈、走、一、岸、河、上、浮
ビ、持、橋、條、ハ、レ、月、毎、ハ、好、回、リ、ト、云、フ、以、テ、其、盛、況
ヲ、知、ル、足、リ、而、シ、テ、三、條、ニ、條、ハ、レ、ハ、昼、間、ノ、物
涼、ハ、脈、カ、リ、ト、云、ス、京、極、町、ノ、東、即、ハ、茂、草、ノ、ソ、ノ、似、シ
ノ、街、ヲ、高、寒、氷、ノ、臺、ハ、レ、玩、具、ヲ、臺、ハ、レ、見、セ、テ、
カ、ク、甘、酒、雜、菓、子、雜、オ、リ、魁、々、ノ、テ、テ、
探、眼、力、ニ、眩、ス。四、條、大、橋、ヲ、區、ハ、レ、有、名、ハ、
祇、園、町、ノ、婦、家、街、ヲ、軒、ヲ、連、テ、是、ハ、外、面、ノ、家、
シ、テ、声、ハ、テ、奥、殿、深、ク、所、華、美、ヲ、極、メ、テ、之、
京、系、外、部、華、美、ヲ、卷、シ、テ、内、ニ、盛、裝、カ、レ、ビ、ス、ハ、
其、全、ク、玉、又、對、ハ、レ、テ、知、ル、レ、ハ、婦、女、上、等、ハ、レ、
之、ト、大、夫、ト、呼、ビ、屋、外、ノ、行、燈、ハ、大、夫、婦、女、義、女、
大、書、セ、レ、モ、ナ、ハ、リ。大、石、瓦、雄、ノ、集、群、ヲ、以、テ、一、力、屋
ニ、亦、發、街、中、ハ、テ、巨、屋、力、中、等、以、テ、婦、家、
入、口、傍、ハ、テ、株、子、尺、針、ヲ、賣、テ、奇、々、婦、婦、ヲ、
賣、テ、出、テ、密、ヲ、呼、ビ、奇、觀、ハ、テ、町、外、ハ、レ、

八丈神託の依に祇園精舎ト云ハ之レヲ元ト爾ト
 一祇園精舎直男ヒモルハ此ノ如クハ教ト改メセル
 モハノ余等ハ之ハノ教トシテ時キ家ノリヨクテ是レ也
 雲布ノリノ臺ノ家ノ多ク又葛ノ常用ノ此レ
 盛ト興ハ必スハモリ食ノ至都人トキハ全ク心ト
 コリテ生シタルモト云フモ過言ニ非ズ余誠テ曰
 クハモリノリノリノ之レノ系取トヒルハ此レモ
 レハシテ天ガリト當レ然レハモリノリノリノリノ名白
 シ都人常ニ自色ノ食物ヲ食フテ生シタル肌膚
 一白キ又宜クテト聞ク人絶倒シテ笑フ

信
 入
 海

七月十六日(木)

午ノ申時ノ時起キ余ハ日記ヲ記シテ子君ハ書翰ヲ
 認メ九時ノ及ツ頃ヒ一家ノ出テ先ツ二條ノ城ヲ
 一殿ス城ノ治メ織田信長之ノ幕キ徳川家光ノ
 軍之ヲ修築シ所次十七年七月二十八日ヨリ離宮ト
 ナス信長ノ幕キ永禄十二年巳巳ナリト云フ室内
 構造ノ雄偉宏大ナルノリノリ其意匠ノ彫刻鑿抜
 ナル色彩撞撞高尚森嚴ナ画ノ巧妙絶佳ナ其
 一名ト云城ノ路傍セルノ價ニ其ヒ見ルハヤメノ白
 書院及黒書院先ト名ノ木子氏例ノ如ク然レ然ト構
 ハテ勤カ十一時ヲ過キテ街ノ濱城ヲ去リ車ノ籠
 テ七條外ノ桂ノ離宮ニ赴ク離宮ハ桂川ノ西
 岸ノリ方三町許ノ小地ナリト考古ノ書進カツ
 小坂遠近守之ヲ計画ス蓋シハ信長仁親王ノ方
 作セヨリ田舎ノ山莊ニ構ヒ波多ノ間且ツ担伽
 計量ト構造ノ簡雅ニシテ儉素ナル実ニ全輩ニ
 テ一習ヲ契セシムルニ足ルモノアリ殊ニ小地ナリ惡匠
 片ノ縦横ニテ一事一物皆執凡トサナリト云
 水ノ尾天皇特ニ運築ヲ命ジテ屢々行幸セリ
 ト云フ今園庭ノ園林堂ヲ扁額ニ三字ハ即ハ天
 皇ノリ自筆ナリト云フ次ニ示セル取手、引手、直ニ棚
 等ノ画ヲ次テ其意匠ノ此凡ナレ一取手ノ知ルハナリ

園庭ニホト懸懸樹ノ意匠ナリツノ辰雅ノ高僧ノ
 実人ニシテ第樹ノ堪ヘザルニ之ヲ余亦ナリ川ノ
 繪景圖ノ比スルニ其勝ハノ原ノ百々候ノニラズ一
 歩進バ一景生シニ歩進バ一景更ニ見マ百歩ヲ
 進テ後ノ候ハ呉ノ漢ノ十歩ヲ退テ尚ク見ル
 ムハ胡ノ越クテ十歩石化ノ景只ク北ノ山トノ配
 置ニシテニ園藝ノ術モ意ニテ極ハルニ云フ可クハ
 少弁當ク喚ビニ時挂テ去リテ本願寺ニ向フ
 本願寺ノ深田ノ信徳ノ事ヲ齊居セシ金銀ノ以
 テ工ヲ起シタルモニシテ今ニ至ルマテ凡ソ十相ニ身ヲ
 本堂ノ外部ニ成リ巖然トシテ空ニ聳ニ富テ百
 四十余尺而シテ内即チ即チ木ノ成ラズ余等ハ先ク杭
 工場ニ至リテ材木ノ細工ヲ見物セルニ其材ノ大ナル
 或ハ直徑四尺ニ余リ長サ十百ニ色クツ而シテ余等ノ
 持テ去タルハ即チ榿材ニシテ其大ナルモハ五ニ尺
 余尙ハ四尺ニ至リ榿ノ材ノ多ク成ルチ子
 氏ニ其良材ノ多ク集マレハ寫キテ孫アコノ材ノ
 皆候者ノ寄進ニシテ其味越中無ク也ノ婦女ハノ
 髪切テ纏リシテ之ヲ匣櫃セテ入ツツ繩次
 バ大ナル經ニ寸長キテ百尺ニ及ベリツノ信心ノ
 強ク其管ノ餘リクノ嗚呼是長カク終ニコノ一丈
 寺院ノ作ク出セリ愚民ノ力ナク哉

寺ハ一丈有シ大ヤ一尺ヲ名大龍ノ女龍寺ハ九ナリ
 即チコノ寺ハ名大龍ヨリ大ナル一割ナリ知ルベシ

彫刻ノ有シテ精巧ナル其モ精巧ナルモハ即チ
 越中ノ人田村判七氏ノ刀ニカニモナリテ餘
 本邦第一ノ名人ナリ云フ就テ之ヲ見ル成テ雅
 絶明ニシテ余ノ俗眼ハ左甚上テナドコリテ巧
 見ユルナリ四時ナク寺ヲ去リ車ニ乗テ家ニ回
 ルニ述敷野次ニ氏妻ナリ氏ノ應用化學科ヲ
 二年生ノ權謀家ト云ル如クナリ人ト云ル多藝家
 ト云ル用能ト云ル然レモテ正直家、端直
 家、剛毅家、俊才家、ナド云ルナルコトノ間カス
 流ク夕餐ヲ喫シ終リ余ノ從兄新保文佐氏ヲ
 東條川ノ川島工場ノ傍ニテ不在ナリ即チ夕陽朝
 期ニテ殘リテ歸ル蓋シ常日ハ余終日外出セケル
 フ得テ皆ク暇ニテ祇園ノ大繁ナリ以テ今年モ休
 業ヲ休バ都念大ニ色ナリシテナリ余ノ家ノヨシバ
 學友等皆外出テ不在ナリ即チ皆ク日死シニレ
 テ時ノ榮ス
 余嘗テ論スラク人性ニニアラズ始メニ就ケバ風氣
 ヲ人ノ動カス類然トシテ殿様ヲ寫士山ヲ望ム
 女ハ其テ交ハルテ深クバ即チ其内ノ王現ニス
 卑環凡俗衆庶ノ色色ク隱香隱ニ見カ如ク

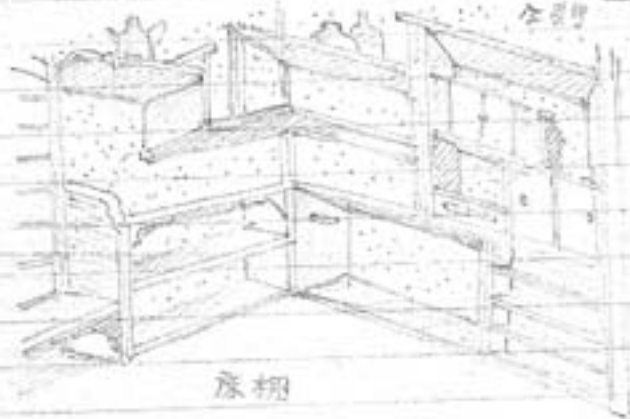
柱の内殿寫生



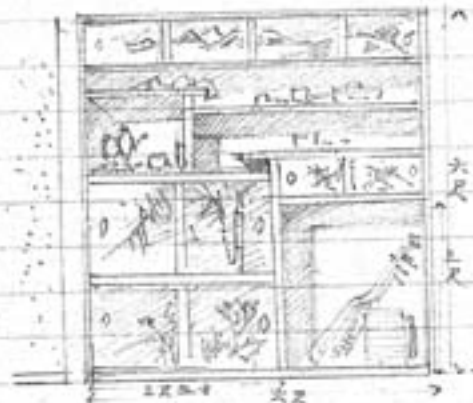
平内身 車板既
錯師 委委作



全體



床棚



此の如く抑々論を思はす 就て之の心は野鄙
粗朴或は固陋歎辭之と交りて少やク僅るハ天
真拙慢高内俗勇断故て人ヨク行れ心是ヨ 就
之次ハ深之と交りて流弊日一輕ナルモ或ハ非
常凡俗人トツラレバ或ハ不世出ノ奇才ト 断ル如キ人
トク最レ僅クバシ 只口ヨク云フモ 往々實コトニ 只
口ヨク云ヒ得ズレバ 往々實コトニ行ヒ得ル其人アリ

云フテ行フ者ハ云ハズレバ行フモノコト方レテアリ
云ハズレバ行ハザル云フテ行ハザルハ勝レテアリ
・ 然レモ等ノ道理ヲ考ヘテ然レ後一言ヲ發シ一事ヲ行ハ
バ則チハ展哉以。然レモ人生帝ニ繁起措前ノ向
瞻眼難歩ス行ハ違フツカハ既ニ然レテコレ等ノ学
理ノ考究ニ然レ後行ヒ且ツ云フテ得ルコト是レ以テ
吾人ノ求メズレバ善言ニ求メズレバ善言ヲ行フコト其
意トスベキナ余嘗テ論ス戯言ハ蜂蜜也此レカシ
之ノ實ルニ即チ甘味ヲベカラス多量ニ用ユルニ必
ス吧吐ヲ催ス余是故ニ往々少量ノ戯言ヲ云フモ常
之ヲ云フテ好マシ余今視學友ノ言行及上品行性類
ノ其大ニ感スル所アリマラス變言ヲ陳スル以上ノ如シ
余ノ意見表シ正理ニ背クナレバ夫レ可ナリ。

七月七日(金)

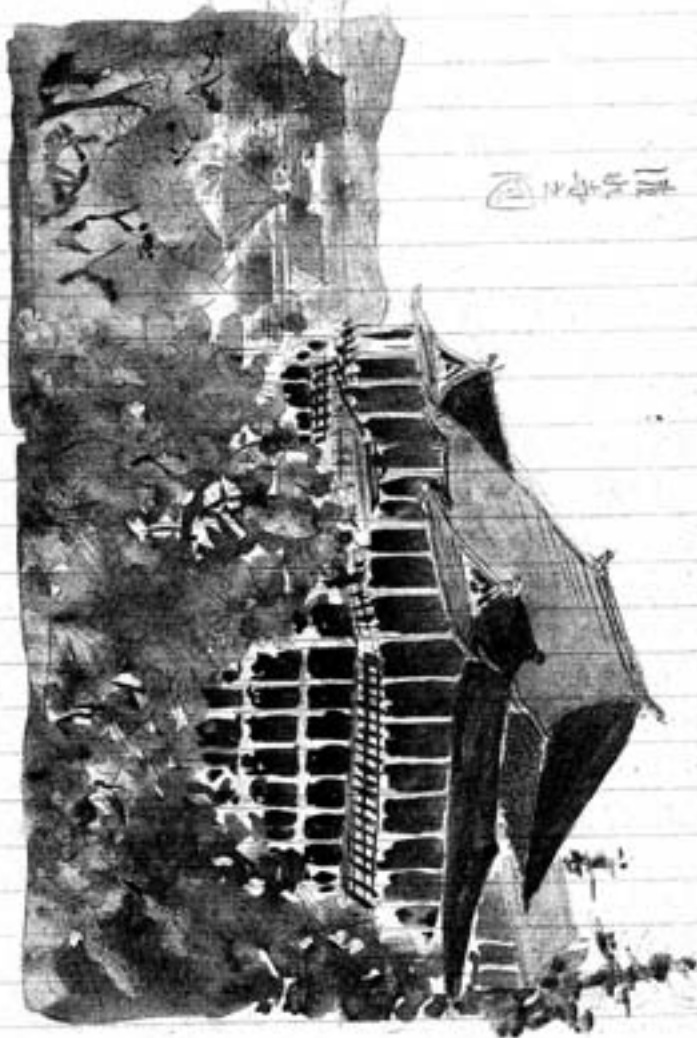
已レテ本日の名、両氏ヨリ余、誰レ様ナドシカガ
 余ハ新レ獲圓ノ命、以テ西氏ヲテ、来リ飲ムル、分、口
 御、舟ヲ擣ル、ト共、飲ム余、各、物、何、本、子、君、如
 某、余、本、子、君、余、ル、ル、余、ル、余、一、体、手、氣
 一、平、生、ニ、テ、荷、モ、已、レ、思、フ、所、ハ、甚、ク、之、ヲ、表、ス
 ノ、新、性、ヲ、備、ル、モ、ナ、ク、他、ノ、廣、業、ヲ、請、ヒ、余、ホ、テ
 向、カ、リ、テ、已、レ、テ、山、下、奥、水、共、ニ、ヨ、リ、来、ル、遊、人、
 ハ、王、室、入、リ、女、志、長、ク、ク、テ、リ、外、云、フ、余、等、五
 人、相、聚、リ、相、飲、ム、諸、護、百、出、尾、ル、テ、ス、ル、
 ガ、千、重、石、化、興、盛、ハ、深、シ、河、口、突、然、ト、シ、流、ハ、失
 セ、去、リ、行、ク、所、知、ラ、ズ、真、水、ヲ、四、樓、ニ、登、リ、樓、ヲ
 賃、ホ、リ、余、ハ、狂、リ、喜、ビ、興、薄、シ、嗚、呼、何、ソ、ク、レ、……
 ナ、ル、何、ゾ、大、レ、……ナ、ル、觀、手、妖、手、醉、手、舌、手、嗚、呼
 余、ガ、御、禮、履、亦、展、成、イ、哉。大、書、ヲ、以、テ、後、ニ
 傳、ハ、シ、欲、ク、レ、片、一、羽、ハ、胡、蝶、片、ハ、シ、余、ノ
 身、ニ、マ、ツ、ル。余、豈、コ、ノ、胡、蝶、ヲ、追、ヒ、追、ル、ニ
 思、ヒ、テ、思、ヒ、テ、コ、ノ、只、俗、カ、リ、而、シ、テ、コ、ノ、事、ヲ
 焉、嗚、呼、余、モ、亦、ク、凡、人、ナ、ル、哉、凡、人、ナ、ル、哉、
 彼、出、群、芳、出、ル、ル、何、ス、ガ、余、及、ハ、ス、焉、
 余、及、ハ、ス、焉、一、及、ハ、ス、及、ハ、ス、……
 ……悲、哉。三、合、酒、ヲ、思、ハ、ス、源、慨、
 下、流、ス、リ、然、リ。

早稲新傳文作氏事話、余、是、一、刻、以、來、口、に、置、き、
 相、聚、リ、余、彼、頃、ニ、從、ヒ、彼、々、川、島、工、場、一、里、送、リ、
 工、場、一、見、ス、ソ、織、ル、所、祿、袴、緞、子、ワ、レ、
 等、アリ、甚、ク、立、派、ナ、ク、見、物、畢、リ、テ、余、彼、々、
 往、方、計、ニ、テ、テ、而、シ、テ、所、テ、テ、余、彼、々、忍、耐、カ、
 順、序、ヲ、失、ス、ル、費、ノ、由、彼、々、落、胆、ヲ、感、シ、且、
 安、ビ、テ、知、リ、テ、ス、ハ、キ、變、動、セ、リ、彼、等、大、
 門、ヲ、テ、時、中、ノ、形、保、ル、川、島、電、出、テ、早、
 之、條、ニ、至、リ、乘、車、ノ、見、ル、所、得、出、
 尾、鹿、テ、ル、ハ、ト、マ、ハ、人、用、久、
 此、ノ、難、當、混、雜、名、姓、ニ、バ、カ、
 鴨、川、面、ス、勤、水、寺、ノ、テ、
 累、テ、又、此、ノ、單、レ、ト、テ、
 味、殊、美、ト、室、内、ノ、
 比、ニ、ハ、勝、ル、テ、
 園、ノ、智、恩、院、華、頂、山、東、大、谷、
 遊、覽、ス、一、ク、余、ハ、感、動、
 至、リ、幸、詣、ス、モ、
 乃、寺、十、年、式、抗、
 昇、台、云、フ、四、
 如、ク、西、京、一、半、
 岩、下、見、レ、
 樹、木、

式ノ表ハ鬚ノ直ニ画ノ如シ清水寺ノ云リ豊田社記
 至ル考友ノ察ル所ニテ門ハ伏見桃山城ニモツ移ニ
 後陽成天皇ノ勅額ヲ豊田大社ニ移テ云フ境内大
 仏ノ殿ノ長ハ五間耳ノ長ニ間アリ而シテ奈良ノ大仏ノ
 ナニ之ヲモ大ナリ云フ次ニ三十三石堂ノ見ル堂ノ長ハ
 八十間余古色蒼然ク堂ノ森大木ノコトヲ有ルナリ
 ナリ棟木ノ彼ノ銀九ノ母ノコトヲ柳乎

蔭ヲ森地柳ノ叢ノ緑光色ノかてらを染ム令日哉
 堂ノ去リテ再ニ歩シ車ヲ漕シテ二條ニ至リ伊勢郡ノコト云フ
 今所ヲ神祀殿ニ上リ冰後酒宴ヲ張リ快哉痛飲
 余固何物ト人事ヲ辨ハズ蹠眼家ノコトヲ直ニ書ス
 ヲ何時ナラズ知ラズ

今日ハ久シク親戚ニ逢ヒ終日ノ遊汎ニ胸襟ヲ開ケル
 ハ余ノ尤モ満足スル所ニテ御厚儀ニ至リテ満足スル
 ハ實ニ此快事ノコトヲ余ノ大願ニ至リルニ何ヲ怪ム
 理ナリ又何ヲ深ク感ルニ是ラヤ



七月十八日(土)

今日余等一同伏見、朝庭、十、余等、昭、向、つ、時、也、
ハ、時、退、つ、蓋、余、祈、禱、矣、味、ア、リ、コ、ソ、ト、フ、十、余、等、是
リ、花、合、を、開、け、木、子、君、府、廳、へ、依、り、建、座、也、矣、
紹、永、状、ヲ、得、テ、ス、君、悠、々、坐、シ、テ、管、々、悠、々、然、リ、テ
出、テ、建、坐、也、親、族、等、十、五、内、早、に、正、午、に、及、シ、終、に、用、禮
ヲ、終、へ、就、ス、空、の、如、く、也、嗚、呼、健、ノ、ノ、セ、リ、フ、
之、時、至、ル、十、余、等、ハ、四、人、共、ニ、六、角、堂、に、坐、シ、物、出、出、
ル、方、別、其、末、之、ハ、雨、白、モ、ニ、余、ハ、伊、奈、ト、市、街、
漫、歩、シ、テ、家、に、歸、ル、午、飯、畢、テ、余、等、五、人、及、上、権、田、氏
相、伴、テ、智、恩、院、に、至、リ、建、坐、構、造、ヲ、研、究、ス、事、ハ

據、テ、建、立、ス、ル、華、頂、山、ト、号、シ、款、玉、帝、到、場、也、
願、好、ス、ル、モノ、ハ、徳、川、に、代、り、物、奉、り、奉、ル、カ、ニ、寺、
淨、土、堂、ヲ、リ、本、堂、後、に、大、方、丈、に、成、ル、十、八、丈、等、
リ、後、攝、善、養、尼、セ、リ、本、堂、外、に、彫、刻、ハ、日、々、中、一、ノ
外、ト、シ、テ、臨、江、智、恩、院、彫、刻、ハ、先、ツ、中、御、佛、一、流、
ニ、位、ス、ル、ト、云、フ、廊、下、ハ、古、管、張、リ、シ、テ、長、吉、ノ、花、
い、ぬ、け、集、會、堂、ハ、皇、三、百、六、十、三、入、ル、ベ、シ、山、門、
本、御、中、丈、に、有、名、ト、ル、モ、リ、テ、後、奈、良、天、皇、勅、筆、額、
ヲ、懸、ク、テ、華、頂、山、ト、云、フ、山、門、上、部、ニ、ハ、宗、院、像、及、
ツ、左、右、ニ、十六、羅、漢、像、ヲ、安、置、シ、管、飾、極、ノ、ヲ
華、美、ト、シ、

智、恩、院、之、去、リ、ハ、故、津、記、に、按、據、申、奉、テ、流、乘、
泉、涌、寺、に、至、ル、而、ハ、皇、皇、代、の、蹟、也、に、テ、四、十、二、帝、
ナ、リ、(周、穆、王、以、來) (因、云、フ、當、今、内、憂、知、レ、ル、也、帝
計、有、ニ、十、六、ノ、云、フ、既、後、十、六、等、青、木、判、之、テ、氏、計、画、
儀、ヲ、成、レ、ト、云、フ、天、皇、以、御、指、加、テ、外、ニ、其、所、
仙、殿、其、構、造、殿、之、所、巧、ニ、テ、斗、胆、知、レ、テ、之、
ヲ、用、子、内、ニ、舍、判、アリ、其、大、に、五、丈、ノ、木、
其、地、之、兒、
ト、云、フ、之、
ハ、金、判、堀、ヲ、高、ク、ニ、尺、余、純、金、
之、
之、
碧、ト、云、フ、
ナ、テ、余、等、ハ、豫、月、輪、
孝、成、天、皇、以、御、
諸、ノ、以、御、
石、皮、及、石、埋、
以、テ、山、
決、ヒ、テ、臺、
之、
土、
壙、
四、序、
上、
丈、
石、
連、
テ、以、テ、
墓、
表、
ト、ス、
唐、
人、
ハ、
本、
木、
壇、
下、
持、
レ、
皇、
族、
ハ、
該、
壇、
上、
北、
門、
外、
毎、
二、
而、
一、
天、
宮、
院、
下、
ス、
モ、
沙、
一、
壇、
上、
リ、
皇、
上、
ハ、
ス、
ト、
云、
フ、
金、
判、
金、
等、
ハ、
時、
記、
平、
福、
山、
路、
テ、
登、
リ、
テ、
終、
ニ、
仰、
度、
殿、
下、
尺、
下、
ス、
ニ、
至、
レ、
テ、
又、
畏、
テ、
哉、
木、
子、
氏、
拜、
カ、
先、
帝、
并、
侍、
次、
神、
五、
ノ、
當、
天、
下、
多、
子、
際、
極、
下、
垂、
ヲ、
加、
レ、
テ、
矣、
レ、
バ、
レ

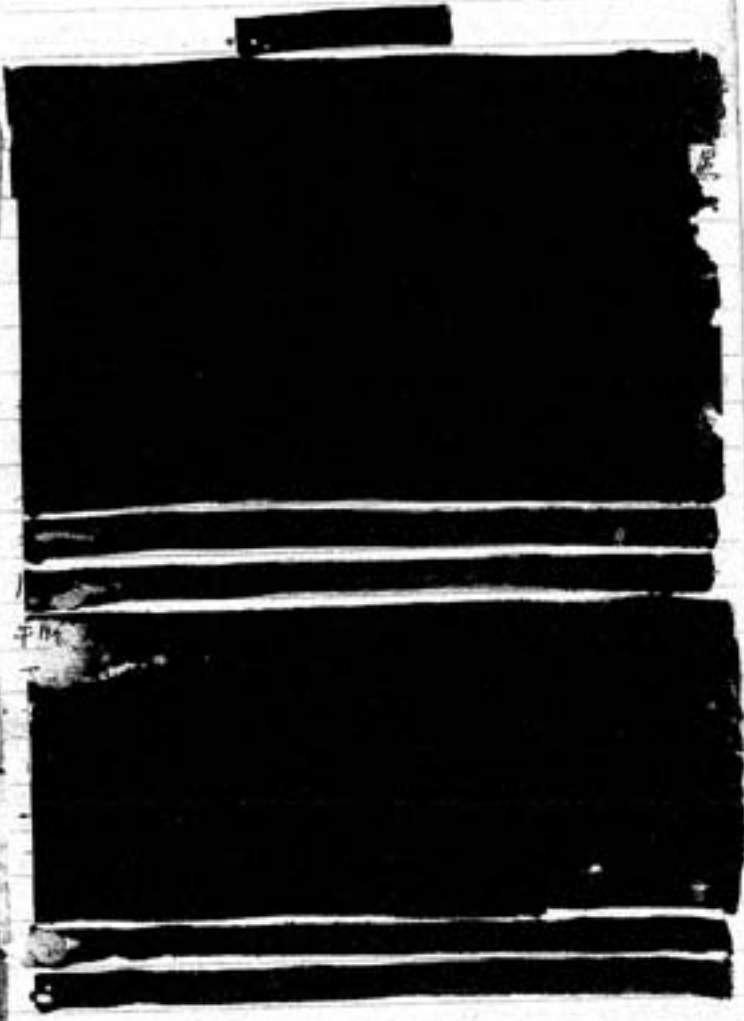
仙堂、標、之、云、フ

征夷大將軍右大臣正三位源賴朝 再拜

上棟 山城國新山泉涌寺 徳田下坊從五位下藤原氏
寛文八年戊申十一月廿

北 申月廿水

ト宗通寺法之余等、宗教典、瓦工西村氏、
 工場の巡覽に大い得り、町中、西村氏余等五人
 = 酒肴を供す六人、歸りて飲食し或、多し酔
 ヒタルモ、ツまじり、車を籠りて、向つ木子氏、
 振田氏ト同車して、車上、向つ木子氏、
 等、四條河原、面々大可憐、云、料理、
 登へ引、
 大酒宴、
 盃盤、
 余等、
 一男子、
 振田、
 余等、
 驚一驚、
 ツ、
 余等、
 得、
 一、
 談、
 馬、



十九日(日)

八時境田氏再と新河云人大伴行東北、名勝ヲカ
〜中、南禪寺ニシテ其規模智恩院ト相若。寺、
龜山天皇ハ分骨所トシ、次ハ永觀堂ト大見ベキト
ナレ、次ハ黒谷支那寺トシ、並ニ直實院ト備、
詠盛ノ村ト無常ノ散レ路、身墨染ノ渡レ世ノ
遊ケレ所トシ、今墓アリ、一ハ越谷坊カ房入通達生法
師ト題シ、一ハ大丈數盛空歎瑞花大辰トト稱
到ト相對時ト即ト思フ、雨トシテ地下ニ在リ、怨
ヲ解キ笑テ相携トテ快遊スル、次ハ真女堂ト別、
面白ト感テアラス、次ハ銀閣寺トシ、東山或政ス、建
所レハ式色優ベシ、然レ決テ精巧ト云フベカラズ、
一覽、後兼、揚、馳走トテ余等巴兼、湯ノ晚知レ
知子、飲了又一ト新河トテ銀閣ヲ去テ修善院ニ
ケ院、モト修善寺ト云フ近年寺ヲ院ト改メ以テ離宮トセ
テ構雜致、多シ意匠極メテ経路ヲ院中小徑、画
ケ去禪ノ画、如ク其ニ美ト云フ、ナク

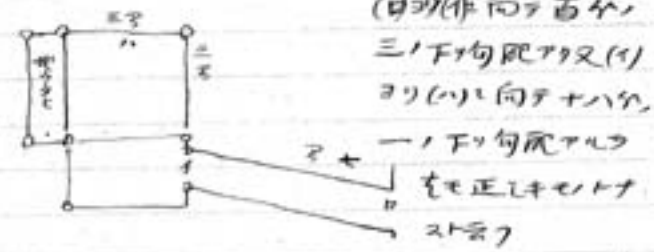
21日 木子氏憔悴病弱持甚シテ終ニ魯山ニ登ルニ
堪ハズ、河水亦大漲、流レ之ヲ厭フ、毒水ハ腹工合不
快トテ、探レテ常ノ路ニ余ト山下ト二人晝食、日村
ニ食テテ登山ス、山麓ニ絶テマテ五十町直上ル
峻険トシ、山下ハ健歩、以テ間ニ歩行、段々平易トシ、
余之尾ヲ初レテ登ル、一步一喘、熱汗淋漓

全身：溢ル其甚云フベカラズ、巴ニテ余勞フル所、酒
ヲ飲ル、麴湯一時、走ル其一倍ス、余酸味ヲ感、路
傍ノ草ヲ取テ走ル、味或ハ其淡マ、不快ト感ス、
己ニテ余等上トテ一里余進カ、西南ニ此心ハ山城
内ノ全景一眸ノ内ニ聚ル、其淡黒瞭瞭、野原、
地ヲ遊ベシ、草柳、全市ヲ其東方ヲ要、一糸ノ流レハ
鴨川トシ、市南ヲ一大沼澤、ハハ巨椋ノ池トシ、池ノ北
岸華大、黒斑ヲ見ル、伏見町トシ、伏見ノ西南ニ向
フテ一大江河、流ルル、此河トシ、河水天ニ揚ス
所、南岸ニ小丘、欠ルハ山崎ハ橋ヲ懸テ、西北ト
眺メ、其ル鞍馬、深山、暗キトシ、遠ニ黒雲ニ連テ、
皇宮山ニ巖嶽トシ、丹波ノ諸山トシ、而シテ其東山、諸
山、一皆土塊、如ク眼下ニ駢列トシ、其風景、絶美ト
ル、余ヲ以テ思ハス、奇カク其難ヲ忘レテ、其没トシ、又冷風
ハ肌ヲ徹シテ、骨ニ透テ、涼氣、軟ク、暑ク、洗ヒ去ル、余
華快トシ、味トシ、トシ、巴ニ又登ル、半里許ニシテ、絶頂
ニ達ス、可ク、嶽山ノ最高峯トシ、高ク凡百五十尺、即チ海
面ヲ按テ、凡百二十四百尺トシ、トシ、道路トシ、平易ヲ
高ク、式トシ、腰ニ設テ、從テ行クハ、從テ周リ、後トシ、難シ、路ニ没
シ、見ハズ、深キトシ、聲トシ、行クハ、又半里許ハ、樹木、鬱
蒼、拒レ、杖高ク、臂ヲ置テ、暗ニ、空ニ至テ、走ル、一徑、華高、
感念、人心ヲ撲ク、此地、寺、伎ヲ建立ス、抑又巴ノ得トシ、

下ノハナノ町ニシテ一ノ茶屋アリ余等ニ人交フ内ハリ水
 ノホリノ蘇生ノハナノ休息スナク次ニ俄然トシ大雨至ル
 瀑ノ声ノ天柱碎ノ大地流レト欲ヌカハ之電火閃々
 眼ノ前ニ霹靂震々天ノ空ノ光トスバシテ松等徒々アコ
 ノ窟ニ逃レヨルモ村名各火ノ衣ノ靴ヲ余等亦火
 ニ傾テ温ク取ル莫ク思フ可シ巴シテ雨ナク晴レ雨
 ナク晴レ酒ノ杜ニケテ茶屋ニ去リ下ノハナノ町ニシテ
 菊菜工場アリ蓋シ余等ニ居座有テ務カク来リテ路ヲ失
 セリ余等雪ニ登リテ山ノ上リ再々正路ニ出テ路ヲ乃チ在
 ルニ得ス昂々計テ日ノ全等宿ケテ以テ厚地ニ即テ之
 然レバ何カ短少ナルナリ不在ニ使テ余等ヲ引スル大
 ナリ不如此外部ニ之ニ又外山ヲ下リ道ニ路傍ノ何カ野
 花ニカケテ大ニモハ限カテ描畫ヲ下リ凡ソニ里ニシテ坂
 村ノ日支津地ニ至リ一覽山門ノ嵩ノ丹スラ之ヲ望ミ描送
 戲ノ巧巧ヲ控ケ死テ去テ上ノ兩坂ニ打テ置ル日條巻
 ニシテ然レバ張線ノ以テ泊ルルモナシ即チ今ノ路ノ數
 所道ニ辛崎ニ迎テ松ノ見ニ大ニ終六尺老幹共巖林
 怪百出(龍蝦)ハノ蛟龍ノ蟠ニ似テ然レバ年ニ
 老ニ官百方之ヲ修繕保復ルモ年々衰弱ヲ免レト云
 幸崎ノ腕車ヲ行ク大津ニ至リエビヲ卷ニ一泊シ決
 後ニ孟ノ快クテ疾ニ就

二十日(月)

午前十時ハ時起キ旅宿ヲ出テ余ハ山下新カキノ河ノ岸
 柳林ノ窟ニテテ茶ノ馬場停車場ノ坂車ニ乘リ登
 坂山ノ隘道ヲ經大谷ノ山門ノ爲メ宿舎ニテテ之
 徑ヲ十二時至都ノ宿ニ今日ノ心ヲ申換ルニ着テ午飯ヲ
 喫テ午前十時ニ時コリニ全打ケテ西ノ山ノ頂ニ上
 キ包物ヲ其モモルルニテモハ伏見桃山城ノ跡ニ
 外ノ敷地アリシテ凡ソ十二町アリ但シ一町六尺ニモ
 其跡画彫刻ニテ凡ソ三ヶ所ニシテ凡ソ三ヶ所ニ見
 一塔ノ一塔ヲ喫セリハナシト云フ又純眞院アリ大ニ
 正式ニ依ルモハシテソノ形下圖ノ如シ



(日ノ作向ヲ面ケノ
 三ノ下向既アリ又(ノ
 一ノ下向既アリ
 一ノ正計ニトナ
 二云フ

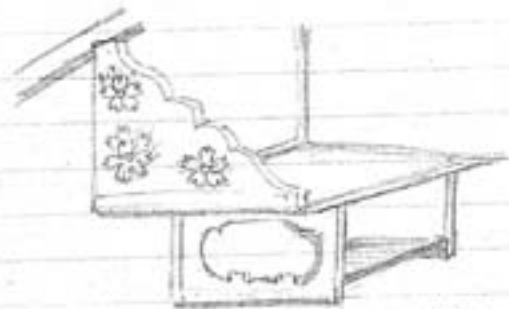
夫ノコト有ルニ飛雲閣ノ登リ見ル下圖ノ示カル如ク在
 名ノ棚ノ最高層ノ床ニ形似ノ富士ノ形ニテ
 秀吉ノ床ノ上ニ臣下ノ床壁ニ昌岳ノ圖ヲ懸
 此ニ坐テ下ノ仰カセハ見ハスト秀吉即チ座ニ就
 陣ルテ仰テ見ル果シテ富士ノ見ル臣下ノ公未ク

高千穂ヲ行ハテハ 柳ノ馬岳ニ行ハルヲ
得テ先夫笑テ曰ク余馬岳ノ次ニハ頭ノ
巻ニ北ニ余只ク岳麓ニ松ノ画カニ為セシ
ト筆ヲ把テ松ノ画ヲ云フ今松半ハ消ヘテ明
ク然レニ寫土ト相映セズ毎ニ兩人ノ別業ニナレ
カ如キモノアリ 閣ノ下リ車行テ家ニ到ル時巴
五時ナラシメ余等骨牌ヲ闘ヒ氷浴ニテ食ヲ
終ヘ日全ク暮ル 頃余ハ川嶋工場ニ赴キ新藤
氏ヲ訪ヒ其 徒ヲ訪テ付テテテテテテテテテテ
為份誰 腕裡混糺其何カノ至意ヲ失セテ
余百ヲ怒強僅カ氏ニ計ニ順序ヲ立フルヲ
得テ蓋シ氏ノ勘ヲ迷霧中ニ彷徨スルニ氏ノ力
ニ是レトシ之カ大深固カラケルヲ得テ筆ニ要ス
又ハ資本金ニ是レトシ由レハ如シ氏ノ身以テ氏
慶運ニ立テハ其甚難直ニ問ヒバ氏曰ク君
百里ヲ遠シセシ余ヲ訪フ余君ニ遇ルニ厚カカ
ヘカズ然レニ君ニ逢テ笑フ斯ル如キテテテテ
レハ君ヲ歎ハス余愧慚塔ノ所ヲ知ラス 余ハ
君ノ来訪ヲ得テ長恨短カ而シテ精神強トシ
余ハ云フ所強ト見童ト一般ニ君等ハ諺
セト余又喟然カバシテ氏ト伴フテ西坂
ヲ登リ三條通ニ至テ氏ト別レ余ハ三條寺

通リ至リテ鬻利ニ 理髪店ノ壯丁數人ヲ深切
間ノ事都人ノ輕薄極メ 他郷人ヲ遇スル
ニ冷淡ナリ余今ヲ復テ知ルニ一時
物ヲ落友ト共ニ骨牌ヲ闘ヒ一勝一敗夜深
シテホ意ヲ木子氏ト共ニカハシ興曰(大)
巴シテ時十二時ヲ過キ翌日午前十時ニ
即ハテ度酒ヲ飲シ三盃ヲ飲レテ後ニ快
バラス 夜半河合其食ヲ腹ニテ目覺レ即
ニテ食ヲクガテ後ニ隣席木子氏ノ食ヲ
一匙ス木子氏驚キ醒テ躍テ大呼テ曰ク
事改何物トテ鉄券ヲ揮テ強ク河合
ニテ打ッ河合 唾然トシテ大笑ス木子氏
之ヲ怪ハシ亦唾然トシテ大笑ス
余驚キ覺テテ日ヲ仰テ見戲ヲナシ
全カ津聖 十夢ヲ破ルハ何ヲト真水
山下ニ次ヲ突テ 笑声一
時室ニ滿テ止マズ

二十一日(火)

昨夜、夜戦甚し余等、肉体ヲ汚レテ以テ余等
 等ハ七時半マテ安眠セリ醒テ見ハ細雨蕭々シテ
 降ル候ナリ余等先ツ本日、休業ヲ祝シ後、時日堂
 々巡ルノ儀、已ニテ雨晴ニ即ニハ、腕車ヲ携ヒ西山
 ニ向テ進ム。オハ北野、天橋立ニテ、管原已邊
 ト中將姫ノヲ祭ル、即ハ文學、神ノ天正与古、
 築造ナリト云フ。門ノ三綱、光門ト云フ。日月、星ヲ
 梁ニ刻スルヲ以テ名ヲモト、内内ニ多宝塔、門ノ
 神仙混濁スルヲ以テ、惟新後ニ之ヲ号セリト云フ
 本殿ハ、明ノ儒ハツ棟作ニテ、描送殿ニ見ルベシ
 次ハ鹿花院、金剛寺ナリ。金剛ハ、其非常ニ有名ナル
 モ、似テ此ノ之ヲ見ハ、只其大色、蒼然ナルヲ見ル、
 外ナレモ、堂、内外高ク、堂ノ造リ之ニ、彩色ヲ施
 セシモノト云フ。今ハ殆ト全ク堂ノ止メス、建物のニ、造
 ニシテ、第一層ニ、究竟頂ニ三字ノ額ナリ。柱ハ、松、和、等
 ナリ。天井ハ、俗ニ、楠、天井一、柱、展ト云フ。有ル、実ハ、青、色
 ノ、板、張リ、シテ、格、組、ア、モ、ト、彩色ヲ、施、セ、シ、以、テ、
 其、份、ハ、描、送、ナ、リ、ア、矢、ハ、サ、リ、ナ、ラ、ン、間、ノ、三、面、ハ、
 大、池、ニ、臨、ル、風景、モ、佳、ナリ、別、一、堂、アリ、之、ヲ、中、部、
 堂、ト、號、ス、俗、信、ノ、藤、園、湖、南、天、孫、柱、ト、云、フ、
 即、ハ、ソ、ノ、宗、堂、ニ、アリ、言、大、厦、衆、ノ、中、堂、等、ハ、別、ニ、
 平野、井、北、ノ、見、ル、宿、堂、大、池、上、位、信、也



宇ノス、疎、疎、甚、シ、雅、致、ニ、シ、テ、名、草、多、シ、茶、湯、巻、居、
 ア、次、ニ、方、向、ノ、替、ハ、紫、野、大、徳、寺、ニ、赴、キ、寺、ノ、一、休、ム、
 尚、以、テ、流、ア、リ、材、木、良、敷、ル、ハ、殆、ト、他、ノ、ノ、比、シ、見、ス、
 描、送、又、殿、ニ、佳、ナリ、ト、云、フ、バ、レ、一、休、ム、木、像、ア、リ、巧、拙、
 推、余、之、ヲ、判、ス、ル、ハ、
 大、徳、寺、ヲ、去、リ、再、ヒ、天、橋、立、ノ、宿、ニ、至、リ、昼、食、ヲ、喫、ス、余、
 等、此、ノ、倦、厭、ハ、心、ナ、キ、ニ、非、ズ、或、ハ、嵐、山、ニ、至、ラ、シ、テ、直、ク、
 ニ、帰、宿、セ、リ、テ、王、張、ス、ル、モ、ア、リ、諸、侯、雖、出、發、ニ、車、ヲ、
 進、メ、テ、嵐、山、ニ、向、テ、途、上、草、持、テ、覚、ア、リ、草、持、テ、覺、ハ、尊、氏、ノ、
 流、名、ノ、後、寺、ニ、是、判、十、三、代、将、軍、ノ、本、像、ア、ル、ヲ、以、テ、
 名、ヲ、又、徳、川、家、康、ノ、木、像、ナ、リ、其、容、貌、自、各、々、奇、怪、ニ、
 テ、美、ト、名、ハ、ナ、キ、モ、無、キ、カ、如、シ、余、ヲ、巧、拙、ノ、判、定、ス、ル、
 ハ、以、テ、次、ヲ、内、室、ノ、仁、智、寺、ノ、治、仁、寺、ノ、共、尊、天、皇、御、
 願、ノ、コ、ト、建、立、セ、リ、代、ハ、皇、子、之、カ、別、当、ク、建、物、ハ、別、ニ、
 大、注、意、ハ、ナ、キ、モ、ハ、此、ノ、時、忽、然、電、光、石、火、ノ、霹、靂、
 一、声、天、地、ノ、聲、ノ、如、ク、余、等、思、ハ、遠、巡、避、易、ス、レ、シ、テ、

猛雨沛然車軸濡す如し余等昂ハク麓山行リ上ノ
 車ヲ回シテ河内ニ就ク急雨益激シテ車殆ト通ルニ往來
 或ハ雨水ノ没ル所トハ余等五時屯カヨリ休息ニ
 夕食後余木子氏ト某医ヲ訪テ味子氏知巴ナリ
 余就テ診察ヲ求メ蓋シ余數日當リ風邪ノ氣味ハ
 味見シ鼻孔塞閉スルヲ以テテ医セラルシ脈ヲ按
 レ打診及ヒ聽診ヲ行ヒ然レ後確確知テ喉ニ
 窒リザルハ喉嚨閉塞一貳ツク余辭シ去リテス
 医兩人ノ酒肴ヲ供シ君一滴モ酒ヲ飲ム勿
 レ即チ余君桑ト供スル木子氏ト大ニ相飲シ余
 即チ然辭シテ家ニ歸ル等ノ野釘去君等
 給、妻居ニ伴ヒ當宿、來ルアリ河内思ハ得テ酒ヲ
 行酒出テ試シ蓋シ又マカハ安業ナリ余等四人ハ
 宿ノ中見テ其ノ戲ルハ野釘山下、河内ト余ト三
 人等寺ニ出テ野釘地ノ女甚居テ兒ニ木子車
 土居藤ハ即チ藤ヲツ演スル所ニ昇登シテ
 亦甚麗艶歎歎感ハス是ハ金吾ト吟ハ
 一モ尤長シ且巧ク甚居テ出テ三人氷店ニ
 飲ニ排テ買ツテ屯カヨリ淹張テ頃ノ野釘島ニ
 ト三階上ノ漸カハ圓ト余等氏ヲ訪テ淹張面出諸
 禮文ニ出テ蓋シ野氏ノ丹後寛律ノ人清水滿之
 助氏ノ養子ト今清水姓ヲ冒シ河内氏ハ即チ清水

君、長屋住ニハナリナリ一昨申指ニ就

二十一日(木)

午時申時起キ(虎ノ余等)當庭面針遊テ至ル
 所ヲ終ニ今日大坂ニ向テ登ルニ一決ニゴロ
 午時一時四十五分新橋、向町、山崎、高松、森、
 吹田、カヌエノ傍ニ時足キ大坂ニ暮シ中ノ島ノ
 花店、投宿ニ大坂ノ景況ノ別ニ相ナリ今之ヲ
 再ヒセス世人云ク大坂ノ宗宗兩宗、中百ニ位ニ大ヤ
 モ亦々然リ然レ大坂ノ屋カ宗都ニ比テ殆シ
 ト是ナリ只其形ノ不正ハカガノ一端ヲ他端ニ遺
 ムハ此宗宗都ノ大ナリノ擊我當庭面針遊テ
 宗都ニ遊テ而テ又兼宗ノ張テズ只直路終テ
 且ツ觀ルハ大家高樓ナリニナリ全申溝渠隆
 峻橋梁殿々多シ今二百ハ橋ナリト云フ其流
 川ニ世宗ニ三大橋ヲ天満、天光、津波ト云フ
 長ナリ百餘トテ銀製ナリ其宗一重日チ一
 ト餘ニ其妻持モ大坂ノ野セバ亦テ顧ルモ、
 ナリハベシ大坂ノ實コレ橋梁、新舍ナリト云フ
 モ是意ハアラス

家屋ノ構造、人情、風俗、言語ノ宗都トヨク大
 似テ然シト區別スルカサレテナリ只談ヒズルハ

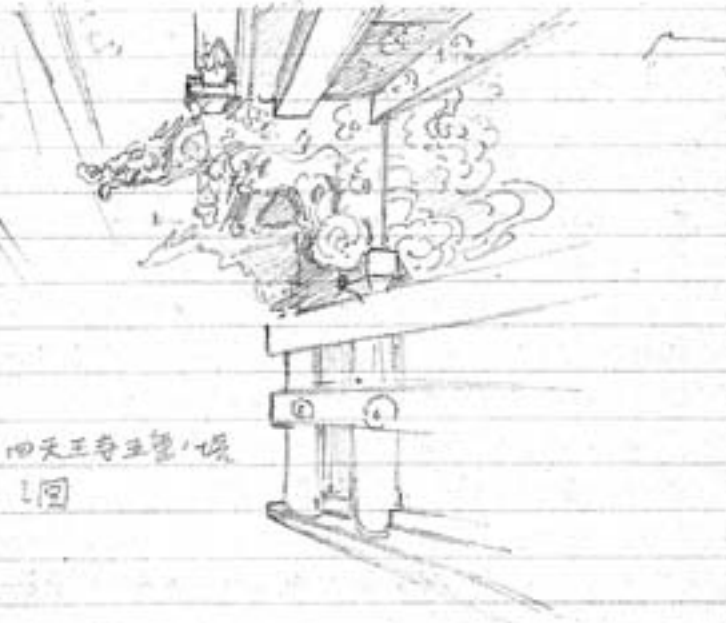
永着物小大坂、食と倒レシ衣服、夏即ハ冬ニ不
及從テ萬子、体裁至テ不調化、不作法ナリ花格ノ
食子ニ用ル器具、類ナドモ實ニ無器用ナルモ、ハ
ナリ夏ニ至テオ京都、夏坊地ナリテ又ハ冬ニ至テ、
器具ハ眩、且、コヲ著至レマテ一モ好趣ヲ備ヘ
クハ夏坊品ヲサヘルナキナリ

人情ハ京都ハ優美シ大阪ハ浮靡ナリ云々
ア大阪ハ諸國ノ名物ノ人百、漢ハ所ナシ或ハ
人情モ亦京都ハ温厚柔キナルヲ就ハカニモナ
シ乎京都ハ沈靜ナルハ其他、兩多キニ由リ東京、沈
澁ナルハ日青天暴凡多キニ由ルヘシ東京ハ暴
風多シ以テ之ニ抗抵スル、ナリ「即」ハ剛情界ノ境
トナリ晴天多ク以テ之ニ浮カレ、ナリ「即」ハ雅取
愉快性ナルハ京都、兩勝ナルハ其沈憂性ナリ
風少キハ其温厚性ヲナレ、天、既前豈分毫ニ後
ナリヤ

ニ時ヲ脱車、便ヒテ空ヲ登シ大阪、名所ヲ巡覽ス
先ツ 櫻ノ色ハ心奇揚通リ南下ス余等ヲ用
ク大阪、心奇揚通リハ即ハヤ京都、電通ナリ
余等ハ其岩大繁榮ノ期ス而シテ今之ニ就テ見ル
道中僅カニ五等ニ至ス只ル一小街ナリ西本行
寺ノ旁ヲ終道頓頓ニ出ツルハ百景一變シ熱鬧
喧嘩人馬往來ス其巍然トシテ半空ニ聳ル高揚ハ
翻揚浪花堂ナリ其東ニ接スルモハ 座ナリ其
他他路ノ榮倉、料店底、櫛比シテ華夏ノ競フ又一奇
觀ヲ申進メテ午目前ニ至ルハ俗景更ニ一變シ其熱鬧
名狀スバカズ見物ヲ、テ踊ヲ、劇場ヲ、百級遊技
備ケルハナク數町ヲ殆トテ層層數層ノ雜音ヲ極メ
蓋シテ京ノ新景極ト相比スルハ兩テ遠ク東京ノ淺草奥
山ニ勝リトス眺望岡ヲ只秀然トシテ高キ、ニ其
歌然ハ即ハヤ厭フベシ

次ヲ車ヲ進メテ高家ノ坊ニ至ルコトゾハ大阪、南端
ニテリ四等、馬路アリ其歌テ之ヲ欠ルハ其構造裝飾
ハ見戲ノ趣ナリ之ニ四等上ノ大阪、全市ヲ見ルベシ所ナ
リ破化速ク、製造所在ニ相突高ク空中ニ聳列ス以テ
其製造工藝、地ナリ知ルハ是ヲ去テ天王寺ニ赴ク
寺ハ聖徳太子ノ建立シ玉ヲ貯メテ其構造全ク華面
寺殿ト同シカズ危危句配甚ク急、斗組ニハ大斗、

上=大に海抜材木の付り上上面斗の之に出折り引
 下は又漆木内面一面=雲形の彫りか板のハツ
 漆木の板の縁に古寄りの金等名一様の排の埃昇
 ソ評が其構造法の研究に多少得ん所ツオ玉厚
 昇の四殿/風景頗佳ツ西方一帶瀟水連の
 茅海の連山一帶之了良の汽路島の須麻ノ
 圃、吃石圃、歴の碑、可レ、住去、塚、瞭々指不
 可レ。塔の下路の轉り生田免津社=詔の社
 官祭大社=仁徳天皇、祭の所の生田免、北
 野町に高津宮アリ即ち仁徳天皇、皇居跡ツ
 ト云フ高津宮去テ大坂城=赴、余電ヲ復城、構
 造本邦に冠ス、開今遠の之ヲ望、其復造
 ヲ知ル能ハザル、只甚巨石用カル、石は學類
 ニヤル得ル、今之ヲ目測ス、其尤大ナルモハ長
 四石余、高サ二石半、厚サ九尺、越ハシ城のま、選
 築局の外、ツクシ天濠揚の該リテ天津社ニ
 詣テ直キ又中島、豊田社此の理テ家ツヨクオチ
 氏ハ津戸へ余等ハ寤の城ツク食了喫レ市街ヲ
 數分スハ田雨蕭々トテ至ハ廟々ハ近頃のハ
 文藝、考六、兩庖休ミテ大好物ノ我大夫ニ聞ク
 今の大坂土層=一珍アリ、ア仲起シ、念ハ恩ハ
 何云フモ、雨ハ漸次ニ降リ布ッ淋路ニ引キムシ



田天王寺玉皇ノ塔
 同

家：何ノ四人ツトラゾ、及ヒ長ノ阿ハニ能操
 舊敷和深アテ、痛酒、何ニ四人微醉、テ症
 訖、他三人酒量極ツテ、浅ク早ニ機操トツテ
 詔ヲ吐キ、野ニテ=時集メ
 因ニ曰ク、コノ家ノ体裁サマテ、要キアテ子トモ取
 扱ヒ、甚ク直ニ云フベカラズ、芝年辰野博士
 カニ審クテ、大ニ其不存存ヲ怒リ、ツマツ云ヘリ

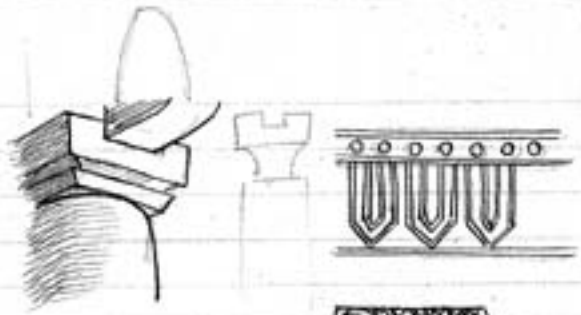
併し今日ノ夜更ハ突ニ幕代ノ少ナキ故ルヘケルハ
 方ニ何カノ引目ナニハ非サレバ之受ノ向京都
 ノ概也ニ非スレバ少ク一等ノ下婢ノ如キハ
 カ情ヲ容レズルノ評判ハアクトソ
 世ニ大坂ノ食ヒ倒レ云フヲ聞キ突ニ抗倒レシ
 大坂ノ婦多ク抗ヲ用ルル甚多キヲ云ヒシツト云
 リ大坂ノ商人ハノ市ナバ其食物ノ粗悪ナル
 京都ニ遷ルルニ至リテ突ニ此ノ如キノ中等人ト
 毎月一回位ニ止ルル例ト云ヘリ京都ハ
 食費ト云身ヲ養フ大坂ハ粗食ニカレテ
 身ヲ養フ事ナシト云ヘリ堪ユベクナ
 大坂ノ食物ハガノ漬物、其他各種ノ漬物
 ナリ余突ニ土産ニ買フベシ思ヒカ殆ク果サレ



大坂府下天王寺村四天王寺之圖

二十三日(木)

午前十時起き直ニ花ヲ始メ盡シ今朝木子氏
 兵庫ヨリカクル待フヲ花ヲ遊ラテ余ト直水トハ市
 中ニ勢身出カテ洗濯坊通リヲ徘徊シテハ馬車
 至ニソクト上ルニ兩人大アグラニテ家ヲ訪ル
 之ニ先キ東亞法ヲ使ヒテ他ノ事カレバ代ノ高價ル



法隆寺の南門



金條屏

寫眞、邊々ツケテ、西人ノ風俗ト云ツバ、室をコトナ
 ンル、最下等單物、込中、刻ニツケルヲ、棟短カニ
 衣、是等、ハヤカモ、ノ行、通、人、々、皆、智、ヲ、余、朝
 欠、送、ツ、蓋、シ、空、所、人、ハ、通、テ、先、下、駈、ク、見、ム、以
 ヲ、覺、テ、京、都、ノ、人、ハ、帽、子、女、ハ、髪、カ、サ、ラ、ズ、大、坂、ノ
 人、ハ、帯、ヲ、欠、ク、テ、然、レ、也、余、等、ハ、相、應、ニ、ハ、顔、色、止
 ニ、相、應、ニ、上、等、ハ、帯、ヲ、用、中、層、ハ、衆、人、ヲ、呼、ビ、テ、之、ヲ
 好、シ、未、當、場、ノ、見、ハ、木、柱、巴、加、ル、リ、即、ハ、ヤ、全
 昼、飯、ノ、喫、シ、正、午、當、リ、去、リ、一、切、罷、向、タ、シ、淡、河
 ノ、登、リ、天、王、寺、平、野、柏、原、龜、岡、ノ、ス、テ、コ、ン、ヲ
 經、大、淵、ノ、界、ニ、至、レ、ト、子、心、ノ、工、事、未、成、ナ、ル、ヲ、以
 テ、十、日、許、車、行、セ、バ、オ、ラ、ズ、王、子、ノ、ス、テ、コ、ン、ノ、處
 ノ、ハ、次、ニ、法、隆、寺、ヲ、コ、シ、テ、海、守、下、ノ、所、光、皇、ノ、テ
 有、ル、ハ、法、隆、寺、ノ、見、物、ス、寺、ハ、今、ヲ、去、リ、千、百、五、十
 年、昔、用、明、事、ノ、十、字、聖、德、大、子、ヲ、建、立、シ、テ、六、百、年、前

東京	京都	大阪
ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス	ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス	ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス
ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス	ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス	ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス
ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス	ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス	ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス ソードス

修築スリ、云フ、描送物、モ、古風ニテ、軒、工、合、ハ、年、ト
 全、ク、壞、ナ、リ、玉、置、ノ、塔、ハ、女、老、ノ、縷、ニ、ツ、形、甚、ク、巧
 ニ、テ、描、送、頗、ル、奇、ナ、今、一、々、之、ヲ、元、世、ニ、女、童、ノ、内
 ニ、ハ、ク、見、レ、掛、ク、ハ、エン、タ、ス、ト、マ、ビ、ル、ノ、掃、ノ、斗、ツ
 皮、ハ、西、洋、風、ア、リ、即、ハ、知、ル、コ、レ、印、也、建、築、法、ニ、直
 寫、セ、モ、ハ、西、洋、ニ、元、來、印、也、コ、レ、建、築、ノ、輪、ヲ、入、レ、テ、
 須、弥、壇、ノ、様、樣、モ、亦、希、疎、ヲ、ル、リ、等、コ、レ、ノ
 條、樣、ト、ハ、似、ク、殊、ニ、整、ナ、ク、百、濟、因、工、ノ、彫
 刻、カ、觀、音、ノ、像、ノ、窓、口、ト、云、ヒ、体、格、ト、云、ヒ、日、中、
 人、ト、ハ、全、ク、違、ト、一、見、テ、モ、西、洋、人、ノ、風、ツ、別、圖、ノ、形、
 長、ク、ス、ツ、高、ク、胸、ノ、光、レ、居、ル、ハ、加、減、ノ、コ、ト、
 也、ノ、一、他、一、々、コ、レ、見、レ、ル、見、レ、ル、面、白、ナ、ク、中
 ノ、本、日、一、日、ニ、端、ス、ベ、キ、ナル、モ、時、日、ノ、ナ、キ、事、
 描、シ、テ、去、リ、室、院、ノ、見、物、中、ハ、見、レ、モ、
 甚、ク、多、シ、其、一、々、醫、生、シ、テ、位、ヲ、ツ、ノ、中、致、メ、西

白カシハ聖徳太子ノ御撰撰巧別回ニ示
 カルキ甚クアツシヤ固左古ノ撰撰ニ似テ
 蓋シアツクモ且クモ百柄モ並即モ坊ノ
 各ノリ美術ヲ輸入セシヲ推シスベキナリ
 別ニ聖徳太子ノ學殿アリ太子ノ中ニ電リシ殿
 ニテ八角堂ナリ木氏ハ敏ナリ建築ノ巧術ヲ傳
 授サレリ又豐聰大寺ハ太子ヲ崇ム太子自依ノ
 自身像アリ中々上手ナリ其他ハナニ建築ヲ
 甚ク多シ一ニセリ見ル皇ナリ以テ土時再建ナリ
 明リ漢字ニテ郡出ス經六時奈良ヘ飛日町
 角龍ヘ一泊ス
 奈良町ハ今日一才見ル所ニコレハ殿ノ高妙ニシテ
 市街廣クハ繁華ナリ寧ニ寂寥ト云フ至者ナシ
 角龍ハ殿ノ手度ナ小斎殿ハ飛宿ナリ宿ニ地アリ右
 紀十有七奈良市中外一、裏人ナリ云々如クナリ
 アルバシ余等ハ法後食ヲ政ヲ仰ルコトヲ花ノ跡ニ
 戸外ノ身ヲ殿ノハ即ハヤコレナリ手ノ太極ナ
 リ詠ハモノ同ハリ日ノ吉ナリ 酌吉佐々憲法
 子別ニ殿及モ不ナリ以テ殿ノ段ノナリ甚クナリ
 ナリト云レテ以テ殿中ノ等徒ノ道ニ足レ余等床
 中入リ義大ノ間ナリ 榎林ニテハ此ノ時正ニ十一
 ナリ



6. 法興寺の聖徳太子像

聖徳太子の御



1941




鳥居ノ事

鳥居ハ印及、トラント語ヲ用似且ク形セ似オヒ此
 行印及ツ輸入セセムルヲガレシ蓋シ太古人生存
 ソテ本邦ニ生ヌトビレ在居ノ表セカガ、任セ、若
 皮ツキ、柱ニヤリ建ツ上、一、中、棒ヲ引キ込ニ置テツ
 ル、ツツニツ、ノ人間ニ、好メ生ヌト自然ノ考ナリ
 上、鳥居ハ、以テ鳥居ト名付ヌツツ後、ハ進歩シ
 裝飾ノ心ヲ起シ、繁クト、ニツ中央ノ門孔ヲ掲ケル



鳥居ノ事

今、奈良・即ち之の書記にして、其基木はツツノ
ハ、分子神所入しルニ、コレヲ来...ツツノ血キナツ
ナル。伊勢大津實 痛疾。  ナルキ取ナセ
鳥居ノ華表トモ書クマ字義ハ同ハズモ知レベシ
又神門ト書クマフ

ナルバ本邦古式、代ノ家毎ニ、鳥居ヲツケテマフ
然レ年代ノ経ニ、從ヒ漸次、裝飾的、隔リ仙ノ
分子ノ混用ニ、今日、各種、門トナリ、而シテ其純
正最古、取ル令ノ神聖トシテ神ノ用ニマフマフ
仙寺ニ鳥居ヲツケルモ、モ同マアリ、實ニ笑フベキト
レコソ

奈良市街ハ直ヤニ三笠山、若草山、春日山ノ西麓
ニツク、而シテ古ハ、奈良ノ都ハ、今ノ市街、西方ニ在ル
今出ノ田部トナレ

古ハノ奈良ノ都、皆、昔エグザクノ山川ノ色
今日奈良近傍ノ穴、深セバ、古戦場ノ跡、如
惣ルニ、一種果敢ト尊榮ハ、今起レマフ、皇室ノ
尊ヲマフ、豈、限リテアランヤ

今日、惟ノ、遺蹟ハ、龍田津死、穴、深シキルマフ
龍田ノ、遺蹟、寺、一、コソ、法、心、見、テ、マフ、画、マフ

二十四日 (金)

日記ヲ、此ノ、第ニ、ニ、三ノ、有名ハ、名所、ヲ、見、ル、ト、ナレシ
我中有名、レ、シ、ノ、モ、歌、ナド、ニ、次、ヘ、ル、ヲ、揚、ケ

(武光野) [○]ハ、若草山、麓、松、生、成、ク、ル、所、ナリ、武
藏、塚、ノ、ハ、コソ、云、フ、ツ、歌、ニ

むさし野、今日、ハ、燧、ヲ、若草、巻、ル、巻、ル
我ハ、古、ノ、也、 書手

(争向山) 俗ハ、備山ト云、若草山、北方ニ、續キ
ル、小丘、ナリ、紅葉、非常ニ、多シ

此、古ハ、如、古、取、ル、争向山、工、藝、ノ、子、は
神ノ、ま、に、く、 書手

(宜小川) [○]水屋、峯、ヨリ、出、テ、東、大、寺、ヲ、經、テ、南、市、ヲ
横、ギ、テ、佐、保、川、ニ、入、ル

此、古、ノ、子、ノ、夜、借、家、番、ノ、宜、小、川、ヨリ、あら、ぬ、ヲ
い、か、か、目、を、見、ん

(東大寺大仏殿) 殿、高、サ、十、五、丈、六、尺、東、西、ニ、十、九、丈、
南、北、十、七、丈、基、礎、高、サ、七、尺、南、西、ニ、十、二、丈、七、尺、南、北、ニ、十、
六、尺、内、陣、柱、九、十、六、本

大佛大サ

丈、五、丈、三、尺、五、寸

西、長、一、丈、六、尺、廣、九、尺、五、寸

眉、五、尺、四、寸、五、分、目、三、尺、九、寸

○ 余、此、地、武、光、ノ、マ、所、北、園、ノ、古、死、跡、ナリ、ト、思、フ、事、古、ノ、都、ハ、
此、地、ニ、在、リ、テ、今、ノ、市、街、ハ、其、南、ニ、在、リ、マフ、ト、云、フ、コト、ナリ

耳長サ八尺五寸	肩長二丈八尺七寸
口長 三尺七寸	鼻前径二尺九寸四分
鼻高 一尺六寸	脰長一丈八尺
鼻孔 径一尺	臂長一丈九尺
股長 一丈八尺	肘至腋一丈七尺
大指同 四尺四寸	全長 四尺四寸
中指。 三尺二寸	ノ。 五尺八寸
小指長 四尺四寸	並名指長五尺三寸
頭指長 五尺四寸	掌長六尺五寸五分
全幅 六尺八寸	手蹠廻り一丈三尺五寸
足裏直径一丈	全太指 三尺二寸
全廻り四尺二寸	膝前径三丈九尺厚七尺

螺髪 九百六十六 (各長一尺一寸 径一寸)

蓮花銅燈大小五尺一枚 左高リ各一丈 經六丈八尺

鑄料

熟銅 七十三貫九斗五升六十一斤

鍊金 一貫四百四十六兩

白銀 一万四千六百十八斤

水銀 五百八斗六升二十兩

炭 一萬六百五十六斛

後支一基 {高サ八丈二尺 厚サ五尺 径二丈五尺}

化佛十六紙長自九尺至八尺

(御宇洗川) 春日社祀教回廊、系ハ細十流リ
 15石洗川ハ此ノ先キニ神ノ受ナリ思ヒ云々ト馬
 琴原ハ丈付ニ欠ル

(三笠山) 俗ニ草山ノ指テ云フ然レモ之笠山ニ
 春日山ノ前面ナル山ヲ云フト云ヘリ新詳
 ナル説ナリ用ケズ 野ニ多シ

(春日山) 草山ノ南ナル一休ノ茂草ナリ、孫路
 ス歌ニ多ク見ヘリ

(草山) 東大寺ノ東ニ聳ニ満山樹木生テ云草
 生ト云リ毎年四月山ヲ焚クト云フ春ノ炊
 取リ、人々朝多ク担テ起山ス極ク美シ
 山ヲ

平城ノ皇城ハ元明天皇和銅二年始メテ那羅ノ新
 建リ一ノ諸樂、寧樂、乃樂、平猶トモ書ク李長ニ
 施メテ此ノ文字ヲ 元明天皇、聖武、孝謙、廢帝、
 稱徳、孝仁ノ七朝後ニ新ニ王セ担武天皇延暦
 三年ニ山城國長岡寛仁遷都ニ至十三年平城(世宮)
 ニ移リテ今ハ皇城ノ跡ナリ

(八重櫻) 沙石集ニ興陽寺南内堂ノ馬ノト云
 曰ク延寧ノ次ノ寺ニ此ノアリト
 此ノ寺ノ存否ノ都ノ八重櫻今ハ絶テ
 尙ハ此ノ寺ノ遺蹟ナリ

(獲込池) 東邊寺、南ニアリ、天正、獲込池ニ象リテ名アリ、大ニ四面四方位ナリ、巴剎子ガ取付ケル、此邊ニ獲込池ノ池ノ邊ニ、見エ可キ、神人伝

(鹿橋) 東大、東邊、西寺、中ニアリ、打込、人、絶ギ、行、居、ろ、の、ふ、は、ら、か、し、せ、ま、い、ろ、ま、の、橋、名、案

(奈良松) 南都北ノ入、ロ、アリ、歌ニ、欠ケルアリ

(長島川) 今、地、内、町、ニ、アリ、小、溝、ナリ

(柳木寺) 標、木、サ、キ、ハ、リ、人、カ、塚、ナリ

其他、名、勝、古、跡、百、ア、ル、ナ、リ、又、知、ラ、ス、者、ニ、精、シ、知、ラ、ス、ヲ、欲、セ、ル、大、部、名、所、跡、圖、ニ、欠、カ、レ、リ

午前、申、七、時、起、キ、八、時、ヨリ、一、全、家、ヲ、出、テ、先、ツ、興、福、寺、見、物、ニ、出、カ、ク、リ、寺、ハ、七、大、寺、ノ、一、ニ、シ、テ、今、年、三、ヶ、月、廿、一、日、ノ、午、年、上、ニ、建、シ、在、ル、故、ト、見、ル、ベ、シ、五、重、塔、ヲ、東、金、堂、及、西、金、堂、ノ、共、ニ、多、ク、彫、刻、ヲ、藏、ス、リ、彫、刻、ノ、巧、ナル、實、ニ、驚、ク、ハ、ク、婆、髻、梳、然、坐、ル、カ、如、ク、吽、叱、咤、極、ニ、叫、ハ、ン、ス、ル、ヲ、從、容、將、士、等、ニ、シ、テ、ス、ル、ヲ、余、以、テ、三、ヶ、月、廿、一、日、ノ、代、彫、刻、頗、ル、多、ク、然、レ、モ、其、亡、之、精、巧、ハ、一、即、ハ、サ、コ、ニ、看、ル、ナ、リ、ト、別、ニ、南、内、堂、アリ、形、略、シ、テ、北、内、堂、ハ、之、ヨリ、高、ク、興、福、寺、ノ、表、ヲ、振、呼

地、畔、一、小、亭、休、息、シ、則、兼、師、寺、ニ、建、テ、寺、ハ、三、重、山、ノ、麓、ニ、アリ、寺、ヲ、呼、ビ、七、大、寺、ノ、一、ニ、シ、テ、年、多、ク、彫、刻、ヲ、藏、ス、ル、處、ト、見、ル、是、レ、モ、ト、シ、テ、後、寺、温、祭、ノ、像、ヲ、我、ス、シ、笑、ニ、温、祭、ノ、像、ト、見、ル、ハ、ナ、ク、則、兼、師、寺、ヲ、去、リ、テ、春、日、津、死、ニ、向、フ、津、死、ノ、境、内、廣、洞、ニ、シ、テ、樹、木、鬱、茂、シ、鹿、兩、ニ、相、伴、フ、所、ト、云、フ、數、步、ス、ル、見、ル、每、一、奇、觀、ナ、リ、又、ツ、春、日、表、堂、ニ、至、リ、神、樂、ヲ、奉、納、ス、巫、女、五、名、地、良、家、ノ、娘、ヲ、以、テ、之、ニ、交、フ、年、廿、五、ニ、至、リ、即、ハ、サ、バ、ニ、リ、キ、ム、ト、云、フ、本、此、ハ、四、北、ニ、ツ、所、謂、春、日、造、リ、ニ、シ、テ、揚、送、見、ル、ベ、シ、日、行、極、左、ハ、ニ、子、ケ、リ、扇、ヲ、リ、針、ニ、穿、セ、ル、モ、ハ、ニ、ア、テ、モ、直、南、ニ、ス、ル、木、割、ナ、リ、係、ニ、左、甚、且、即、ノ、作、ヲ、云、ヒ、傳、フ

春、日、死、ヲ、去、リ、若、草、山、麓、ノ、武、藏、亭、ニ、ツ、登、包、ミ、テ、休、息、ス、ル、ヲ、二、時、ヨリ、余、各、ハ、一、日、坐、シ、邊、ヲ、食、ス、ル、ヲ、次、ツ、三、月、堂、ヲ、東、大、寺、ノ、屬、ニ、彫、刻、ヲ、画、ス、ル、其、多、ク、二、月、堂、ハ、三、ヶ、月、堂、ノ、年、代、別、ニ、テ、如、ク、年、代、ガ、リ、ト、ナ、リ、ト、云、フ、向、山、ニ、ハ、中、佛、死、ア、リ、大、ニ、見、ル、ナ、リ、ト、云、フ、ア、ラ、ス

東、大、寺、ハ、七、大、寺、ノ、一、ニ、シ、テ、風、ハ、大、仙、ノ、以、テ、圓、ニ、春、日、死、ノ、北、ニ、構、テ、聖、武、天、皇、ノ、十、八、年、之、シ、テ、天、平、勝、坐、年、中、城、就、セ、リ、宗、岳、ハ、ハ、字、兼、字、ニ、シ、テ、三、論、華、嚴、ヲ、以、テ、本、々、大、仙、殿、ニ、其、高、サ、十、五、丈、六、尺、兩、打、在、振、ヲ、其、東、大、佛、實、ニ、殿、佛、中、ノ、佛、一、位、ニ、居、レ、モ、ナ、リ、ト、云、フ

其重量、地ヲ大ニシテ、軒ヲ大ニシテ、漆狀ノナキ匠
師ハ修繕ニ尽力シ居ルニ、遂ニヨリ之ヲ維持シ得ル^(修)
キモ其修復費ハ今同ノ時ハ、二十萬円以上ト
云フ別ノ写真ヲ其形ヲ詳記セズ大仙ノ開キコソ
ハ小ナルモノナラセ、ハ人然ク鼻孔出入ニ得ルニ云フ
ト是レ實際ハ只ク頭ノ内ニ過キサハソノ世人ノ
大氣ヲ何リ一斷ノ如キヤ
山門ヲ南大門ト云フ其構造一様特別ニテ柱
並ニ直ニ二層、上ニ連ヒテ象板ヲ用ヒテ
番木ノ表ハ、欲ク奇觀ヲ何云、仁王ノ式々各
三丈雲霞、作リ其姿貝骨格實、精巧ニシテ
其ノ梅ニ起テ動カントス、意氣込アリ余今ヨリ仁
王ノ見テ其百回管骨格姿勢ヲ緩ク而シテ
今ハ傑作アリ嗚呼奇術ヲ知ラシ欲スルモ
ハ欲ク是ヲ大ニシテ
鐘磬、構造一様奇怪ニテ全ク人意表
出ツ別ニ圓形ノ如ク鐘ハ厚クハオシク徑
九尺ニテ鑄造法ヲ以テ聲騰圓トシテ牙
ク何リ暗熱、帯ビ却テ一様、寂寥ヲ増サ
シ
東大寺ヲ去リ市街に出テ余、理髮店ニ至リ店上
古卷山如ク或ハ東大寺、古瓦アリ斗アリ雜物

事ナシテ其古キ物ナリ知ルベシ武我亭ニモ亦
床柱、東大寺、古キ柱ヲ用テ長押天井等ニ
古キ梁及ヒ目目板ヲ用テ見ル所地物ノ得ル
テ甚ク難キナラサルベシ
春日寺ノ也奈良土産ト稱シテ人形及ヒ鹿角
細工ヲ獨リ店甚ク多シ余モ亦何ニ一ニ購ヒテ
其工妙ナル中々尋常ニアラズ且ツ風致アリ趣味
アリ今奈良、名工甚ク多シ云フ
器具、概シモ亦ク古物多シ旅籠、包ニ供スル
用ニ腰脇、教亦甚ク凡ナラズ伊萬里、金泥
ノ如クモ其高而ハモナリ一船受、家屋ノ構造
ヨリ器具、概シテ多ク奇術的ナラサルモノナキ
見ル京都、即チ奈良、地産ナルモノト知ルベシ
京都、言語ハ大ニ言語ヨリ来リ家産ニモ亦ク大
知ヨリ来ル一モ大知ニモ即チ大知ナリ大
知ニ夫レ我國古代、粹ナリ
沐浴、後食了、殊リ休息スル所地物多ク
下堂ニ跡シ余等即チ速ニ寢床ニ入リテシテ
花合セ、右戰ヲ始ム家、息姫待如倍歡ニ
遂ニ極列シテ相闘フテ好十番一勝一敗意
娘素ノ戲ニ妙ナリ余等屢々瞳表ク余等夜
ヲ徹シ直ニ一ツキ及ヒ余ノ歡下、一戰全勝占テ

快ク養就の夕会⁺の口味⁺とラフ⁺33番⁺の⁺甚
 ト名⁺余⁺世⁺養⁺床⁺入⁺ソ⁺ル⁺以⁺テ⁺遂⁺ニ⁺洞⁺ハ⁺ス⁺テ
 解⁺野⁺ス⁺夫⁺レ⁺戲⁺樂⁺ハ⁺必⁺ク⁺退⁺ル⁺ベ⁺カ⁺ラ⁺ス⁺ 苟⁺モ⁺一⁺定
 通⁺云⁺3⁺進⁺ハ⁺快⁺樂⁺ヲ⁺盡⁺シ⁺憂⁺苦⁺ト⁺ナ⁺ル⁺シ⁺ 惟⁺レ
 進⁺シ⁺テ⁺飽⁺ル⁺ヲ⁺知⁺ル⁺ス⁺ 其⁺夕⁺時⁺ル⁺ハ⁺ヤ⁺ 知⁺ル⁺ス⁺ト⁺果⁺シ
 豈⁺得⁺テ⁺以⁺テ⁺眞⁺ニ⁺樂⁺ヲ⁺知⁺ル⁺モ⁺ト⁺云⁺フ⁺ 得⁺テ⁺以⁺テ⁺況⁺ン
 十⁺彼⁺養⁺床⁺ニ⁺就⁺キ⁺ 諒⁺テ⁺ス⁺ル⁺所⁺ハ⁺豈⁺ハ⁺卑⁺猥⁺ハ⁺ニ⁺モ
 ア⁺リ⁺オ⁺十⁺ 惟⁺レ⁺今⁺日⁺ 廢⁺リ⁺テ⁺以⁺テ⁺一⁺身⁺ 快⁺樂⁺ヲ⁺取⁺ル⁺
 手⁺取⁺ト⁺セ⁺ク⁺ 豈⁺大⁺學⁺ 莫⁺大⁺ 安⁺全⁺ヲ⁺与⁺ル⁺ 本⁺能⁺ニ
 合⁺フ⁺モ⁺ナ⁺ラ⁺ン⁺ 十⁺ 獨⁺ニ⁺眞⁺水⁺義⁺ 安⁺全⁺ヲ⁺通⁺用⁺シ⁺ 時⁺者⁺
 判⁺用⁺ニ⁺一⁺意⁺ 學⁺術⁺上⁺ 研⁺究⁺ニ⁺従⁺事⁺ス⁺ル⁺ 實⁺ニ⁺感⁺心
 ス⁺ベ⁺シ⁺ 然⁺レ⁺モ⁺或⁺ハ⁺通⁺用⁺ト⁺判⁺用⁺ト⁺違⁺リ⁺テ⁺他⁺種⁺知⁺シ⁺カ
 ル⁺ノ⁺点⁺アル⁺ハ⁺十⁺ 措⁺カ⁺可⁺シ⁺ 山⁺下⁺ハ⁺即⁺チ⁺余⁺之⁺ヲ⁺評⁺ス⁺ル⁺所
 ナ⁺ラ⁺ズ⁺ガ⁺ル⁺ナ⁺リ⁺矣⁺
 ○知⁺ル⁺ス⁺十⁺ 彼⁺義⁺娘⁺ハ⁺此⁺ノ⁺宿⁺ 正⁺當⁺ノ⁺息⁺女⁺ニ⁺ア⁺ラ⁺ズ
 テ⁺養⁺女⁺ノ⁺主⁺人⁺ 柔⁺容⁺ 清⁺ル⁺心⁺カ⁺為⁺ニ⁺養⁺フ⁺所⁺ 快
 物⁺ナル⁺ヲ⁺ 養⁺ハ⁺ル⁺花⁺ニ⁺毒⁺多⁺ク⁺ 吾⁺人⁺ 豈⁺猛⁺者⁺ニ⁺ス⁺テ
 可⁺ナ⁺ラ⁺ズ⁺ヤ

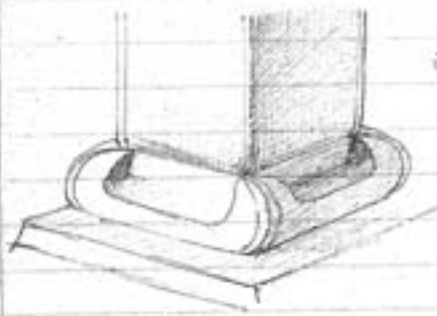
二十五日(土)。

昨夜合戦甚し余等心身⁺の⁺疲⁺勞⁺セ⁺シ⁺ル⁺ニ⁺ヤ
 余等⁺午⁺若⁺九⁺時⁺ニ⁺懸⁺睡⁺切⁺朝⁺飯⁺ヲ⁺終⁺リ⁺テ⁺木⁺子
 氏⁺正⁺倉⁺院⁺御⁺持⁺氏⁺殿⁺内⁺者⁺出⁺立⁺置⁺カ⁺ル⁺ヲ⁺
 以⁺テ⁺許⁺可⁺ニ⁺ナ⁺リ⁺ 而⁺テ⁺荒⁺庭⁺會⁺盟⁺ニ⁺電⁺候⁺以⁺テ⁺向⁺ニ⁺會
 セ⁺ル⁺支⁺留⁺一⁺全⁺支⁺度⁺調⁺へ⁺ 朕⁺車⁺の⁺儀⁺に⁺建⁺物⁺見⁺物⁺出
 掛⁺ケ⁺ル⁺

第一⁺ 華⁺法⁺寺⁺十⁺寺⁺ハ⁺旧⁺平⁺城⁺ノ⁺都⁺ 臨⁺臨⁺ニ⁺シ⁺テ
 光⁺明⁺皇⁺后⁺ノ⁺御⁺所⁺ニ⁺當⁺ル⁺所⁺ 卽⁺チ⁺今⁺ノ⁺本⁺殿⁺ナ⁺リ
 ト⁺云⁺フ⁺ 大⁺欠⁺ハ⁺キ⁺モ⁺ナ⁺リ⁺モ⁺ノ⁺ハ⁺ア⁺ラ⁺ズ

第二⁺ 西⁺大⁺寺⁺十⁺ 西⁺大⁺寺⁺ハ⁺新⁺羅⁺七⁺大⁺寺⁺一
 ニ⁺シ⁺テ⁺聖⁺武⁺朝⁺ニ⁺成⁺ル⁺ 旧⁺名⁺ 盤⁺ノ⁺所⁺ 又⁺不⁺遷
 等⁺ト⁺云⁺ヒ⁺ト⁺ 寛⁺文⁺年⁺間⁺ 彰⁺集⁺ニ⁺云⁺フ⁺ 卽⁺チ⁺今⁺ノ⁺
 去⁺ル⁺大⁺凡⁺一⁺百⁺余⁺年⁺ 其⁺昔⁺ 德⁺宗⁺ 隆⁺和⁺ 今⁺ノ⁺第⁺二
 派⁺ニ⁺ア⁺リ⁺ 花⁺車⁺ニ⁺夫⁺ス⁺ト⁺ 且⁺モ⁺其⁺形⁺ 別⁺々⁺ニ⁺キ⁺ハ
 卽⁺チ⁺大⁺欠⁺ハ⁺キ⁺モ⁺ナ⁺リ

余等⁺時⁺任⁺傍⁺ニ⁺就⁺キ⁺ 諒⁺テ⁺ス⁺ル⁺所⁺ハ⁺可⁺ナ⁺リ⁺ 傳⁺言
 カ⁺ル⁺其⁺知⁺ル⁺所⁺ 告⁺テ⁺ 性⁺洞⁺洗⁺愉⁺快⁺人⁺ 相⁺俗⁺ニ
 流⁺シ⁺テ⁺ 義⁺隆⁺ 森⁺落⁺ノ⁺氣⁺ヲ⁺ 得⁺テ⁺ 此⁺ノ⁺寺⁺ニ⁺ 實⁺ニ⁺ 女⁺子⁺ 傳
 ニ⁺ア⁺ラ⁺ズ⁺バ⁺人⁺ノ⁺ 誑⁺カ⁺ 惡⁺傳⁺ナ⁺リ⁺ 然⁺レ⁺モ⁺ 亦⁺何⁺リ⁺ 其
 色⁺ 徳⁺ 空⁺ 因⁺ 大⁺新⁺尚⁺ニ⁺ア⁺ラ⁺ズ⁺ナ⁺リ⁺ 且⁺モ⁺ 知⁺ル⁺ス⁺ニ⁺ヤ⁺ 惡⁺ニ
 ハ⁺女⁺子⁺ノ⁺上⁺ニ⁺ベ⁺キ⁺ニ⁺



西大寺院、礎盤

左の圖ニ、西大寺
 查堂、向持柱、
 礎盤ノ一様者
 處、不欠ノ上ニ突

意匠巧妙ナルモ、アラス、自秋ニ、同到甚ハ巧妙
 ナル其飾様決リ形アリ、一様者体ナリ

其他西大寺、亦甚ハ多シ海龍王寺、支那
 皇系、和秋、由ツ建立セリ、又瑞智院、般若寺
 ナル其聖武帝、運立レ、何レニ由ルニ工ナク、甚
 意ハ甚ハコシ、三ノ般羅寺、突ハ、嶮峨天皇、ハ
 第ハ由大権、突ハ、隱シカ玉、ハ、鹿ノ子、難ク
 ナセ玉、ナレ由ツテ有名ナリト云

西大寺中、今存スル、半ニ遺キ、蓋ニ、般羅寺中、火
 災、罹リタル、ハ、ア、ナリ、今、即、ハ、礎内、漏レタ、事
 日、比、ナ、昔、ハ、一、所、ニ、七、所、ノ、礎、カ、アリ、ト云

大野国凉下郡秋徳村

秋徳寺

一高寺ハ堂舎十一年天仁恒武西天竺教祖最勝佛
ノ開基ニシテ七堂伽藍中十一層阿彌陀坐西阿彌陀ガ
ニシテ保延元年六月中淡兵火ニ罹リ一山ノ土ノ
半ノ諸佛像及佛堂ハ兵燹ノ災ニ因リ諸佛像ヲ是
安置シ今ハ右堂ノ右坐舎十一層阿彌陀坐ニシテ
一ヶ百九年

一中尊葉師如來ノ行基敷施ノ真作ノ其他ノ佛像
依若ク是實創立以來ノ堂舎ニ保存シ得テ

延治十九年十月日

此寺彫刻ノ裏ハモノヤリツルニシテ大ニ集考ト
ルヘキモノニ執ス

次ニ伏見菅原村ノ天満宮ノ從ノ堂ノ覺振
面ノ觀是代々ノ築九ノ所ノ歴史的ニ面白キ
ノニシテ建築物ノ形ノ別ニ大ニ判悉ク直ニ
ニ執ス時ニ午ノ迄ノ即チ社ノ一層ノテ
卷籠ノ椽ノ鳥見ノ青垂ヲ看トヌ一層大ニ其
社ノ表ノ一町ニシテ長光寺アリ建築物トシテ
歴史的ニ會館ノ味アケモノニ執ス

唐提寺

田之末今日ニ見ル木像ハ木
上ニ生土ヲコシテ之ヲ乾カシ上ニ
彩色ヲ施シモヤリ然レモ今生土
上ニ彩色ヲ施ス術全ク傳ハズ

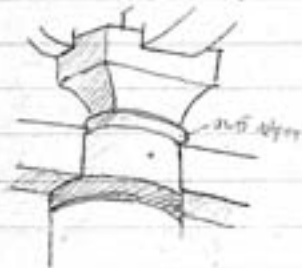


云旦ヲ生土ノ十年以上ノ堪ルヤハヤク疑フベシ
法隆寺ノ壁畫トモ如クニ畫キテ染ム不レトナシ

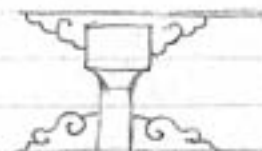
招提寺

涼上郡大條村ニシテ聖武孝謙二朝ニ成ルニシテ
金堂ニ多ク彫刻ノ中央ハ窟金御仏ハ竜ノ張
之ヲ敵トシテモナシ

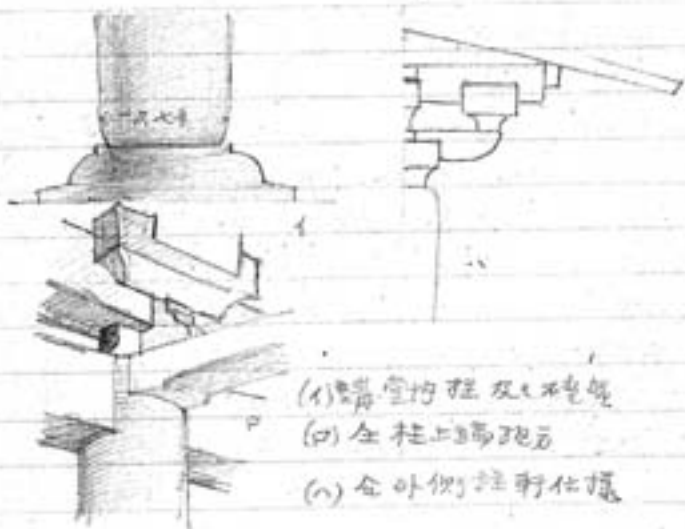
唐提寺ノ彫刻ノ彩色ヲ施シテ今ハ全ク
剥脱シ僅ク痕跡ヲ止ムニシ



内面柱内面
(24分)



全束



(1) 講堂内柱及び礎盤
 (2) 全柱上端断面
 (3) 全外側柱形仕様

以て孔堂に天井の鯉脱天井云々鯉脱上人の
 張り以て名に中興寺學校生徒アリテ寫生
 中の馬鹿にアスサレバ理取れ矢張、つて大り
 誇りハサレ知れぬ

招提寺云々次、藥師寺に寺ハ矢張り
 天條村に屬スモノ條ハ昔奈良、都ノ外ハ
 條ノ九條マデ市街ノ外ハ今、其名ヲ碎
 セルモノ該寺ニ存名ニ重疊、塔アリ六重ト
 エルハ三重ノ内ハ後世一階ヲカハルモノハ
 其ノ遺蹟ハ塔アリ六重トテ王張セシガ體テ余等

ハ塔ニ上テ備へ構造ノ觀審シ、其全ク三重
 リレバ矢張り其形狀タル地ノ奇異ニシテ日
 本中他ニ比價シテハ能ハザルモノトモ異形下
 圖ノ如クヨリ其奇体ナリト見レシ



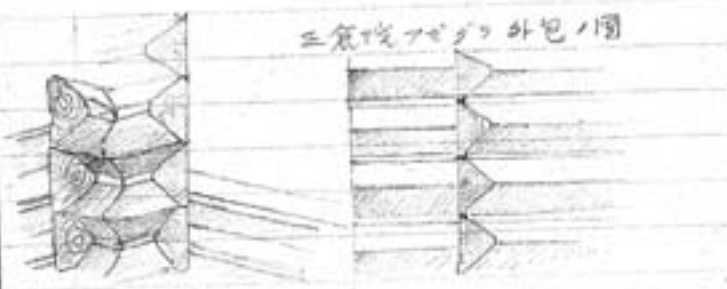
金殿ニ藥師、日瓦、月瓦ニ作リ銅
 像アリ共ニ百濟國ヨリ來ルモノ
 ナリ云々其体孫金殿共ニ秀麗ニ
 テ人ノ習カレテ殊ニ其後先、後強
 權等ノ撰テハ全ク百濟風アリ
 本年人ノ畫ニハ全ク異ナリカス

キツ境ニ
 五時同時ニ去リ日蓮大德寺、寺等アリ
 思ヒレバ時召ナキカ、是レ塔キトシ直ニ
 此日今日行從西四辻候鳥羽、正倉院
 ノ内物ヲ調ベ、東ノノ宿ニ來レシ、以テ金等ハ
 二階、堂ニ進ル下、時夜ニ揚ケレバ浴後夕
 食ヲ喫シトラン、此等ノ後四人相伴テ奈良、
 市街ヲ對シ木子氏ハ西四辻ニ行認シテ何カ用
 事ニ過ケル
 余等ハ先ツ南方ヘ下リ南水亭ト云フ料理屋等ニ過
 キ、猿ノ池畔ニ出ツレバ夕涼ニ遊樂群衆シ木
 店、酒店、菓子店アリ、見セザル、吹矢アリ、雜貨

高野山 聖徳太子の池
 南へ出たハ女孃アツマ家アリ 花車ヲ抱キ
 市街・狹隘ニシテ車馬ヲ通スニ 足ヲスト 屐ニ
 高野軒ヲツツテ 燈支屋ニ 遊樂往來ス
 一繁栄ナリト云フヲ得ベシ 鹿ハ名物ニバ、
 青丹ヨシ、漬物、奈良晒シ等ヲ 夏ニ陳列セリ
 金等ハ 归途 猿ノ池畔 氷店ニ入りラハシ、
 氷水等ヲ 飲ミ且ツ 雑貨白出 借鑑 戲言ス
 まじリ 興隆寺 境内ニ遊ビ 一望 青草 清々 庭
 カニ 笠山上、明月ヲ 眺メ 涼氣 肌ニ 徹ス
 忽チ 野ヲテ 足ニ 起リ モハ 無心ニ 鹿 五云
 頭ヲ 又一興アリ 十時 帰宅シ 日記スル
 十一時 寢ニ就ク

二十日(日)

- 定家卿 歌ツル地多ク(の歌ニヨリ見たテ(佐野の邊)
 カ云フハ大抵同ク)
- 源朝野 鹿ノ 薫大將ヲ 身ニテツト 足ニテツト
 此条ノ 木ノ 枝トクニ 大將ト 云フニ せしむル
 とかく 葉内ニ 隠レテ 喰フニ 久シク きの、わたり
 家ノ ありて 口ニ 喰ヒテ きて びつ 鹿ノ ありて
 つつ 鹿ノ ありて ありて ありて 佐野ノ ありて
- (泊瀬山)ハ 初瀬村ノ 上ニ あり 峯ニ 登リ 谷深キニ
 テ 隱レテ 泊瀬山ト云フ 柳河ヲ 踏ミ 名所ナリト
 人ハ 歌 隱レテ 泊瀬ノ 山ノ 山ニ
 いさよ 雲ハ 女ニ ありて あり人
- 近島 歌 泊瀬山 雲井ニ 花ノ 咲ニ あり
 天ノ 川 渡ル 川ノ ありて あり
- 後醍醐 歌 泊瀬ノ 山ニ ありて
 いざ 志カ ありて あり 祈ル ありて
- 定家卿 歌 身ニ ありて あり 初瀬山
 尾上ノ ありて あり ありて
- (實之の梅) 長久寺 田舎ノ 中ニ あり
 (新田北) 五野村ニ あり
- (三笠山) 神前村ニ あり 大島ノ あり 又 島山ニ あり
 立田川ニ あり 山ノ あり あり あり あり



春日神社前庭の巫女の圍

山白太史

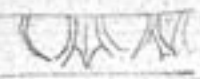
(龍田川) 庚辰郡の川に勢野の陸を五野、西邊陸に至り河州入。或は曰龍田の河を西へ出ハ川あり是龍田川に比川平群谷に三つ生良岳、麓の出川に立野、西の江原川に小溝の是を龍田川云ハ漫也

今 龍田川に柔にたれ流る地り
てたらし錦 中せにへなえ 流人
いふ

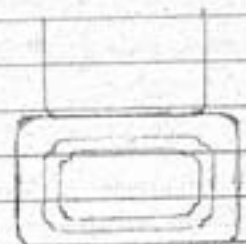
(新田山) 丑野村上の水窟の水窟に

午前五時名起し出テ天叶朝飯を喫し七時一合正気院に赴テ正気院東大寺、内偏に世々常室、空庫の其構造所謂叫倉作に別園を示す所の三角板、板を祖に合ハルモ、十の千當年の程ハナリ板、減板セテ已ニ二才ハハ屋カ、將ハ新板ヲ三合修儀ノ意アリ告テナホ漸次之廢滅ヲ觀ルルニ候アリ程年ハ二棟ハニニ後世置リニ其中尙別置テ三棟ヲ一ツ合并レテの當城內ハ堅ハ喫烟ハ他大更、隙ハナリモ、某ニ以テ腐ハセテ保儀ハ當テ此合ニ後當ハ全宇時ハ燦々セテ二城ハ、守龍津郡ハ申テ決ハルハ吹テ之ヲ捕レ止メテ云フ

借すくは花子千萬ハハ事共ハ今守内ノ燈籠ノ
 歴ノ辨スレ動使西口也、首録知ノ類可西
 以イテ来ノ室扉ノ開キ一ハ陳列品ノ調査ヲ余
 等尾ニシテ入リ記テ去リ見レ別ニ大ニ感心スル
 程ノナル只知レ多ク室物ノ殆ト全ク原土
 以テ輸入セシメハシ知製ノ物ハ莫ク其ノ中
 モリ比日迄天鼓ノ如ク雷動ノ草木西ノ
 カルニ熱汗淋漓堪バカズ余等即チ慌惚
 痛ニ仰リ休息スル物中尤モ余ノ眼ヲ驚カシメハ
 赤ノ紅塵帯西ニ黄塵帯一名陶器持チテ
 香ハ香ノ東山露持チシ織田長正ノ如クアツノ
 切ノ跡今ニ至ルヲ其他一々取附シバテ珍
 奇ナルモノベシク余ノ眼ト心ト共ニ遊覧シテ一ハ
 穿堂ニシテ眺メシカ
 窟ニ仰リ遠水ト夕々ノ園墓ヲ行キ余ノ山下ニ極テあり
 ニ花ノ如クハ巴ニシ時巴ニ正午ニ至ス即チテ飯ヲ
 喫レ一合食後ヲ出雲ノ道上段落与テ記シテ去リ
 バ一旅者ニ行キ半路ニテ大桃山城ノ園墓ヲ
 十カガリ里余本津村ノ川ヲ本津川ト云フ川ニ流テ
 テ北行スルニ二里至ルノ村ノ歌ニモハ六ノ川ノ
 一ツナル持手ノ玉川ト云フハコレ也又行ク一里半ノ所
 辰也ト云フ余等ニテ休息シ大桃ノ餐ヲ味探シテ



平等院鳳凰堂須弥塔



黄檗山門柱礎盤

全木造ノ礎盤



園ノ内池ノ産地ナリ又行ク二里ニ至テ宇治
 ニ至ル田圃忽チ桑ノ植ヘテ製茶ノ業ヲ平等院
 直ニ宇治川岸ニ立テ堤内池ニ蓄テ其水見ハテ
 鳳凰堂ノ永澤七年宇治南白教通公建立テ
 鳳凰ノ天ノ下ニ敷シ左右ノ翼ニ八回廊ヲ後ニ後尾ヲ
 リ也臨シ堤ノ頂ニ散状大ニヨリ中堂ハ管ニ非常ニ夏
 汗彫刻ヲ施シハモトクニ天井ノ扉等ハ其ノ體面ヲ
 以テ鑿ノルガ今ハ可クハ存在スル可クアリ壁面ハ
 珍原由成ノ華ヲ今僅ハ其痕跡ヲ止ルニ玉璣珠
 ハ珊瑚及ヒ龜田墨ヲ以テ之ヲ鑿シ甚ク印存ノ歴ナリ

云フ彼地地勢、開平ニ百年、後ニ三作、地ニ
銀銅ヲ鑛シ、ハモノナク、建築、開平ニ十四年ニ
至ルマデ、年ノ経テ、八百四十一。四亥、兵火ニ遭フト
皇朝ニシテ、今ニ存スルモノナク、

本寺、地地如來、法橋金朝、作テ、後ハ後主
及ヒ、璣、彫刻、羅馬、古代、彫刻、似カト評スル人、
ア、由リ、レ、余、シ、ス、ク、見、ル、更、ニ、化、ス、ル、可、ク、キ、ル、マ、シ、ク、
如、ク、評、ス、下、ス、モ、ハ、無、事、ニ、シ、テ、大、氣、ヲ、吐、キ、テ、好、ク、シ、テ、
如、ク、人、ア、ツ、ク、然、ル、後、臣、民、之、為、ニ、悉、ク、ル、樂、シ、ム、ハ、哉、
余、ハ、彼、地、地、ノ、彫、刻、部、ヲ、希、臘、風、ア、ル、ヲ、察、見、セ、リ、ソ、
余、同、ク、就、テ、之、ヲ、見、ル、ベ、シ、

有名ハ一扇、芝ハ直クニ、河岸、堤後、ニ、テ、大、サ、路、河、
積、取、ノ、臺、ア、ツ、ク、半、同、ハ、扇、ノ、似、リ、別、ニ、石、ア、ツ、ク、刻、シ、テ、日、
ク、

花咲きて実のあるならは後世に
月、ふの名もいかに残せん
江戸 佐々氏直

ト、歌、ハ、高、麗、ニ、テ、見、ル、ベ、キ、モ、ア、ツ、
次、ノ、寺、ヲ、去、リ、与、次、揚、テ、渡、リ、括、今、尚、ハ、ガ、一、カ、土、塔、ハ、
ハ、古、ハ、簡、朴、索、然、一、葉、枯、渾、ク、掃、行、テ、伝、テ、昇、ル、ト、
思、ハ、バ、若、ク、大、サ、シ、ク、想、像、ス、ヘ、ニ、行、ク、半、里、之、
ス、黄、壁、山、ニ、至、ル、山、ハ、万、福、寺、ト、云、フ、構、造、一、貫、揚、有、ク、

河、岸、ノ、奇、觀、ト、又、同、ニ、建、築、ノ、形、ヲ、示、セ、ル、ク、
現、在、ス、ル、ハ、本、堂、ハ、雲、南、水、一、名、鉄、製、本、(ヤ、ヤ、
一、物) ヲ、以、テ、柱、ト、シ、テ、明、カ、リ、テ、モ、ナ、ク、コ、ト、
シ、テ、ハ、意、ナ、ク、十、六、羅、漢、ノ、像、ハ、明、范、道、生、ノ、作、
リ、ト、シ、テ、巧、妙、精、采、突、出、シ、テ、遠、ク、ハ、百、年、ノ、後、ニ、至、
リ、シ、ホ、キ、ヤ、無、ニ、名、品、ト、シ、テ、眞、空、ト、題、ス、額、ヲ、今、上、皇、
帝、ノ、勅、筆、ト、

柳、ノ、寺、ハ、寛、文、年、百、慶、元、年、開、基、ニ、カ、ツ、今、ニ、至、
マ、テ、月、ヲ、二、百、年、ノ、経、ル、ニ、大、ニ、敗、壞、セ、リ、柳、下、斗、池、
石、根、揮、舞、各、多、ク、崩、瓦、ハ、モ、イ、レ、モ、一、々、之、ヲ、拜、祀、
ル、道、ナ、シ、同、山、ニ、テ、車、路、ヲ、直、ク、藤、丸、神、社、ニ、向、
テ、社、ハ、伏、見、村、ノ、属、ニ、テ、テ、テ、テ、建、築、

物、ト、シ、テ、大、ニ、見、ル、ベ、キ、モ、ナ、シ、只、其、持、殿、ノ、通、持、殿、
ハ、一、奇、ル、ニ、次、テ、進、テ、福、荷、町、ノ、福、荷、社、ニ、見、
テ、ハ、宮、幣、大、社、ニ、シ、テ、構、造、殿、ハ、好、ク、若、ク、時、日、
浴、テ、固、ク、殆、ト、其、評、御、ノ、觀、察、ス、ル、ク、ハ、即、チ、車、
急、カ、テ、河、邊、ニ、向、テ、進、テ、至、リ、四、條、ノ、橋、ヲ、過、ル、
頃、明、兩、麓、ハ、シ、テ、至、リ、澤、出、テ、シ、テ、大、雨、纏、テ、來、ル、
如、ク、余、等、惶、悚、ヲ、可、ク、持、名、ノ、入、リ、婢、善、争、テ、余、等、
ヲ、迎、テ、蓋、ニ、芝、堂、カ、一、切、ヲ、得、テ、飲、ス、ル、ニ、似、ク、余、等、
已、ニ、息、ヲ、盡、シ、家、ノ、思、ア、ク、浴、後、酒、ハ、シ、テ、飯、
食、ト、休、息、ス、花、合、セ、ニ、三、番、。余、ハ、本、日、多、ク、固、村、
ヨ、リ、見、ル、所、ハ、代、人、ノ、代、人、ノ、五、代、目、ノ、コ、ト、ナ、ル、

宗弟三人の書翰を得欣喜甚、所^レ知^ルズ之^ヲ
讀下^ニ再^ニ三^ニ本^ニ卷^ヲ收^ル忍^ヒ直^ニ返^ル區^ニ候^ニ
草^ハ僅^ニ心^ニ安^レタ^リ。嗚^キ夕^ニ夜^ニ中^ニ倍^ニ候^ハ夫^レ
快^ハ哉^ハ快^ハ哉^ハ。日記^ヲ忍^ビ夜^ニ深^ニ他^ノ同^ニ生^ニ
皆^レ眠^リ余^ハ打^テ殘^レ燈^ヲ下^ニ在^テ銀^筆紙^ヲ既^ニ往^リ
考^ハ持^テ來^リ同^ノ万^感一^時ニ^登レ^テ寢^ニ死^ハス。
全^ク君^ノ寢^ル能^ハズ^ニハ^テ虎^ノ通^ル夢^ニ同^ノ公^ヲ見^ラン^乎
可^ク。

二十七日(月)[×]

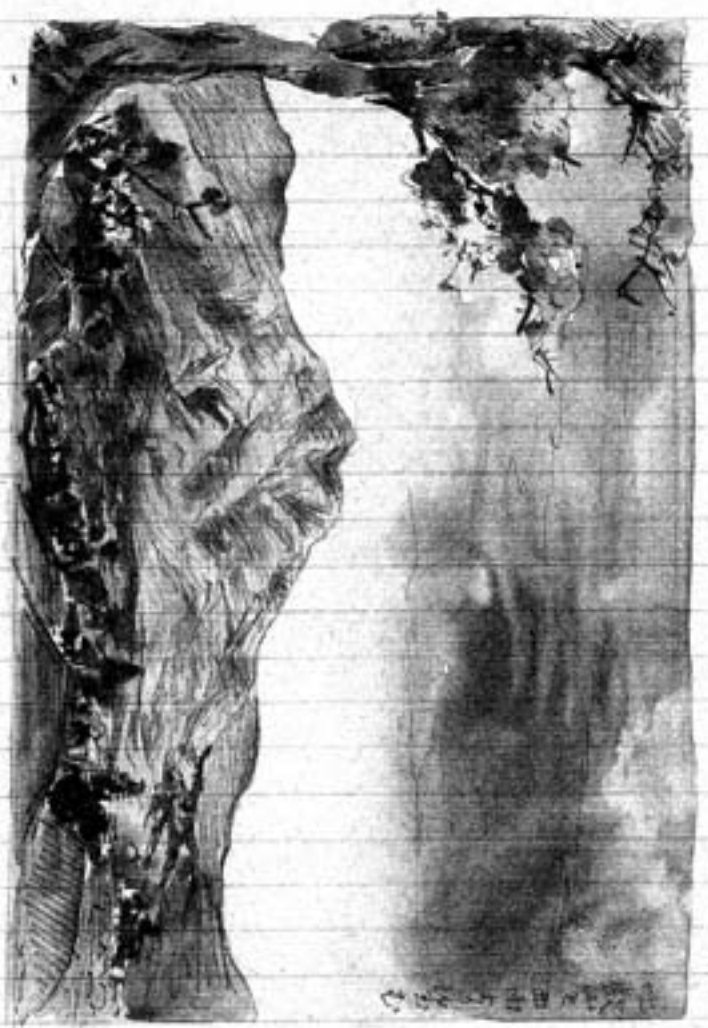
今日ヨリ、建築、醫生、從事^スニ^テ中^ニ日^ニハ^テ余^ハ一^先
ツ^ニ定^ム心^ヲ起^シ免^ル。朝^ニ候^ニキ^レ地^ニ心^ニ切^ル余^ハ
起^キ出^ル心^ハ已^ニ九^時ヲ^朝シ^タリ^余。昨^日ヨリ^痛
ヲ^患ハ^テ半^面疼^痛項^ニハ^テ心^ニ地^ニ震^ルテ^限ナ^レ金^ノ身^ハ
ハ^テ横^ニ卧^リシ^テ必^ニ明^ルナ^レ久^ク之^ヲ同^ノ村^ノ野^長氏^ノ所^ニ
ハ^テ可^ク以^テ忍^ビ。憐^ニ憐^ニ憐^ニ今^ノ覺^レ情^ニ微^ニ覺^レ濃^ニ余^ハ清^ク
下^ニス^レ再^ニ三^ニ封^シタ^リ午^ノ飯^ヲ後^ニ余^ハ亦^ニ横^ニ卧^リ
テ^必所^ニナ^レ用^テ得^ル只^ク盤^ニ面^ニ紙^ヲ敷^キテ^坐
シ^テ覺^レテ^既日^ノ區^ヲク^テ余^ハ復^テ思^フハ^テ
假^ニ睡^ル際^ニ山^ノ下^ニ余^ハ夢^ヲ落^シ書^キ婦^ヲ見^テ笑^ハ
示^シ一^奇怪^ナ夕^ノ餐^ヲ後^ニ他^ノ三^人同^ニ基^ヲテ^坐
基^ノ外^ニ候^ニ印^ノ合^ニ至^リ亭^ニ至^リ扣^キ團^ニ一^膳一^飯所^ニ觀^ル
テ^余等^ハ次^ニテ^餐食^ヲ出^テ而^テ西^ニ河^ノ邊^ニ水^ハ填^ラズ^ニ三^人
影^ヲ宗^ノ掩^テ至^リアル^ニ女^ヲ取^テ大^ニ夫^ノ衣^ヲ履^ヲ入^レ木^ノ戸^ヲ閉^シ
僅^ニ一^草上^ニ履^キ入^リテ^又一^家僅^ニ外^ニ出^テ而^テ其^ノ
体裁^ヲ觀^ル其^ハ引^テ幕^ヲ履^キ而^テ逸^リ來^リ宗^ノ比^テ其^ノ
又^余之^體宗^ノ部^ノ衣^ヲ履^キ也^ハ物^ヲ等^ノ物^ノ原^ニシ^テ而^テ
テ^然ル^ニ斯^ノ體^ヲ最^ニ覺^ルル^ニ得^ル宗^ノ部^ノ人^ニ士^ノ華^ヲ
第^ハ亦^以テ^知ル^ニヘ^モ一^大夫^ノ衣^ヲ履^キ最^ニハ^テ執^スト
履^キ又^履ル^ニ魂^ヲ而^テ以^テ其^ノ技^ヲ藝^ヲ如^クハ^テ死^ト
同^ノハ^テ是^ハカ^レモ^アリ^余等^ハ衣^ヲ履^キ者^ヲ再^ニ

或ハ女之長ハハ後者、其學女ニ関スル身体ノ俗ス
ルニシテ頭ハ常ニ女儀ス、頗ル奇ニシ且フ醜シ
妹背山、一般既シテ手踊ルヲ卑猥浪靡ノ風
臭ハ忍ビルモ、アノ羞シ奴ニ付シ漢文ニ付シ
身ノ作レ分ニ付ス皆頭以上ハ純然ハ其女ハ
ハナヅナ一吋劇場ヲ出テ當レヨリ日死シ也。○
腹ノ鼓ク鳴呼集等ハ等物研究ノ目的ニシテ
諸君ヲ清養シ、地御ニ赴クモノ而シテ一日一
為ヌルニテ空ヲ送ルハ豈余等、本指レヌル所ナ
シ然レ外區ニ人ノ依カ限アリ余等何リ終日
ノ役々勤勤シ然レ後被問テ事ヲ執ルヲ得テ余
ハ亦新全集、秋斜ヲ跋踏シテ時ニ所ナカシトス不
知吾子。

二十八日(火) ○

午時分七時超キ朝飯ニ喫キ江原銅匠ノ書状
到來ス余欣甚向テ而シテ之ヲ次ニ歎一歎下ル
ニ及ニシテ既ニ春ノ氣ノ妙鳴呼等ハ實ニ神ノ余ヲ知
リ而シテ余モ亦知レ得ル知リ余ハ能ク食ニ使テ
余ヲ信ス余、兩女博ヲ臨テ余而シテ其神一汎ノ觀
在ハ即ハヤロ、江原氏ナリ
今日ヨリ余等留ルニ出カレテ欲ス命ノ既ナリ(在石西
村氏) 木子氏ヲ信ヒ奉定見物ニ赴クニ乃勤ル木子氏
之ヲ余等ニ付シ余等即ハ真ニテ或レ從ヒ西村氏ト共
ニ奉定ニ赴ケリコノ華字ハ十川通リニク一ハ、千ノ宗
左氏ノ名ニテ一ハ千ノ宗堂也、宗左ハ、有ルハ
千ノ利休ノ末葉ニテ其命ニ存スル氣ハ即ハツ利休
ノ計画セル所ナリ廢ラ不醫庵ト云ヒ點雷庵ト
云フ其構造ノ風雅ニシテ氣味ニ富ムル實ニ人ノシテ
一學ヲ喫セルハ余等ノ案面ヲ輕ニシテ從テ茶室ノ
構造ヲ其外視シ今日ノアノ之ヲ欠ク深ク心ニ馳
ケル所アリ矣利休ノ一宗人ニ最御氣ニアラズ
建築家ニアラス而シテ彼ノ、空ヲ泡後、展ク佐
シハ多クテ豈其心中緯々然ニシテ俗ノ難レ凡
ノ脱レ清淨高雅ノ氣胸中ニ充満ナルモノナリ得ン
ヤ余ニ歎ニ習ニテ相觀シテ相習キル木子氏示

愕然云つ所ヲ知ラズ只長大息ノ声ヲ發ツニ余是ニ
 此ノカ奴ノ素面ノ良我ヲ知ル日ノ復素ナリ、清淨
 ナリ、沈靜ナリ、高雅ナリ、優美ナリ、綠胆ナリ、礼儀カ
 茶室尙家易、輕スベシヤ次ニ宗室ノ安ヲ語ル今
 日庵又隱庵ヲ見ル堂ハ千宗且ノ神画ニ可
 ナリト云フ其起然トシ凡俗ヲ離シ寂寞トシ雅
 風ヲ歎ル處スヘシ宗室宗室偶存ニ在リ余等
 ニ兼テ勸ム余ツク其動作ヲ見ヘ一ニ礼式ニシラ
 カルハ無シホ子氏ヨク奴ヲテ妻案一全茶ヲ喫ク
 山下藝ヲ習ハシ欲ク誤テ其著ヲナリテ上ニ
 投ス一ハ奇法ヲ次テ山下坐テ起テ所坐至レト
 ト叙シ其觀テ壁中ノ壁掛扇トシテ扇ワ又一ハ
 奇法ナリ余、突ニ筆遣、裏ヲ復テ然レテ茶室ヨク
 スル矣又大ハソハ云フ造モカレベシ扇ヲ現ニ一不
 都々ルハ察カレ無暗ト主處具善ヲ標揚シ内
 ヲ出ルハ即ハフ口ヲ掩フ之ヲ置ル一較量ニ
 事ハ如ク然リ嗚呼ル何子ザヤ善ヲ斯ルハ
 茶室ハ一處礼ル何リ以テ學ハ芝ラニヤ世ノ
 筆遣ニ志スモ、其志スハ即ハフ可ナリ然レテ亦
 口ノ筆遣ノ真理ヲ解シ決シテ處礼ルハハナラ
 ヲルナリ



美亭より出で余等と西村と或ハ一科宛底への
 酒肴を賣おれり刻余等（このり芝安水取と
 舟に下り）木子、西村雨氏と別して相違を就し
 一天又曇り雨沛然と下る即ち朕等何れ
 疾走家に居りたり日雨量甚大雷鳴之を加へ
 蓋し近頃日下夕立とナル季節、気候の多
 変に於て如くナル事ヲ知ラスト是れ又主都人
 士の氣風沈鬱ナル一由由ナラスレハアサカ也
 余ハ雨晴ハ後三層止に登りて泳了ぬし日現
 了照り且つ同書ヲ可しして日既夕食
 後休浴し而して又休息ス

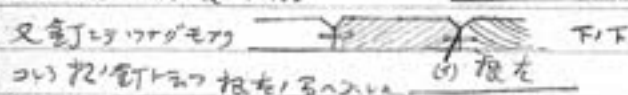
此夜柵屋樓上ニ登リ三徳ノ合辰ツ合壽耳
 傾クテ而シテ之ノ崩音調爽快玲瓏ナリ玉
 履スル放ルレ或ハ嘈々多雨如ク或ハ切々和語ノ
 如シ巴ノ語ニ人知レ西ノ歌ハ等ノ松風ヲ為シ
 知レ沖白浪ニ為シ同ノ聲行ノ響ニ為シ止マツベ
 夜ノ朔一葉ニ落フベシ一鳥ノ時ハ燕ノ梁上
 舞フ如ク微々ト舞リ深淵ノ躍ハ似リ一
 時ハ口泉水ノ走ル如ク聲ヲ聞ク時ハ草ノ嵐ハ何
 調ニゾ。一柳一楊、一松一桂、法外律アリ、規外矩
 アリ。余等皆然レテ覺レ忘レ盡テ教レヌ。若シ
 江州ノ司馬ハ溥陽江頭ニ有テ診ツ運セシ
 一流麗人ニ流レ涙。ハハ又京路ノ旅宿ニ在
 ル如ク影ヲテ。憂ニ忘ルルコトヲ。ハハハ
 誰モ思ヒキテ、歌レ泣キ島通ルノ鳥ノ鳴ク聲ヲ我
 類ガ地獄アル間ニ王ノ命ノ唱歌、旅宿ニハハハ
 スガ、又故郷ヲ思ハレ、マノコト重ク聞ク所ヲ、結ビ
 モハ又夢枕。又聞テ東鑼鐘ノ聲、能ハスレ
 又ヨリヨリコト運来テ引ク如ク又出水ノ走ル如
 クノ歌レ別レシ後ノ慶事ヲ君ノ行テハ黄楊ノ
 柳……鳴呼余等又夕塔ニヘケンヤ、塔ニハハハ
 一鳥一音、嬉々然ル如ク、終ニ狂ヌカカハ疾
 ナルカカハ茫然ルモノ又之ヲ。鳴呼吾人ハハハ

右は付いた用ハニヤ又ナ竹ト唱ヘテ(油ヲ又ナ
竹ナ)茅ヲノ倭用ハニヤ又梅板、ツガ等ノ葉木
ニ上ハ大面取、竹或ハ松板左小フじお下取)或
ハ使フベツ又ツ竹ノ用ハ此ハ此等ノ用ニ葉木
ニ上ハ等ノ葉木ニ葉木トハ葉木ノ葉木ト一自ノ入
レニコイテハ用ハカキ付ル、カイツト云ツ又
葉板ハ多ハギ板ノ類ノ用ハギ板ニサハシ板用
板、紅ハシ、板目板、墨部板板目板、赤板
、板目板、等ナ各ノ中ニ長ニ尺五寸ノ通常トス
ハ一ハ位ニシテ雅味ハモナシ、又葉板ニ秋ノ用
用ハニヤノ秋ニ中一尺位或ハ八寸位、節ナキ
年月平坦ナラシメテ削ラナキハ自ノ目ノアハレテ
大ニ削ルナラシメ一ハ一ハ一ハ一ハ上ヘ四ハ五ハ野
地ニ毛取カキ、板目板ノ中ハ竹ノ挿ゴツ同ニ
バシ又ハ江ノ隈リト云ツコイテ秋ニ葉木ニ
長ハギノ葉板ヲ張リ葉木トス、竹ノ削ラナキハ
厚一ハ位ニ削リ取り、下ノ釘ヲ以テ打ツ上
ルコトナリ
今一ハニヤノ葉木ノ葉木ノ葉板、竹ノ目ノ削ラ
ニロシ又ハセマシ長ハツコシ等ノ板目板ノ用ニ上
多ツツガナキ、ツガナキ、又ハツガナキ等ノ所コト思
原ハモナリ

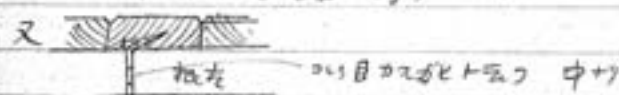
板板、張リ方ニ水口張リ、又ハ奥板張リ、箕子張リ
又ハ白竹張リナリ



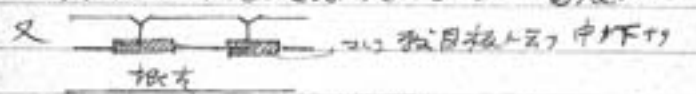
(1) 葉若ノ入シ安キト云フ 板木



(1) 区ノ釘ト云セ板木毎ニ打ツツナ



コシ板木カ脂化シ録、穴ノ脂化スル管張リナリ

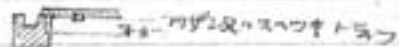


又相違アリ、コレニ板目板ト云フ中下ナリ

トモ入用ナリ 奥板用ニ木林ハ梅板或ハ桐、ツガ板或ハ杉、松、
檜、赤松、等ナリ、幅ハ之ニ寸ニ五分ノ寸ニ寸スルナリ、
尤モ板中ノ寸幅ハ割リ合ハスモノナリ、而シテ大ハ通常一ハ
位ニ張ル

木林板ハ一ハ位ノ厚、常ク一ハ寸ニ寸スルナリ、

ワギ目ハ吳孫日也

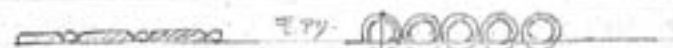


木ハ木ハハワギ目ニ目蓋トワギニスルナ

木ハ椽ノ木材ハ椽、檼、椽、松、ワギ、モシ等ナリ

黄、子張リハ吳椽ニテ板ノ百ニスナリ

間ノ所ハ又竹ヲ入レテ張ルニテ又竹ヲ圍ムル



上ヨリ釘ヲ打テ又藤ニテ覆ヒテ

吳椽ノ中ノ子同ナリ

清或終リ余ハ品ス可ナリ即ハ余ハ竊ニ成リテ我
テ之ノ野生ニ如ク吾衣等皇マ至リテ慢伴致ス
シ婢等他倒テ失笑禁セヌ又一時ノ小庭等ナリ
已シテ時已ニ遷ニ即ハテ意ニ就ル時凡ソ十一時迄
ナリトシ

二十九日(水)

午時許出所起テ今日ヨリハ何ノ野生ニ赴コトテ第
等冬ハ用意ニテカコ先ツ影穿テ頂ハ官制改革朝
ヲ余等強欲再三再四互ニ相議スル所アリ次テ
余ハ親友江原銅氏ノ所ヘ一島返信ヲ登ス竊
好ナ情願ヲ著ナリ已ニコテ余等裝調ヲ山下廣水
園基ニ始メ、河合殿職ヲ食ナリ而シテ余ハ日記
ニ記シテ終ニ至リテ中ノ事ヲ過リテ山下歌シテ曰ク
余等強欲ニ成ルハ策得ルモハ非ニ其ノ時ヲ
ヲ浪費スルナリト河合殿曰ク日ノ出界後ソ勤
勉トナレト皆一心ノ欲スル所ナリ住所ニ同ス
事ナリト蓋シ君ノ所謂下宿ニ余取ラゲルナリ下
宿ノ汚穢ニテ相食ハ余等行ラズト堪ユヘシト
没シ又空在ニ侍スルノ婢女等大概卑醜ナルベ
キ耳ト余等、意見一子ニ付ナリ物ニ付テ余等
里ハ一期ノ女ニ而シテ四人互ニ親睦ニテ毫モ互
ニ和睦、恨ヲ構ハズ即ハテ義ト信ト守レ
ナリ苟ニ然ラズレバ四人ハ終日終夜ニ博闘行止
マザラントス、已レ一事ヲ思フテ障礙期ニ至リテ
ナリ而シテ之ヲ人ニ期ケ之ヲ憤ハ誤リ一事ヲ思フ
テ援助自至ラズ而シテ之ヲ人ニ期ケ之ヲ謝ハハ
即ハテ可ナリ世人ノ真理ヲ知ラント欲セバ乞フ是

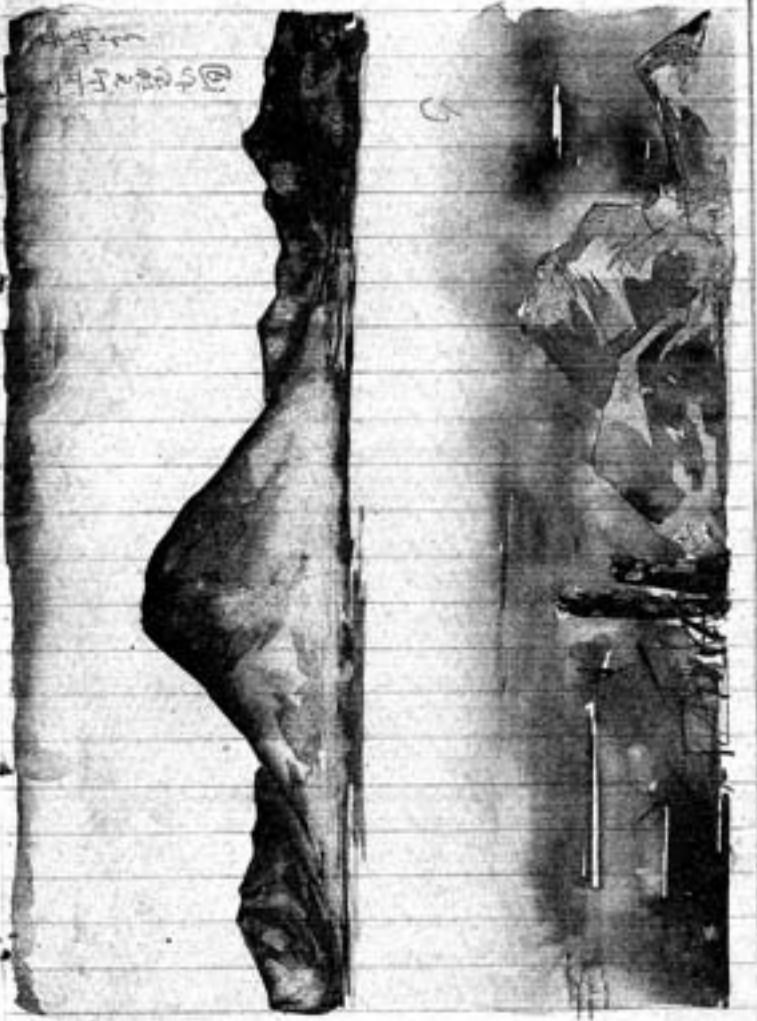
花会ニ二番ノ間ハシヨ
 午飯ノ後河合山下ノ余ハ二階城ニ於テ醫士
 ニ取リカニニ立シ余等ガ真面目ノ寫生ノ始メトシ余
 等東京ヲ出テ丁度ニ十日ノノ石ヲ獲ノルヲ神記シ
 處テ得ハ所果シテ氣ヲソナシテ費ヲ貯日ノ月有自
 ツマツト云ハバ云フヲ得ルモニ豈余ノ水心ノコト
 或ハ利學者ノ日ヲ看テ、資金ノ費ハテ看テノ指ニテ
 利益ヲ生スルモハ非ナリコトハ之ヲ取ラスト而シテコ
 利學者ノ可謂ハク知ラズ其スニ學術的ノ利ハシ
 ヌコトハ余ノ信ス凡ソ利ハシテ其ノ意味ヲ得ル
 何ツ處ニモル學事ニシテコト若シ支シ利學者ハル
 ヲバ吾人ハ何ヲ以テ吾人ノ所謂物理的快樂ヲ
 買フヲ得ニヤ。二十日ノ間余ハハ一年ハハ思フ
 十其終日數多、事物ヲ見聞ル多、事件ニ逢
 スルハ十ニ十日ノ間余ハ、大カク覺悟的快樂
 ヲ得ル、學術的鴻益ヲ得ル而シテ余ハ
 余ガ志願ハシテ、余ハ二階城自書院ノ寫生
 シテ直ニニ午飯ノ時、山ノ下ノ餘、一室ノ中ニ於
 テ、後龍画ノ事ニ考画（ハハ木子氏、紫ハハテ
 一室十半在、墨品）三孟鳥ヲ食フ夕飯ヲ、終
 後割例、由、表水、山下、河合ト常、海王ト交テ
 茶園ハ一膳一飯與ハシテ、此ハ余ハ龍画

事トシ之ノ景色ヲ繪コシテ好リ、素ヲ海王河合
 トお問フ者ハ、後余等外出セシテ、河合子氏ガ
 余等、其銀ハ、所ノ白菊菊園一壇ヲ、傾ケテ萬
 步及ニ夏控ヲ看テ、花ヲ戰ハス酒隣ヲニテ、終
 兼ヲ戰ハス更ニ、終十第直水全敗スルニ及テ
 子冬止ノ夜ニ、終、十ニテ、字ナリ
 後ニテ、河合ハ、昨夜女屋ノ、催メテ、深夜ニ、一會、
 行テ、識ハ、荒川知花氏ト、余之ヲ、周ハ、心、節ガ、あ、
 世ノ正々堂々、四角四面、假面ヲ、蒙ル、テ、常ニ、考画、
 淫逸ニ、際テ、都テ、此ヲ、必ス、テ、テ、テ、テ、テ、
 五ニ、テ、テ、或ハ、又テ、他ニ、深固ニ、カ、河合、品川、内、
 臣ノ、且テ、愛、岐ヲ、ト、品川、ハ、後、岳、原、直、森、
 湖ニ、而シテ、テ、事ヲ、嗚呼、世間、ト、知ル、ベシ、
 知ル、ベシ、耳、テ、テ、テ、テ、テ、テ、テ、
 自任ニ、置ル、自任ニ、置ル、テ、天下、將、テ、
 十ニ、テ、テ、テ、テ、テ、テ、テ、
 世ニ、テ、テ、テ、テ、テ、テ、テ、
 然レ、後、テ、テ、テ、テ、テ、テ、
 ン、バ、夫レ、一生、テ、テ、テ、
 —...—

三十日 (金)*

午前七時起床。朝の新聞：九時迄女ト共ニ二條
 條條ト起テ男生ニ從テ直ニ正午ニシテ食テ終リ
 三人(以下)ニテ別室ニ休息。一時石ノ後再ニ醫者ニテ
 ウツ六時帰宅。木子氏病ヲテ臥ス余兼休息。後
 夕方ト醫者出テ沐浴後食テ終ル余ハ別室氏ヲ川
 島ト話シ氏今日大層口ノ御心ヲ余ハ氏ト共ニ朝方ニ笑
 聲快談シ遊：三條町ノ先斗町ノ入リ川影トテ遊
 料所底ノ入ノ底ハ京都第一流料所底ナリ推シテ
 都人ノ食物ト共ニ此ノベキナリ。身長ヲ鴨川
 上ニ蓄シテ之ヲ作ル風雅氣ニハ。全形像氏ト笑テ
 橋渡場トテテテテテ。第ニテ兩人相遊シテ飲テ
 飲ム。疲弊シテ枝葉ヲ歸シテ西ノ歌ノ声玲瓏ナリ
 別室氏余ト共ニ京都ノハナリ。暇ヲ散テ余トテニテ
 懐メ口。

浦里ノ急ノ立テテテテテ。今ヨリトテ
 明ナリ。テテテテテテテテテテテテ
 スノテテテテテテテテテテテテテテ
 和テテテテテテテテテテテテテテ
 梅ノテテテテテテテテテテテテテテ
 412...





城ハバザ目物カ一テ合相他合相ナレ御カ
 天狗カ合相舞トハ合相有親安ハカトヘ
 醫行ハ城ハハマル、上ヤオレ日冷トワ付



コハ終屋ニアル御
 瓶ヲ台内ニ置テ
 ナル妙ナル御ハ
 硝ヒ瓶ニナリホケ
 ハ銀装蓋鉄トツ風
 雅食ニハコ家日用
 各ト重ク重ク風味ハ
 ハナリテ飲服コト

十二時家ニリヨリ窓ニ託コ、日酒裏ニシテ宿甘ニ居
 尋微解ニ快云ッベカラマ"家ニヨリナホ 録カ夫ノ効
 ナレシテ神心ヲ犯スヲ境ニ

余"今世ハ世ニラドニヤ、物優れ中道ニモ、ハ調ス
 ハ優、廉ハハ、聖ヲリ、臣ヲ京都人ハ生流、各低ト
 云フマ可ナリト云ッベシ、茶系、一推テ、又急ハ、之
 ヲ流ニ居、ハ、風ニ、魚比スハ、又、雲沈、雲蓋、ハ、ニ
 アラゲル、テ、京都人ハ、森、族、丹、族、ハ、氣、凡、ク、之、コト、テ、テ、
 〇、世、已、ハ、ラ、得、ニ、テ

三十一日(金)。

今朝内村屋以所氏の書状を、森とて抄取
又文中香坂博純氏試論、際不正、康、暹、華、分
て、レ、一、條、ア、余、之、の、故、ヲ、囁、如、レ、シ、テ、笑、つ、首、振、氏、
不、運、相、シ、切、何、ト、ハ、世、石、不、正、學、生、甚、ク、多、ク、多、
ハ、胃、腸、ス、而、レ、バ、不、正、學、生、世、石、ニ、對、シ、テ、
大、張、リ、學、士、ト、シ、同、益、ト、ス、テ、多、ク、常、ニ、遊、ハ、レ、
屋、ヲ、以、テ、罪、カ、ハ、レ、相、ト、ベ、シ、次、ハ、余、當、切、氏、不、正
ノ、惡、ハ、何、ト、ハ、レ、バ、概、シ、テ、其、學、力、ニ、對、シ、今、デ、幸、フ、レ、
各、方、ニ、テ、求、リ、タル、モ、テ、概、シ、バ、カ、不、足、ヲ、知、リ、
之、ヲ、獻、ハ、レ、バ、欲、ク、申、考、モ、再、々、甚、シ、ク、云、フ、レ、バ、自、學
力、足、リ、テ、知、ル、バ、何、デ、一、年、止、マ、ツ、再、ビ、知、成、ス、
大、書、ヲ、為、サ、ル、ハ、次、ハ、余、ノ、學、生、價、直、ヲ、換、シ、ル、
揚、ハ、何、ト、ハ、レ、バ、他、日、死、命、上、流、ニ、ト、ベ、シ、モ、惡、厚、ニ、
定、メ、テ、香、フ、香、フ、條、ハ、モ、ガ、斯、ク、ハ、レ、バ、申、考、奉、
ハ、レ、バ、次、ハ、余、ノ、米、沢、考、生、ノ、名、ヲ、ケ、ス、テ、悲、シ、
世、人、ノ、當、切、ヲ、以、テ、他、ノ、米、沢、人、ヲ、推、ス、
ハ、アル、ミ、テ、モ、米、沢、人、タル、モ、ガ、自、心、ニ、
快、ク、ザ、ル、ヲ、必、竟、得、ル、自、業、
自、得、ル、ハ、レ、テ、示、シ、相、決、ス、
ハ、レ、テ、レ、バ、彼、ハ、最、早、考、生、
ニ、仲、寫、テ、威、張、リ、テ、彼、ハ、
レ、テ、レ、バ、彼、ハ、自、身、相、切、
キ、レ、バ、彼、同、ノ、地、ニ、
テ、レ、バ、嗚、呼、香、坂、氏、
ノ、君、命、ノ、奮、
死、ケ、テ、天、晴、
得、テ、今、日、
活、命、ヲ、
獲、ル、
ル、
ル、
ル、
ル、

九時二條へ登城し學生は從事之直ニ至リ
一日佛岡、東原師某持歌、來、余、留、坐、見、
評、シ、ハ、根、
余、ハ、何、
リ、ク、日、
後、余、
是、斗、
四、
リ、テ、
此、
十、
原、
頭、
辺、
十、



八月一日 (土曜日)。

午前七時起床九時自食ト共ニ二條城ニ参上ス
伯爵徳川氏持親ニ来リ次テ陸軍中將黒川通中
氏赴ト共ニ来リ其中尉ツ島小次郎ヲ呼ヒテ之
従フ黒川氏御覽也見テ天晴盛服ト評シ中
尉ツ島ハ余ニ預問ス爾アツク正午飯ヲ喫シ
再ニ學生ニリカニニ不思御ヤ腫魔イキニ余ヲ
襲フ余共戦甚カキト是レ際ニ防テ紙ハマ
思ハニニ條城大層向ノ上ニ倒レテ熱腫マ
夢中怪アラテ余ヲ襲フ余共難堪ハ甚シ強ト
死ニ欲スル思ヒテ蓋シ管御セシテ多量ノ毒
飯ヲ食ヒ直ニ瘡ニ入リ以テテソ忽然夢サツテ
時ヲ察スルハ時ニ四時ナリト頭重クシテ堪
ニベカラス即ハ五時自食ト共ニ来リ御深
夜通リ作リ夕食ヲ終フ七時御信文作氏来
訪ニ歡喜御刻九時左侍ヲ数人ニ出カ
御茶屋ノ代ニシテ廣徳ノ席亭ニ赴ク事
休裁ニ余ニ宗室ノ貴也一云ニ御座ル
一云ニ九ノ高カク凡ソ心ニ當ハテ大レ御心
又坐ノ中央ニ置テツク便カクハ屬去又ニカカ
眺リ付テアツテ廣徳ハ宗室ノ如ク若クカク
有テツクニ宗室ノ御心ニユヘ向ノコトニ屬白

カク音聲ハ宗室ノ御心高シキニ可謂何御ッ
ボク艶声ハ宗室ニ母ニ似ツ清ト深ヘタル点
宗室ノ勝ツト大極人ノ声ハ腹ノ底ヨリ出テ宗室ノ
一声ハ喉ヨリ出テ宗室ノ声ハ鼓ノ天ツペンヨリ出
ツト云フ御アツ余ノ當テ知ラズ夜席ヲ出テ
テニ若ク此ノ水屋ニ入ル水谷モツノ体裁ノ要
フ中ノ宗室ノ企及ツ所ニアラス感服ニテ十一時
半宗室ニ歸リ御面ヲ見テ女共例如ク宗室ノ来
リテペヤクキト相笑ヒドヨリニ興アツ余ハ
花ト云フ女ノ顔ヲ見テ宗室ノ喝采ヲ得ルニ
可笑シ馬鹿祝ニ対テ黄ハ一時痰ニ死テ余
直水ヲ為ニ大石良権ノ達ヲ講テスル一時
余余等ノ痰ヲ時ニ眠クニスル候ハ余氏来リ
来リ候ハ大可憐ニテ一物ヲ借シテト
河合御侍ノ件ニ宴會ノ様子ヲ漫テ出シ余眠
ハ紙ニ於テ三時ニ及レテト云フ
今日ハ八朝ニテ土節ノ一ツナリテ宗室ノ多
量中久野ノ宗室ニ付テカベリ着扇扇ノ
今日ハ日共カクカキトカキトカキトカキト
門ニ出テモ又旧七月ニ近ケルナリテ七夕祭ヲ
モ多ク強ト毎戸ニ竹ヲ立ツルニ色々色々
下ツカノ余ハ一見ノ件見ル斗テ久シク目撃セ

17+バ大、月新江島ハツキ都ハ一帯ニハ大、
 西洋月ハモ一帯ニハマダコ、通リ旧第3号ハ一
 号觀ト云フベシ
 洋風ノ行ハハ一帯ハ芝ツ電氣燈、用ニラフタ、
 毎戸ハコトコ用セヨ芝斗町ナドハ人カ申夫、夫、
 夫之ヲ用ニルズ欠ク之ニ及ラズ東管ノ婦人ハ
 実ニ飾ヲ殆クナシ云フヲ聞クニアラス洋服
 出立ヤ人物ニ違フテ赤袴ト袴ト京都人ハ男
 女ニ限ラズ赤袴、飾ハ癖アル、洋服出立輕
 便簡單ナルハ蓋ニ厭フ所ナルベシ信又
 案外ニ油ツナラヌコト、京都人ハ袴ヲハレコト、
 スリノ多クハ之レハ京都人ハ京都人ニレテ
 袴ヲ人カ好シ或ハ袴ヲハレテ、ス

八月二日(日)

×

七時起キ九時江合ト共ニ二條ニ登陸、湯島ニ從テ、
 正午山下ト屋敷ヲ會食ニ浮世、能登ヲ遊ビ、夜
 皆、格倉、下女、批評ヲサセルハナシ、院間ハ車環
 ニ流レ、而シテ江合氏ハ路ニ進テ、落瓦流水、鴛鴦
 食裡、秘術ニ至リテ、食後山下ヨリ、全ト江合氏
 ト、條林内ニ於テ再ヒ遊ビ、夕暮ニ於テ、氏ハ精ニ彼
 以、後世、物語ツタリ、氏ハ大言出テ、今ハ、
 所ヲ治、常ニ法螺ヲサセル、ト云フ、今日、履歷流
 ニ、大ニ、實際ト、見受テ、其、彼ノ、現今、境遇、中
 小、復シ、此ノ、義理ニ、フシク、流シ、テ、余ハ、
 流シ、テ、聞テ、大ニ、發見スル、所ヲ、
 掃人、取以、テ、好テ、得テ、余、兩ニ、
 久、集、婦人、流シ、テ、聞テ、
 点、江原、鋼、氏、ハ、似、テ、
 表面的、世オ、ハ、
 点、於、テ、江原、氏、ト、正、及、對、テ、是、故、
 流シ、テ、親、ヲ、
 風、采、拾、テ、
 表、夫、シ、
 親、ヲ、
 風

乗船モ一天黒雲起リ淫雨蕭々トシテ降ルカ女
谷間、濁流溢レテ兩岸、荒草ヲ溺ラスノ觀アリ
然レモ余ハ其長所ヲ取テ而シテ已レ判ニ其短所
ハ奉テ而テ之ヲ控テシテ期ス是故、余ハ天ノ晴
雨ヲ痛ク流レ清濁ヲ向ハズ凡ソ宇宙ノモノ、悉ク
ヲ容レシテ欲スル余ハ常ニ包藏スル持論アリ世
一概ニ伊合氏其人ノ如クモ、ヲ廢テスルヲ如ク若
余之ニ與セザレバ、嗚呼人ノ有情、動物トシテ人
カ情ヲ知ラザランヤ偶々情ニ多クナルハ天然然
ル所人意ニ喜ビテアラス之ヲ笑ハルモ、毎々抑
ニ誤リ笑ハル人各々其情ヲ測レバ知ラザルハ
之ヲ知ルモ、賢人ト名ヲ知ラザルモ小人ト名
ヲ知ラザルモ、賢人ト名ヲ知ラザルモ小人ト名
五時余ハ知リ得レズ余昨日背ニ微痛アリ
日中余ハ痛ニシテ後ヨリ余ハ背ニ尿ニ傷
中ニ余ハ心中佛然又微笑シテ日々君伊ヲ戲
ヤト伊合再ニ余ハ脚及ヒ背ニ尿ニ余ハ心中佛然
故ニ微笑シテ静カニ之ヲ情ニ伊合日、余ハ
ヲシテ君ハ傷ヲ愈サレト欲スルニト嗚呼伊合
ヲ無礼極ム哉背ニ尿ニ痛ク歎ニ盡スル
歎アリ彼レ余ハ海ニシテ斯レハ余ハソノ懐ヲ
得ニヤ彼レ亦抑ハ歎ニテ狸ハ、一痴漢カ

可止ヤスト云河ニ可々
夜、入リテ水子探奇氏ノ子集来リ余等、乘船シテ余
等固ニ之ヲ辞ス山下視テアト長ク道ヲ行ハシテ去
レ後四人ニ附テ登リテ用テシテ伊合芝ヲ播ク下
ノ人階階ニテ終テ不徳ニ至リテテ論スル所
リ余ハ爲ラズ俗人ノ不徳ヲ責ムモ、只其行ノ不正
ヲ嗚ル余ハ以テ之ハ、則チ然ラス焉モ古チ已ニ難
トシテ定マリ而シテ金錢ノユルモアラハ之ヲ行
決シテ不可ナルハ、固ク判ルニ然レモ、浮華
厭厭已レ知ラズシテ、漠然不徳ヲスモ、至リテハ
疑心ニ之ヲ責ムカレバ、余痛ク他ノ境
論スル所アリトテ、已ニ全幕播ク下余ハ日
ノ覺テ、思フ覺テ、思フ覺テ、思フ覺テ、思フ覺
ノ覺テ、思フ覺テ、思フ覺テ、思フ覺テ、思フ覺

知リ而シテ之ヲ去リテ能ハス或ハ金ヲ之ヲ受解ル
ルヲ甚域世人ノ痼情ナ

八月四日(火)。

午前十時起テ八時登峰正午家内ニツイ
木ノ足見今日虫聲ハ出立セリハ。V27ナリナ
二時余等松尾ノ祭ニ先出ステ一ツコレニ送
而シテ余ハ特ニ御ヲ大坂ニ送ルコト。今日
俵氏ノ御ヲ大坂ニ山下氏ノ御ヲカ方ナリ
三時ナリ過キ山下氏ノ御ニ直ニ快飲シタル余
色比毎日常々タラシクシテ暮ル際ハハ
山下氏ノ有益且痛快ニ俵氏ノマツ実ニ面白
シク堪ヘラズ。流石直ニ。酒ノ的ニ。豊
入ニ氏ハ史學上ノコレニ復キ入。清盛ハ琵琶湖
ノ疏水工事ノ計画ニシテ俵氏ノ土木ヲ好ム。今
ノ俵氏ノ本不義仲ノ本意。山藁ノ歌ヲ作ル。今
俵氏ノ又重盛ノ恥ヲベキ處ニ。今ノ世ニシテ。維新
新ノ病ヲ得ル。俵氏ノ御。謝絶ニ終。晩ニシテ
俵氏ノ丸ノ後。今ノ世。今ノ世。浦
伊豫。某等。俵氏ノ御。又曰。古ハ山野
間ニ交通不便ルニ。逃レ隠ル自由自在ナリ。莫
雄等伊ノ若シカ。漫リニ自殺マベキト。亦一復テ
後。言語等。心理等。俵氏ノ御。中ノ面白
カリシ。余等ハ痛飲快飲益々。盛ニ。一
時。及シテ。流。

金ノコノ日記ヲ得ニ示セリ得ニ余同感ヲ得又
 而ニテ所ノ記ヲ讀ミ大ニ余ノ感ニ所モアツク
 然レ余ノ余ノ領ルバ中々山下氏ノ論ニ服ス
 7地ハザルヲ氏又9日ノ家都人ノ傳僕ヲ希フ
 11心ヲ、情忌ノ心ヲ、疾妬ノ心甚シ、慮解ノ心
 ツ、而シテ也頃ノ僕傳心ヲシテ一層深カラ
 シヨルモ、ツ、何ゾヤコレ例ノ大率ニ人ノ事々々然
 ノ事伴ルキ人等ニ人ノ事々々之ヲ如シ業ヲ實
 甚シクモ爾來余ノ常ニ事々々如キ不意ノ幸福ヲ得
 シテ驚レ居ル云々斯ク云ヘバ、實ニ余等ノ取ル
 是ゾバノ地ト云フ、外ニ余ノ所説ス所都ノ實ニコレ
 隱居所、遊樂所ト云フ事々々バノ地ト云フ事々々
 ノ地ト云フ事々々

八月五日(水)。

今ノ日ノ早キ切ヲテ朝霞セリ而シテ其意ヲ出シル中
 巳ハ時ヲ過キテ今朝新保氏ニ送フ事ト山下氏
 次ヲ起キ共ニ湖池ニ散步セリト云フ余ノ身ノ清
 新ヲ讀ミ後ニテ後ヲ讀ミ得ル山下氏余ニ
 海原前所リ、ナリニ丹ヲ贈リ極ニ喜テスル所
 アリ山下氏曰ク、ナリニ「英会セ」ノ語ニ決シテ申
 十ノ事ニハヒレバ、ナリニ「英会セ」ノ語ニ決シテ申
 人ノ事々々之ヲ事々々新保氏ノ事々々云々ハハハハハハ
 夫レト云フ事々々人ノ事々々新保氏ノ事々々云々ハハハハハハ
 此ノノ愛アリ又人ノ事々々疾妬ト云フ事々々云々ハハハハハハ
 案アリ而シテ其意ニシテハ余等ノ事々々云々ハハハハハハ
 又余等ノ事々々云々事々々貴君乞フ余ノ領ニ賛成
 シテ爾來余ノ事々々云々事々々ト余ノ心中ハ非常ニ感
 シテ正直公明ト云フ感セシ事々々余ハ余ノ事々々
 即チ昨日ノ余等ノ深クコノ般ノ遊ビテ好マシ
 然レハ旅中ノ事々々事々々事々々事々々事々々事々々
 之唱ニ用ニ長心ノ事々々事々々或ル人ニ向ヒテ事
 ハコレト云フ然レ余ノ事々々事々々事々々事々々事々々
 事々々推知ス、蓋シテ得ルト山下氏再ヒ云ハハハ
 九時中歸遊ニ新保氏ト御座ニ向ヒ、曉車
 能ヒテ東海見物ニ向フ大率ノ事々々事々々事々々

略傾斜して河次を登り峠を絶頂に達すコレは
 ハヤ逢坂山ヲ向テ清水ノアハ今譯ヲス峠ノ
 東ニツク清水出ツルハナリト云フ下ノ故町ニ
 シテ大谷村ヲツキテ走ル井ノアハ今身ヲツキアヘ
 シテ今ハ新水湧出ス名ヲ知走井ノアハ一ツニ
 厘ニテ味飲ミ最ツ大谷ヲ去リ行キ申馬余
 藤尾村ノ村ヲ入リテマツテ諸賢取康御村ノ
 場ナリ余始メ以テ逢坂山ノ山ヲ西田ノ
 場ナリト而シテ今之ヲ見ル山ヲ下リテ平野ニ至リ
 一里ノ所ニ回界アリ山ノ林ヲ以テコレニ回界
 ナリト云ハルノ餘カシク燈シトス山ノ坪ニ入リ山ノ坪村
 ノ村ハ天智天皇ノ陵ノ付ヘテ日ノ天皇遊
 幸ノ里ノ西ニ幸シ而シテ御カ崩ニ蓋シ運城ノ
 手ニカレモノナリト山ノ坪也ハ山ノ坪ニ青ノ田
 野遠シテ餘カ西ノ平坦ニ茂ク山ノ坪ニ入リ
 餘カ風ノ粟田ノ口ニ三條大橋ニ出テ
 橋ニ十一時ニ柵カニ達ス

文保自共ニ柵カニ来リ柵ヲ回ル余ハ馬也往
 子ノ路日若ニ陽ニ来リ屋ノ江南氏ハ河合ト同
 人ト余也ニ来リ遊フ彼ハ病也家ニテ大寺ニ奉
 願ニ是孤獨トヨク知リ余彼ト和カ知音ヲ授
 キ其ノ流ヲカス彼ハ中ノ柵カニシテ行カセム男ナリ

此ト云テ老人来リ余ハ漫画ヲ見テ感心ス余
 ハ漫画ノ巧ナリト云テ筆跡ヲ見テ之ヲ
 老人即ハ之ヲ示ス余モ亦シテ之ヲ火ニ
 感心セテ浴後包ヲ脱リ再ヒ漫画ヲ事トス
 他運中ノ固基ニ餘念ナシ余ハ為スコトモナリ
 漫画ヲ事トシ時ヲ費セテ又日死ノ思ハカク
 ナリ



乾坤素楚劉
 縱橫寬輕大
 雨雲愛收處
 也見月影清
 潛龍鱗



病理博士江波知輝君之像



伊東忠老總体總命之圖

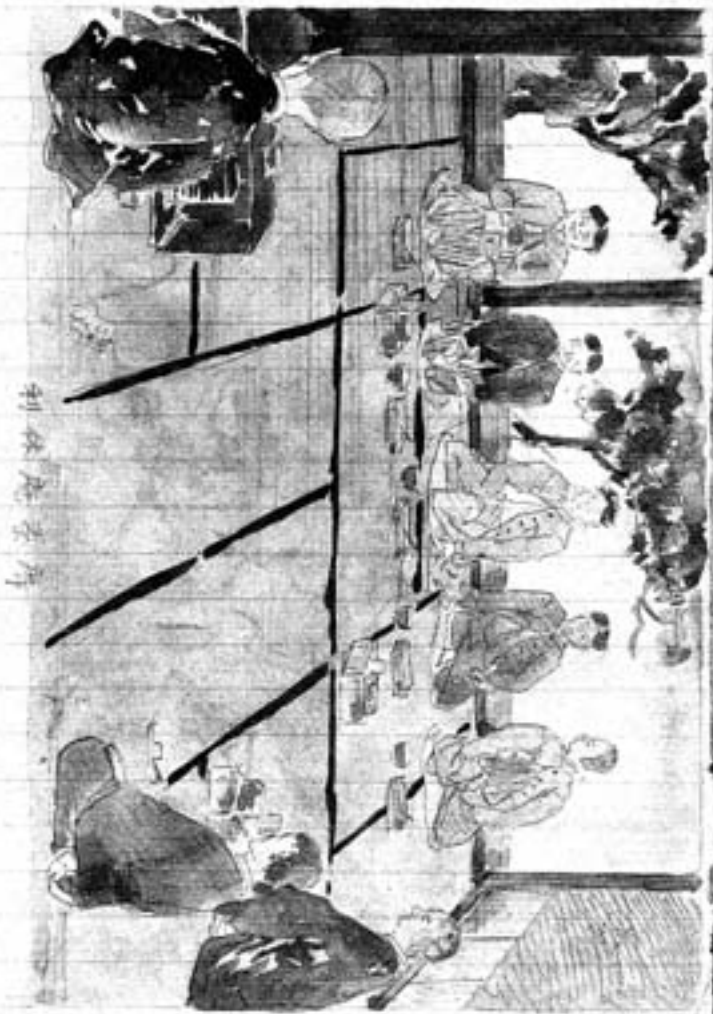


天賦之神

大野園養鹿日非环境内



龍田川 (岩像西)



利休庵茶序

梅の像





美峰山

春日山

寸法博士 木子清敬君之像



南所北陌 八百里
看破規矩 六千丈
濫然點

兼察博士 奥水英史君之像

不啻世間名劍事
胸中自有別坤乾

借於歌



進取博士山下破次郎君之像

電光石火漢又奈
脚字功藏果如何
休道世才素誤身
笑望崑崙第一峯

意之生照



處世博士河合我次君之像

寺名大社

社名	社名	社名	社名	社名	社名	社名	社名
神社	仙寺	城堡	雑院	神社	仙寺	城堡	雑院
熱田神社	馬子打子吃	名云石吃	江船家跡		西子打子		
八雲神社	西石打子	旧石打子	湯宮跡		延慶寺		
内宮	大湖石打子	二條城	高木寺		大徳寺		
外宮	石打子	大徳寺			仁如寺		
八坂神社	圓藏寺				天正寺		
日光神社	智恵院				西子打子		
北野天満宮	大石				法隆寺		
天満宮	西石				興隆寺		
生國親神社	妙法院				新善寺		
高野宮	清水寺				春若院		
豊国神社	三子寺				月堂		
豊国神社	泉涌寺				東寺		
春日神社	金剛寺				法華寺		
三輪宮	三輪寺				西寺		
三輪神社	三輪寺				秋徳寺		
野田神社	真徳寺				善長寺		
藤太神社	秋徳寺				法徳寺		
柳井神社	光徳寺				華嚴寺		
	生徳院				建仁寺		
	六角寺				觀音寺		
	聖子寺				聖徳院		
					聖徳院		

如空良賈却深藏
桃李不言花自香

柳塘生

多藝素深身
何地呼西人
故河原又伸

江原銅鼓



閑達博士伊東忠太君之像



世英
江村忠
中興
登

書以青身人物之六

大岡	辯才家	權謀家	芥川善吉作
園服	曉果家	能文家	渡久倫吉作
中枝	熱心家	研究家	下平春三
考苑	激烈家	胆力家	森石隆
前苑	雄辯家	惡虐家	小林陽光
前軒	樞密家	學才家	守中尺大助
前引	文才家	交際家	山口亮吉作
尚苑	多才家	智量家	廣田元篤
前苑	博識家	公正家	佐藤正章
前軒	正道家	勉強家	河島新之助

行司

左衛門家 侍酒家
比叡家 侍酒家
五郎家 侍酒家

伊東忠太
村松道隆

大岡	老練家	卓見家	鈴木祥作
園服	池靜家	博識家	服下銘治
中枝	穩瑞家	奇才家	栗林隆吉作
尚苑	過激家	巧解家	山崎蝶龍
前軒	老練家	周遊家	山田鶴光
尚苑	周列家	無慮家	佐藤四郎右
前軒	多能家	機敏家	園孝助
前苑	公義家	事務家	羽鳥帶一
尚苑	溫良家	勉強家	永井教雄
前軒	奔走家	豪器家	長谷部清吉

勳進元

内村新三郎

建築の 規模の成り

建築の 規模の成り

建築の 規模の成り

建築の 規模の成り

建築の 規模の成り

建築の 規模の成り

建築の 規模の成り

建築の 規模の成り

建築の 規模の成り

建築の 規模の成り

建築の 規模の成り

建築の 規模の成り

建築の 規模の成り

建築の 規模の成り

建築の 規模の成り

建築の 規模の成り

建築の 規模の成り

建築の 規模の成り

11

11

M.24.7.01
~ 8.05

(棟図・彩色絵アリ)

うきよのせび